

○第二十五回 衆議院議事速記録第二十三號

明治四十二年三月二十日(土曜日)午後一時十五分開議
午後一時開議

- | | |
|---|--------------------------------|
| 第一 外國領海水產組合法中改正法律案 <small>(政府提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第二 砂糖消費稅法中改正法律案 <small>(兩院協議會成案送付)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第三 建物保護ニ關スル法律案 <small>(本院提出貴族院同付)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第四 競馬法案 <small>(佐々木文一君提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第五 民事訴訟法中改正法律案 <small>(佐々木文一君提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第六 商業會議所法中改正法律案 <small>(外二名提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第七 行政裁判再審ニ關スル法律案 <small>(元田肇君提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第八 所得稅法中改正法律案 <small>(花井卓藏君提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第九 外交文書公表ニ關スル建議案 <small>(小川平吉君提出)</small> | 前會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第十 韓國橫貫鐵道敷設ニ關スル建議案 <small>(金尾稟嚴君提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第十一 奧羽南部橫斷鐵道敷設ニ關スル建議案 <small>(近江谷榮次君提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第十二 渡良瀬川改修工事速成ニ關スル建議案 <small>(吉君外七名提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第十三 鐵道改築ニ關スル建議案 <small>(水品平右衛門君提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第十四 滿洲租借地ニ於ケル金融機關設立ニ關スル建議案 <small>(原田十衛君提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第十五 木曾長良兩川分水堤閘門設置ニ關スル建議案 <small>(森茂生君外八名提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第十八 汽船トロール漁業取締ニ關スル建議案 <small>(武満君外一提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第十九 天鹽北見鐵道速成ニ關スル建議案 <small>(東武君外五名提出)</small> | 第一 読會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |

明治四十二年三月二十日

衆議院議長長谷場純孝殿

内閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

金尾稜巖君提出ノ日露戰役個人損害ニ對スル救濟ニ關スル質問ニ對シ
答辯ノ件

日露戰役ニ關スル個人損害ノ救濟ニ付テハ政府ハ露領亞細亞、清國滿洲竝
韓國義州方面ニ在留シタル帝國臣民ニシテ開戰ノ際引揚ノ爲メ損害ヲ被リタル
者ニ對シ救恤ヲ爲スコトニ決シ既ニ本期帝國議會ニ之ニ關シ必要ナル法律案ヲ
提出セリ

右及答辯候也

明治四十二年三月二十日

大藏大臣侯爵桂太郎
外務大臣伯爵小村壽太郎

衆議院議員宮古啓三郎君外三名提出國有土地森林原野下戻ニ關スル質問ニ
對シ別紙答辯書差進候也

明治四十二年三月二十日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

衆議院議員宮古啓三郎君外三名提出國有土地森林原野下戻ニ關ス

ル質問ニ對スル答辯書
一政府ハ明治三十五年五月農商務省訓令第十一號ノ趣旨ト異ナリタル措置ヲ
執リタルコトナシ

二國有土地森林原野下戻法第二條第二號ニ於ケル高受トハ其高受ノ體様カ
小物成ナルト否トヲ問ハサルハ立法ノ精神ニシテ其趣旨タル義ニ明治三十五年

五月農商務省訓令第十一號ヲ以テ公表シタル處ノ如シ即チ高受トハ本高ニ結ヒ
入レタル場合ヲ指スモノニシテ稅名ノ如何ヲ問ハス苟モ本高(一名本途高)ニ結ヒ
入レタルモノナルニ於テハ下戻法ノ所謂高受ニ該當スルモノトシテ之レカ處分
ヲ遂行セリ

三國有土地森林原野下戻請求ノ行政訴訟ニ付行政裁判所ヨリ其下戻申請ニ
關スル處分記録ノ送付ヲ囑託セラレシ場合アリト雖訴訟ノ當事者トシテ其處
分ニ關シ十分ノ辯明ヲ爲スラ以テ處分書類ヲ提出スルノ必要ナキモノト認メ之
ヲ送付セサリシナリ
右及答辯候也

明治四十二年三月二十日

農商務大臣男爵大浦兼武

衆議院議員田邊熊一君提出工場法制定ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進
候也

明治四十二年三月二十日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長谷場純孝殿

(別紙)

衆議院議員田邊熊一君提出工場法制定ニ關スル質問ニ對スル答辯書
一工場法案ハ目下調査中ニ屬スルヲ以テ法律制定ノ時期ハ明言シ難シ而シテ之
カ調査ハ曩ニ起草シタル工場法案要領ニ對スル關係官廳及商工業團體ノ意
見ヲ參照シ適切ナル法律ノ制定ヲ期セムカ爲メ慎重調査ヲ爲シツ、アリ

一前項ノ如ク法案ハ目下調査中ニ屬スルヲ以テ其内容ニ付テハ未タ之ヲ公表ス
ルノ時機ニ達セス

一法案提出ノ前更ニ工業家ノ意見ヲ徵スルコトヲ期ス
右及答辯候也

明治四十二年三月二十日

農商務大臣男爵大浦兼武

一貴族院ヨリ回付セラレタル本院提出案左ノ如シ
建物保護ニ關スル法律案

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル政府提出沖繩縣罹災救助基金法案軌道ノ抵當ニ
關スル法律案擔保附社債信託法中改正法律案ヲ可決シ本院提出渡良瀬川沿
岸地方特別地價修正法律中改正法律案商法中改正法律案ニ對シテハ第二讀
會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一塚田啓太郎君ヨリ在本邦清韓留學生待遇ニ關スル質問主意書ヲ、中村啓次郎
君外一名ヨリ臺灣拓殖政策及臺灣關稅統一ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレ
タリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

在本邦清韓留學生待遇ニ關スル質問主意書

明治四十二年三月十九日

提出者 塚田啓太郎君

贊成者 齋藤珪次君

外三十九名

在本邦清韓留學生待遇ニ關スル質問主意書

一在本邦清韓留學生ニ對シ保護ヲ厚クシ待遇ヲ善クスルハ 德義上政策上最必要
ノコトナリト信ス政府ハ如何ナル意見ヲ有スル乎

一政府ハ在本邦清韓留學生ヲ教育スル公私立學校職員及生徒ニ對シテ充分ノ監
督ヲ爲シ其寄宿舍旅館等ノ取締ニ關シ果シテ遺憾ナシト認ムル乎
右及質問候也

臺灣拓殖政策及臺灣關稅統一ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十二年三月十九日

提出者 中村啓次郎

贊成者 岡田泰藏

森本駿

外三十六名

臺灣拓殖政策及臺灣關稅統一ニ關スル質問主意書

第一 政府ハ臺灣拓殖ヲ國家ノ急務ト認メサルカ如シ果シテ然ル歟政府ノ眞意如何

(一) 臺灣領有ノ目的ハ臺灣ヲ以テ我國民ノ發展地トシ我國南門ノ鎖鑰タラシメントスルニアリ政府ハ果シテ此目的ニ適ヘル政策ヲ採リツ、アリヤ

(二) 政府ハ臺灣ヲ殖民地ナリト云フ其言フ所ノ殖民地ノ意義如何而シテ政

府ハ果シテ臺灣

殖民政策ヲ行ヒツ、アリヤ

(三) 政府ハ本議會ニ於テ移民政策ヲ宣言スルニ當リ遠隔ノ外國領地ニ散布スルヲ避ケ成ルヘク日露戰役ノ結果擴大セル地域ニノミ集中スヘキヲ宣示シ

日清戰役ノ結果帝領ニ歸シタル臺灣ニ移民集中ヲ慾速セサルハ抑モ如何ナル理由ニ因ル乎

第二 政府ハ若シ臺灣拓殖ヲ國家ノ急務ナリト認ムレハ何故ニ臺灣關稅收入ヲ舉

ケテ臺灣拓殖事業ニ使用セシメスシテ之ヲ一般會計ニ編入セル乎其理由如何

(一) 臺灣關稅收入ヲ一般會計ニ編入スル理由ハ單ニ關稅統一ニ在リテ毫モ

中央ノ財政整理ニ基因セストセハ若シ理論上關稅統一ハ業ニ已ニ實行サレ居リテ今ニ於テ之ヲ行フノ要ナシトセハ政府ハ臺灣關稅收入ヲ以テ一般會

計ニ編入スヘキ計畫ヲ廢スヘキ乎

(二) 若シ又從來關稅ハ統一セラレストナシ今回始メテ關稅統一ヲ行ハルヘキコト假定スルモ關稅統一カ唯一ノ目的ニシテ毫モ中央ノ財政整理ニ影響スル所ナシトスレハ其唯一目的タル關稅統一ヲ達了シタル上ハ其收入セル金額ハ再ヒ臺灣特別會計ニ反戻スヘキ筋合ナリト思ハル然ニ政府ハ臺灣關稅收入ノ内金六十五万圓ヲ割テ之ヲ中央財政ノ補足ニ供シタルハ言行ノ一致ヲ缺如スルナキ乎

(三) 政府カ臺灣輸入稅ヲ一般會計ニ併セタルハ四十二年一度豫算ニ於テ各省

經費五分減ノ實行ニ伴ヒ臺灣總督府ニ之ヲ強井シコト關東州都督府及樺太廳ノ國庫補充金ヲ削減セシ例ニ倣セシモノナリト謂フノ說アリ右ハ事實ト

認メテ可ナルヤ
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

(四) 政府ハ右ノ如キ一時ノ事故ニ依リテ永久ニ臺灣總督府ノ財源ヲ一般會計ニ併スモ臺灣拓殖事業ニ妨害セント認ムルヤ將タ政府ハ四十三年度ニ於テハ臺灣輸入稅收入ヲ同特別會計ノ歲入ニ返戻スルノ必要ヲ認メサル乎
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去ル十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
行政裁判所再審ニ關スル法律案

元田肇君 夏井保四郎君 阿部徳二郎君

關信之介君 鵜澤總明君 後藤文一郎君

宮古啓三郎君 植場平君 向坂弘君

木村格之輔君 高柳覺太郎君 村松龜一郎君

久保田與四郎君 小河源一君 清水市太郎君

世良靜一君 花井卓藏君 卜部喜太郎君
ローマ字普及ニ關スル建議案

安川保次郎君 正君 福井準造君

森本駿君

水間此農夫君

高木正年君

根岸曙太郎君

神保東作君

大内暢三君

石橋爲之助君

早川龍介君

岡崎佐次郎君

福井彌一郎君

阪本彌一郎君

川崎安之助君

藤澤元造君

岡田寧君

澤田良平君

大熊三之助君

宮内翁助君

宮田澤君

大熊三之助君

宮田泰藏君

日向輝武君

岡田泰藏君

西山彰君

川越進君

岡田正君

岡田正君

西山彰君

川越進君

岡田正君

西山彰君

川越進君

岡田正君

西山彰君

川越進君

車輛統一ニ關スル建議案

委員長元田肇君

委員長元田肇君

委員長元田肇君

委員長元田肇君

委員長元田肇君

小學校教科用圖書ニ關スル建議案

委員長早川龍介君

帝國大學令改正ニ關スル建議案

委員長 東條 良平君 理事 藤澤 元造君

藤澤 元造君

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キマス、豫算第六分科會ヲ改野耕三君ヨリ、ソレカラ豫算ノ第一分科會ヲ齋藤桂次君ヨリ、請願委員會ノ第三分科特別委員會ヲ内藤利八君ヨリ、ソレク本會議ノ時間中ニ開キタイト云フ請求ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ決シマス、人事訴訟手續法中改正法律案ヲ提出者福田又一君外一名ヨリ撤回ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト聲起ル」)

○議長(長谷場純孝君) 御差支ガナケレバ許可スルコトニ決シマス

○望月圭介君 私モ此場合ニ京都府丹後國舞鶴開港ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開クノ許可ヲ得タイ、速記ノ都合モアリマスカラ此場合ニ御許ヲ願ヒタイ

○議長(長谷場純孝君) 今又望月君ヨリ京都府丹後國舞鶴開港ニ關スル建議案ノ委員會ヲ本會ノ時間中ニ開キタイト云フ請求ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト聲起ル」)

○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ致シマス——取引所改善ニ關スル建議案ノ委員會ヲ同シク本會ノ時間中ニ開キタイト云フコトヲ立川雲平君ヨリ請求ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト聲起ル」)

○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ致シマス

○ト部喜太郎君 議長

○議長(長谷場純孝君) ト部喜太郎君何カ……

○ト部喜太郎君 質問ノコトニ付テ一言申シタイ

○ト部喜太郎君 質問ノコトニ付テ一言申シタイ

○ト部喜太郎君 ハイ——私ハ先般花井卓藏君高木正年君ト共ニ朽木縣谷中村

村民ノ居住權ニ關スル質問趣意書ヲ提出致シマシタ、高木正年君ヨリ本議場ニ於テ其趣意ヲ陳述致シタノアリマス、然ルニ會期切迫ノ今日ニ於キマシテモ尙政府ヨリ答辯

ガナノアリマスカ、答辯ノ次第依テハ本員等ハ更ニ相當ノ處置ヲ採ル必要ガアラウト思フノアリマス、願クハ議長ヨリ政府ニ然ルベク御交渉アツテ、速ニ答辯ノアルヤウニ御催促アランコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 今ト部君ノ先達ノ質問ニ對シテ未ダ答辯ガナイ、早ク答

○議長(長谷場純孝君) 宜シイ——清君ハヤハリ質問ニ付テアスカ

○清豈太郎君 左様デス、本員モ二月二十七日ニ國勢調査實行ニ關スル質問題意書ヲ提出シテ置キマシタカ、其趣意ハ三月一日ニ申述ベアリマス、然ルニ尙政府ヨリ答

辯ニ接シナノアリマス、此事ハ貴族院ニ於テモ建議案が通過シテ居ルニモ拘ハラズ政

府ハ何等ノ辯明アリマセヌ、議長閣下ヲ煩ハシテ早ク答辯アランコトヲ政府ニ交渉アラントヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 服部綾雄君

(「服部綾雄君登壇」)

○服部綾雄君 同志ノ者ノ贊成ヲ得マシテ宮内大臣ノ非行ニ對シ、國務大臣ノ責任ニ關スル質問書ヲ提出致シテ置キマシタ、今其提出ノ理由ヲ茲ニ述ベマス(謹聽)宮内大臣ノ大任ヲ帶ビ伯爵二位ノ高位ヲ辱ウスル田中光顯ノ失行ハ天下ノ俱ニ見ル處ニシテ、其身宮廷補弼ノ重職ニ任ズルニ拘ハラズ、前ニハ皇族婚儀ノ大典ヲ誤リ、危クモ皇室ノ尊嚴ヲ傷ケントシ後ニハ我國家族制度ヲ以テ建ツノ國體タルニ拘ハラズ古稀ニ近キ年齢ヲ忘レテ孫兒ニ均シキ少婦ヲ娶リ、四十餘歳ノ嗣子ヲシテ之ニ母事セシメザルベカラザルノ狂態ヲ演ジ、世々厥ノ美ヲ濟マベキ忠孝ノ大倫ト長幼ノ次序ヲ失却シ、華ヲ去リ實ニ就キ荒穢相誠ムベキ醇厚ノ美風ト質實ノ良俗ヲ敗ルニ至ラントシタルハ天下萬衆之ヲ彈劾シテ止マザル所ニアリマス、(拍手起ル)帝國民法ニハ明カニ「尊族及ハ年長者ハ之ヲ養子ト爲スコトヲ得ス」ト定メテアリマス、是レ實ニ長幼ノ次序ヲ正シテ族制ノ大本ヲ整ヘ尋倫ノ大義ヲ立ツルモノニアリマシテ、年少者ヲシテ年長者ノ養父母タラシムベカラザルハ立法ノ精神ニ於テ之ヲ推斷スルニ難カラザルコト、思ヒマス、(拍手起ル)

然ルニ其身皇室ノ藩屏トシテ四民ノ上ニ立チ神聖ノ府ニ奉事シテ、一世道義ノ師表タルベキ宮内大臣田中光顯が、國家立法ノ精神ニ背キテ、強テ自ラ不倫ノ結婚ヲ許シ、建國以來ノ美風良俗ヲ破壞シ去ラントスルハ誠ニ憎ルベキコトアリマス、(拍手起ル)結婚ノ大義ハ男女相愛スルノ極致ニシテ輕佻ナル色慾、浮薄ナル虚榮心ノ結合ナラザルベキハ論ナキコトアリマス、(拍手起ル)サナキダニ世風日ニ非ニシテ、道義漸ク地ニ落チントスルノ歎、宮廷補弼ノ重任ヲ帶ヘル大臣ニシテ、敢テ斯ノ如キコトアラバ國民ノ亂行將ニ風靡シテ而シテ起ラントス、誠ニ寒心セザルヲ得ザル次第アリマス、伏シテ教育勅語及戊申詔書ノ聖意ヲ拜シ奉ルニ恐ク是レ 陛下躬自ラ發セラル、モノニシテ、萬民誰カ歡慮ヲ拜承シテ、至尊ノ聖德ニ感泣セザル者ガゴザイマセウカ、而シテ國務大臣ハ此神聖ナル詔書ニ副署シテ聖意ヲ天下ニ傳ヘ、自ラ衆庶ノ師表トシテ厥ノ誠ヲ致サミルベカラザルノトキニ方シテ、宮内大臣伯爵田中光顯這般ノ放縱不倫ハ神聖侵スベカラザル宮中ノ尊嚴ヲ瀆スノミナラズ、明カニ戊申詔書中ノ御聖意ニ悖反スルハ勿論、彼が國民淳朴ノ風ヲ失ハシムル其罪責斷ジテ宮廷補弼ノ大任ヲ託シ堂上威儀ノ衣冠ヲ帶セシムベキモノニアラザルコト明カデアリマス、(拍手起ル)而モ臺閣ノ中茲ニ之ヲ叱責シテ君側ヲ清クスル者ナク宛然トシテ敢テ知ラザル者ノ如ク、皇家ノ威嚴何ヲ以テ能ク保持スルコトが出來マセウカ、斯ノ如クニシテ尙其久シキニ瓦ランカ 陛下ノ臣民ハ其熱烈赤誠ノ激スル所或ハ自ラ禁闕ニ投シ、敢テ忠悃ノ誠ヲ致ス者アルモ亦知

ルベカラザルコトアリマス、事遂ニ此ニ到ラバ千秋ノ遺憾之ニ如クモノハゴザイマスマイ、桂内閣總理大臣以下臺閣ノ諸公ハ之ヲ以テシテモ尙自ラ關ハルトコロナシテセラル、

モノデアルカ、諸公或ハ憲法ノ章條ニ遵ヒ、國務大臣ハ大政補弼ノ責ニ任ズルモ宮廷事

弼ノ責ハ別ニ宮内大臣ノ管掌ニ屬スト言ハルルカモ知レヌテアリマスルガ、教育倫理ノ政
令ハ 天皇ノ御旨ニ發シテ國務大臣ハ補弼ノ責任上是ニ副署シ、之ヲ宣行スルノ地ニ

立タザルベカラザルモノデアリマスル、教育勅語戊申詔書トハ教育倫理ニ基ク政道ノ大

本デ、國務ノ樞要タルヲ以テ大權ノ施行トシテ國務大臣ノ是ニ副署シタルハ明カナル事
柄ニアリマスル、而モ桂内閣總理大臣以下ノ國務大臣ハ之ヲ以テモ尙其責任ヲ有セバ
ト云フコトが出來マセウカ、既ニ國務大臣ガ之ニ副署シ奉體宣行ノ責任が明カナルニ

於テハ單ニ官制ニアリテハ國務大臣ハ宮内大臣ノ官職ヲ監督スルノ地位ニアラズトスル
モ、憲法ハ明カニ 天皇補弼ノ責任ヲ宣示シ殊ニ詔勅ニ副署スルノ明文ヲ存シ、公式
令又明カニ皇室ノ大事ト大權施行トニ關スル副署ノ規定ヲ示シ、而シテ前ノ教育

勅語後ノ戊申詔書共ニ國務大臣ノ副署儀乎トシテ存スルニ於キマシテハ、確ニ宮内大
臣田中光顯ノ榮辱ノタメニ皇室ノ尊嚴ヲ蔑ニシテ不臣ノ引責ヲ決スル能ハザルハ臣僚
不忠ノ甚シキモノトシテ臺閣諸公ハ行政ノ府ニ焦慮スルノ故ヲ以テ此大問題ヲ閑却シ

政道ノ大本ヲ忘ルコトガアリテハナラズモノデアラズミトスルニ於キ日
若シ臺閣諸公ニシテ忠諫爭議ノ誠ヲ致サリテ、何ヲ以テ國體ト皇室ノ尊嚴ト帝國ノ此
體面ヲ保チ得ルコトが出來マセウカ、由來過渡時代ノ文化ニ急ナルモノハ皇室ト國民ト
ノ融和ニアルモノデアリマスル 諸君、若シ之ヲ念ハル、ナラバ國家機關ノ運用ニ意ヲ勞

スルノミナラズ此德義ノ大本ニ心ヲ用井ラル、ノ大切ナルコトヲ解シ得ラル、コトデアラウ
ト思フ、欽定憲法ノ章條ヲシテ萬世不易ノ國體ノ光輝タラシメ、此國體ヲシテ憲法ノ精

華タラシメント欲セバ、必ズヤ國民ハ 陛下ノ赤子ノ如ク 陛下ハ國民ノ慈母ノ如ク
ナラザルベカラザルモノデアリマスル、此熱烈ノ至情ハ即チ政道ノ大本ヨリ出テ教育倫理

詔勅ノ根本義ヨリ生ズベキモノニシテ、之ヲ培養シ之ヲ繁茂セシムルハ、即チ内閣諸公ノ
責任ニアルト思フ、憲法ヲ活機ニ須井ズシテ之ヲ死文三歸セシムノ愚ヲ學ブベキデハアル

マイト思フ、今ヤ帝國多事ノ時、活機ノ運用ハ繋テ内閣諸公ノ靈廟ニ存シテ居ルテス、
先づ之ヲ田中宮内大臣ノ失行ニ對スル臺閣諸公ノ責任ヲ聽カント欲スルノデアリマス
ル、諸公ニハ忠諫ノ誠アリザルベカラズ、國民ハ上奏ノ誠ナカルベカラズ、文王ハ城ヲ築

カズシテ民ニ德ヲ築ケリ、民ノ上ニ立ツトコロノモノ心ヲ用井ルコトハ古今ニアル、謹
シテ戊申詔書ヲ拜シ、又實ニ 陛下明徳ノ餘惠ヲ顧ウテ本員等六教育倫理ノ御聖勅ト
是ニ副署シタル内閣總理大臣以下國務大臣ノ補弼責任ヨリ生ズベキ田中宮内大臣

ノ失行失政ニ對スル内閣諸大臣ノ責任ヲ問ヒ、教育倫理ノ根本義ヲ國民ニ傳ヘント
スル次第アリマスル、之が本員等が茲ニ質問書ヲ提出シタル所以デゴザイマスル(拍

手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 中村啓次郎君——此間ニヨリ御諮詢致シマス、海外
移殖民要務處理ニ關スル建議案ノ委員會ヲ本會議ノ時間中ニ開キタイト云フ日向君
ヨリ請求ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、其通り決シマス、モウ一ツ御諮詢
致シマス、車輛統一ニ關スル建議案ノ委員會ヲ同ジク本會議中ニ開キタイト云フ委員
長ヨリ請求ガアリマス、差支アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ致シマス

○中村啓次郎君 (中村啓次郎君登壇)

諸君、本員ハ是ヨリ臺灣拓殖政策及臺灣關稅統一ニ關スル質

問ヲ政府ニ試ミタイト思ヒマス、暫ク御清聽ヲ願ヒマス、質問スル第一ノ綱領ハ政府ハ
臺灣拓殖ヲ國家ノ急務ト認メザルが如シ、果シテ然ルカ、政府ノ眞意ハ如何、諸君、

臺灣領有ノ目的、臺灣ヲ以テ我邦民俗ノ發展地トシ、我邦南門ノ鎮輔タラシメントスル
ニアルト云フヤウナコトハ、今更申スマセモナコトデアラウト思ヒマス、我國民的勢力ノ
世界ニ發展ヲ爲サントスル其階梯タル臺灣ガ、帝國領有後足掛ケ十五年長、歲月ヲ

費シ、二億ノ國帑ヲ靡消シ、而シテ僅々五万七千三百人ノ我同胞ヲ移殖シタルノミト云フ
ニ至リマシテハ、我國民勢力ノ發展ノ依タシテ振ハザルコトヲ世ノ嘲リニ委不ナケレバナ
ラナイト思フノデアリマス、又南門ノ鎖鑰タラシメントト云フケレドモ其南門ニ我誠忠ナル
國民ガ充實シテ以テ本州ノ藩屏トナスノデナクシテ、今日ノ如ク、今日モ尙清國ノ正朔

ヲ奉シツ、アルトコロノ土人、諸君、臺灣ノ住民ハ今モ尙我 皇ノ德ヲ欣慕セズ、清國
ノ正朔ヲ奉シテ居ルト云フコトヲ聞キマシタラバ、諸君一驚ヲ喚スルデアラウト思フ、
平生體面ヲ節シテ居ルトキハ格別デアリマスガ、民ノ心ノ誠ヲ表彰スルトキハ多ク此冠婚

葬祭等ニ於キマシテハ民ノ心ノ誠ガ分ルトキデアリマス、殊ニ位牌ヲ作リマストカ或ハ石
塔ヲ立テマストカ云フヤウナトキニハ、最モ民ノ心ノ誠ガ分ルトキデアル、然ルニ諸君、臺

灣ノ土人が位牌ヲ作リマシタリ或ハ石碑ヲ造リマスノニ未ダ曾テ我 皇ノ德ヲ頌シ、若
クハ明治ノ正朔ヲ奉ズルト云フコトハ絶ヘテナイノデアリマス、田舎ノ方ニ參リマストレバ格

別、臺灣ノ首府アル臺北ノ郊外一步ヲ出テマシテ墳墓ノ地ニ臨ミマスレバ、其石碑ニ
ハ必ズ皇清ノ二字ヲ冠ラシ、而シテ光緒ノ正朔ヲ記入致シテアルモノハカリデアルコトヲ

見得ルコトが出來マス、斯ノ如ク衷心帝國ニ歸服シナ、今モ尙清國ノ正朔ヲ奉シテ
居ルト云フヤウナ土人ノミニ拋リ放シニ委ネテ置キマスレバ、他日有事ノトキニ於キマシテ
何人カ能ク此南門ヲ守護スル者ガアリマセウカ、寧口斯ル場合ニ於キマシテハ此僅少ナ

ル母國民ノ存在シテ居ルモノが足手纏ヒニナシテ煩累ヲ來タスモノデアリマス、臺灣領有
ノ目的斯ノ如ク而シテ政府ノ爲ストコロスノ如シ、政府ハ何故ニ速ニ臺灣ヲ以テ我國

民ノ發展地トシ我南門ノ鎮鑰タラシムベキトコロノ政策ヲ執ラナイノデアルカ、又政府ハ
常ニ口ヲ開キマスレバ臺灣ハ殖民地アルト云フコトヲ云フ、本年一月二十三日豫算

委員會ニ於キマシテ桂總理大臣ハ臺灣ハ御承知ノ如ク殖民地デアル、全ク財政ノ如
キモ特別會計ヲ以テ分テ居ルト云フヤウナ有様デアルト云フ云々、臺灣ハ御承知ノ如

ク殖民地デアル、斯ノ如ク政府ハ常ニ口ヲ開ケバ臺灣ハ殖民地デアルト云フ、而シテ
怪ムベシ政府ハ未ダ督丁殖民政策ヲ臺灣ニ施イタコトハナインデアル、本員ハマダ此壇

敬意ヲ表スル所以デナイト思ヒマスカラ申シマセヌガ、唯政府が殖民地ト云ヒ、殖民ト
云フノハ全體如何ナルコトヲ意味シテ居ルノアルカト云フコトヲ聞カント欲スルノデアル、

幸ニ現内閣諸公が最モ信頼スル、而シテ臺灣總督府ノ殖産局師範役アルトコロノ新渡戸博士が殖民ノ本義ト致シマシテ「コロニゼーション・プロヴァー」トシテ云フコロニ據リマスレバ「我國ノ人民ハ或ル國ノ人民カ多少未開ノ領土ヲ得テ母國ノ保護ノ下ニ團體的ニ土著スルヲ云フ」下斯ノ如ク云ツテ居リマスノデアリマスカラ、臺灣ノ殖民地タルヤ否ヤハ別問題タリトスルモ、國民ガ母國ノ保護ノ下ニ團體的ニ土著スベキ政策ヲ行フテ殖民政策アルト云フコトハ明カニナルコトデアリマス、此點ハ平生博士ヲ尊信セラル、内閣諸公ナルガ故ニ一致セラル、コト、信ズル、然ラバ即チ臺灣ヲ殖民地ナリト云フ以上ハ、博士ノ云フが如ク、何故ニ母國ノ保護ノ下ニ團體的ニ國民土著ノ政策ヲ行ハナイノデアルカ、政府ハ未ダ曾テ臺灣ニ殖民政策ヲ行ハナイト云フコトハ、博士ノ定義ニ照ラシテ至明カデアリマスルシ、又何ヨリノ證據ハ本年ノ豫算ニ於キマシテ臺灣移住民獎勵費金ニ万圓ト云フモノヲ計上シテ、之ヲ以テ移住民調査費ニ供スルニ過ギズト、政府ハ説明ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ徵シテモ領臺十五年ノ今日マデ未ダ嘗テ移住民ノ調査スラ出來ナカッタト云フコトヲ得ルノデアル、本員ハ明治一十九年以來我國民族ノ臺灣土著論ヲ呼號スルニモ拘ラズ、總督府ハ之ヲ馬耳東風ニ付シナガラ、而モ尙臺灣ニ對シテ殖民地呼バリヲ爲スノハ不都合モ亦甚ダシトイヒマス、臺灣ハ決シテ外國ノ領土ニアラズ、所謂殖民地ニアラズ、帝國ノ一地方ニ過ぎナイケレドモ母國民ヲ移住セシムベキ土地ハ歟クハナイノデアリマス、故ニ之ニ殖民スルニハ届竟ナル土地デアルコトヲ斷言シテ憚ラシマス、抑、此内地人ヲ臺灣ニ移植スルト云フコトノ利益ハ或ハ内國ニ於ケル生存競争ノ状態ヲ調和シ、社會政策ノ一助トモナリマスルシ、又移住民ガ母國ノ風俗慣習等ヲ其儘ニ臺灣ニ持ツテ行カウトスルノデアルカラ、平生生活上ニ用ユルトコロノ總チノ品物ヲ母國ニ仰ゲガ故ニ、母國ノ經濟狀態ト云フモノハ極メテ宜ガナルノデアリマス、又移住民ノ增加ハ母國ト臺灣間ノ船ノ交通ト云フモノヲ頻繁ニ致シマスルカラ、今ヨリ五万ナリ十万ナリノ人が殖エルト云フコトニナレバ、今日ノ如ク商船會社、郵船會社ヲ保護シナカッタナラバ、從來衛生設備ガナク、且生命財産ノ保障ナカッタ富ヲ増スノデアリマス、其直接間接ニ享有スル國家ノ利益ハ決シテ少ナイコトデハナイト云ズルノデアリマス、併ナガラ此内地人ヲ移住セシムルト云フコトガ今ニシテ内地人殖民政策ヲ急ニ施サナカッタナラバ、從來衛生設備ガナク、且生命財產ノ保障ナカッタ人が、今ヤ我文明的治御ニ浴シマシテ生命財產ノ安否ヲ保タレ、衛生的狀態モ行屆クニ從ヒマシテ此支那民族ト云フモノハ非常ナ遠方ヲ以チマシテ蕃殖ヲ致ス所以ハ明カナ次第アリマス、恐ラク此勢ヒヲ以チマシテ推移タナラバ、コ、十數年後ニハ内地人ヲ移植シヤウト思ウテモ移植スル場所ガナクナルノデアル、政府ハ何故ニ臺灣ニ對シテ内地人移住政策ヲ執ル、何ソ踏距遙巡スルノナルカ、殆ド其意ヲ得ナイ、又政府ハ本議會ニ於キマシテ外務大臣ヲシテ帝國移民政策ヲ宣言セシムルニ當リ外務大臣ハ左ノ如ク陳述致シテ居リマス「移民問題ヲ研究スルニ當リマシテ第一ニ注意ヲ要スルコトガ大ヲ見ルニ至リマシタルヲ以テ、我民族ガ漫ニ遠隔ノ外國領地ニ散佈スルコトヲ避ケ、成ルベク之ヲ此方面ニ集中シ、其結合一致ノ力ニ依リ經營ヲ行フコトヲ必要トスルニ至リマシタコトデゴザイマス」斯ノ如ク外務大臣ハ申サレテ居ルノデアル、成程我民族ガ

漫ニ遠隔ノ外國領地ニ散布スルト云フコトハ、決シテ國家ノタメニ喜ブベキ現象デナイト云フコトハ、我輩モ之ヲ知ル、殊ニ近世遠國移民ノ歴史ヲ見マスト云フト、明カニ是等事實ハ信セラレルノデアル、即チ近イ國ニ移民致シタモノハ本國ニ復歸スルコト多イガ、遠イ所ニ移民シタモノハ本國ニ歸シテ來ルト云フコトハ、極メテ少ナイ事實ハ幾多ノ例證モ之ヲ證明スルノデアル、今之ヲ伊太利ノ國ノ例ニ見マスト、伊太利カラシテ伊太利ノ近國ニ移民シタモノノ百分比倒ヲ見マスト、瑞西ニ參リマシタモノガ千八百八十年カラル、ソレカラ佛蘭西ニ移民致シマシタモノガ千八百八十八年ニ至リマスデ、此間ノ統計ニ依ルト云フモノノ数ノモノガ本國ニ歸シテ來テ居ル、之ニ反シテ米大陸即チ九十九人ト三分ナル、ソレカラ奥地利匈牙利ニ參リマシタモノガ千八百八年カラニ參シテ歸還者ノ割合ニアリマス、何レモ九十九人、或ハ九十四人、或ハ九十六人ト云フ多數ノモノガ本國ニ歸シテ來テ居ル、之ニ反シテ米大陸即チ遠國ニ赴キマシタモノ、割合ヲ見マスト、米國ニ赴キマシタモノガ千八百八十七年カラ千八百九十二年マデノ間ノ割合ヲ見ルト、僅ニ三人六分ナル、「ブルジル」ニ參リマシタモノノ、本國ニ歸シテ遠國ニ歸シテ來テ居ル、之ニ反シテ米大陸即チ一人ト六分ナル、ソレカラ「アルゼンチン」ニ參リマシタモノノデ、伊太利本國ニ歸還致シマシタモノガ、ヤハリ千八百八十七年カラ九十二年マデノ統計ニ依リマスト四十五人ト二分ニアリマス、是等ハ其一例ニ過ギマセヌケレドモ、遠國移民ハ多クハ本國ニ復歸シナイモノニアルト云フ事實ハ是ニ依ラテモ能ク證明シ得ラル、コトト信シマス、論者ハ移民ハ多クノ正貨ヲ本國ニ持ツテ歸シテ來ルカラ、誠ニ結構ナモノニアルト云フ、是ハ我輩モソレヲ信ズルノデアル、併ナガラ移民ノ送金ト云フモノハ本國ニ歸シテ遠國ニ移住スル位ノモノハ何レモ血氣盛シナ壯者多ケレバ内地ニ於テモノハ本國ニ歸シテ送金ヲシテ參ルト云フ位ノ心懸テ動キサヘスレバ、又決シテ遠國ヨリ送金スル位ノ金額ヲ内國ニ於テ收得シ得ラレナイ譯モナインオナル、論者ハ移民送金ヲ喜バケレドモ、此移民ノ送金ハカリヲ喜ンテ移民ナルモノ、出發當時ニ於ケル移民其人ノ間ニ於キマシテコソ送金スルモノガ多イケレドモ、永住スル者ハ永住スルニ從ヒマシテ故ナモノニアルト云フ、是ハ我輩モソレヲ信ズルノデアル、併ナガラ移民ノ送金ト云フモノハ本國ニ歸シテ遠國ニ移住スル位ノモノハ何レモ血氣盛シナ壯者多ケレバ内地ニ於テモノハ本國ニ歸シテ送金ヲシテ參ルト云フ位ノ心懸テ動キサヘスレバ、又決シテ遠國ヨリ送金スル資金、及國家ノ負擔スル資本ト云フモノヲ思ヒ、又其移民が本國ニ於キマシテ勞働ニ從ヒマシタナラバ生產の収得シ得ベカリシ勞銀ノ缺損ト云フコトニ思ヒ及シケレドモ、誠ニ寒心ニ堪ヘナイモノガアラウト思フノデアリマス、之ニ反シマシテ我領土ニアルトコロノ臺灣トカ、或ハ北海道トカ、或ハ保護國ナリ、租借地アルトコロノ地域ニ移住致シマスルニハ所謂移民トハ全ク其趣キヲ異ニ致シマシテ、其土ニ移住スルニハ即チ國者労力ノ結果ハ移住者ノ富ヲ増スベク、又同時ニ國家ノ富ヲ増スベク、移住者生産ノ威力ハ實ニ國家發展ノ光輝ヲ發揚スルモノニアリマス、故ニ此意義ニ於キマシテ本員ハ現政府ノ宣言ニ一部ノ道理ノ存在ヲ認ムルモノニアル、併ナガラ諸君、本員ハ此外務大臣ノ演説中ニ一言半句ノ以テ臺灣ニ及バナカッタト云フコトハ甚ダニヲ遺憾トシ、又

極メテ之ヲ奇怪ニ思フノダアル、政府ハ日露戰役ヲ忘レタルヤ、政府ハ滿韓ヲ獲テ臺灣ヲ忘レタルヤ、又政府ハ臺灣ハ既ニ母國人ヲ以テ充實セリト思ヘルヤ、將タ又政府ハ臺灣ハ到底内地人ヲ移殖スルニ適セズト思惟スルガ爲メニ此外務大臣ノ移民ニ關スル演說中日露戰役ノ結果、滿韓「一洲ニ及シテ、日清戰役ノ結果ノ臺灣ニ及バザリシ譯柄デアルカ、本員甚ダ感ヒナキ能ハナノナル、然ルニ日露戰役ノ結果はガ經營ヲ行フベキ地域ヲ等閑ニ附スル能ハザルハ勿論デアルガ、又日清戰役ノ結果ニ依リ收メタル土地ニ於テ是が統治十五年、未ダニニ國民的發展ノ基礎ダモ確立シナ、臺灣ヲ忽諸ニ附スルガ如キハ日本帝國が列國ニ對スル面目トシテモ黙止スルコトが出來ヌコトデアルト信ズルノアリマス、若夫レ日露戰役ハ勿論日清戰役ヲ忘レ、日露戰役ノ結果ヲノミ思フテ日清戰役ノ結果ヲ忘レタリト云フガ如キハ餘リニ政府ノ健忘症デアルコトニ驚カザルヲ得ヌ、又臺灣ニ拓殖行政十分ニ行居キ最早内地人移植ノ餘地ナシト思ヘルナラバ餘り從來臺灣當局ノ言ヲ過信シタルモノニアツテ、臺灣當局及是が鼓吹者ノ世ヲ欺キ政府ヲ誤ラシメシヲ、甚ダ遺憾ニ思フノデアル、若シ又臺灣ハ内地人ノ移植ニ適セズト云フガ如キハ實際臺灣ヲ踏査セザルモノ、言トコロデアリマシテ、臺灣ハ外人ノ所謂「フルモサ」ト云フ如ク、拓殖上實ニ立派ナ島ニアツテ、到底滿韓一洲ノ企及ブトコロデナイト云フコトヲ知ラナイノデアルカ、食物ハ廉イシ、著物モ殆ド要フナイシ、米ハ一度乃至三度出來ルシ、野菜ハ四時豊富アルシ、山林ニハ良材ハ幾ラデモアルベシ、四面環海、水産業ハ頗ル多望デアルシ、其他鑛山業、工業、商業、何レモ頗ル多望デアルノデアル、政府ハ何故ニ先ヅ此比較的ニ移民ニ容易ナル臺灣ヲ拠棄シテ此困難ナル滿韓一洲ニ力漁ラレラル、ノデアルカ、本員誠ニ感ナキ能ハヌノデアル、以上述マイト思フ、果シテ政府ハ臺灣拓殖ノ國家ノ急務ナリト認ムルトスカ、何故ニ臺灣關稅收入ヲ舉ゲテ臺灣拓殖事業ニ使用セシメズシテ之ヲ一般會計ノ方ニ編入セシヤ、其理由如何ト云フノガ是ヨリ本員ノ質問セント思フ、第一ノ綱領デアリマス、諸君、臺灣ノ輸入稅ノ收入ヲ以テ一般會計ニ編入致シマシタ理由ハ豫算委員會ニ於ケル若櫻政府委員ノ本員ノ質問ニ對スル答辯ニ「關稅行政ノ統一ガ目的デアシテ、其結果關稅ノ收入が一般ノ關稅ニ入ルコト、ナッタノデ、此外ニ理由ハアリマセヌ」と斯ウ言シテ居ルノデアル、即チ關稅行政ノ統一が目的デナイト言シテ居ルノハアル、果シテ然ラバ關稅行政ノ統一ト云フ議論ハ自ラナクナラナケレバナラヌノアル、然ルニ諸君、臺灣關稅ト云フモハ内地ノ關稅定率法其儘勅令ヲ以テ行ハヌアル、即チ臺灣ノ關稅定率法ト云フモハ内地ノ關稅定率法其儘勅令ヲ以テ行ハヌアル、ノコトデアツテ、事實臺灣ノ關稅ト云フモノハ帝國關稅行政ノ上ニ於テ統一サレテ居ルノデアル、即チ臺灣ノ關稅定率法ト云フモハ内地ノ關稅定率法其儘勅令ヲ以テ行ハヌアル、臺灣ニ行ハレテ居ルノアル、今律令ト法律トハ效力ガ同ジト云フヤウナ議論ハ此トシテ臺灣ニ行ハレテ居ルノアル

處デ申スコトヲ避ケマセウ、併ナガラ既ニ關稅定率法ト云フ内地ノ法律が行ハレ、而シテ内地ノ法律ト同シ寶質ノ臺灣ノ關稅法ト云フモノが行ハレテ、而シテ臺灣ニ於テハ關稅ノ取立ヲ致シテ居ルノテアリマスカラ、臺灣關稅が統一サレテ居ナイノデアルト云フヤウナ議論ハ毫モ出來メノデアリマス、臺灣關稅が既ニ統一サレテ居ルトスレバ臺灣關稅ノ統一ヲ名トシテ此關稅收入ヲ一般會計ニ編入致シタト云フコトハ誠ニ理由ノナイコトデアル、若又假リニ政府ノ言フが如ク關稅ハ統一サレテ居ラヌ、今回始メテ關稅統一ヲ行フベキモノニアルト假定シタトコロガ、既ニ關稅行政ノ統一ガ目的デアシテ、關稅行政ノ統一が出來タラバ、此關稅收入ト云フモノヲ特別會計ナル臺灣ノ歲入ニ返戻シテヤルト云フコトハ當然ナ理由デアルト思フノアリマス、然ルニ政府ハ臺灣輸入稅收入ノ内金六十五万圓ヲ割イテ、之ヲ中央政府財政ノ補足ニ供シマシタノハ、言ラ臺灣ノ關稅儀ナクセラレマシタル例ニ倣シテ遂ニ言ラ臺灣關稅統一ノ名ニ藉リ其實ハ臺灣ノ關稅統一ノ名ニ藉リ其實ハ臺灣ノ關稅收入ノ統一ヲ行ウタコトニナツテ居ルノアル、政府が臺灣關稅收入ヲ一般會計ニ編入シタノハ本年度ニ於キマシテ各省經費五分減ノ實行ヲ斷行セラレシヨリ關東都督府及樺太廳ノ如キモ國庫補助金ヲ削減セラルベク餘中央ノ財政整理ニ急ナルガタメ已ムヲ得ズ非常手段ヲ以テ特別會計ヲ侵略シタリト雖モ、斯ノ如キ一時ノ事故ニ依シテ永久ニ臺灣總督府ノ財源ヲ一般會計ニ併合スルト云フコトハ臺灣經營ニ妨害ガ有リト思フカ、無イト思フカ、將タ政府ハ臺灣經營ノ急ヲ認メテ四十三年度ニ於キマシテハ最早臺灣輸入稅收入ト云フモノハ同特別會計ノ歲入ニ戻ス積リデアルカドウカ、諸君、今ヤ韓國ニ於テ東洋拓殖會社ハ年々三十萬圓ノ補助ヲ受クルノトキデハアリマセヌカ、諸君、今ヤ南米移民ヲ獎勵センガタメニ政府ハ其航路ニ百數十万圓ノ補助ヲ爲シツ、アルトキデハアリマセヌカ、而シテ諸君、今ヤ佐久間總督ハ古稀ニ近イ高齡ヲ以テ臺灣ニ蒞ミ、旅順要塞ノ露ト散ルモ沙河遼陽ノ煙トナルモ縛シ、足ヲ殺シ、以テ臺灣統治ノ實ヲ舉ゲベキヲ強エルト云フノハ、本員督府監督ノ地位ニ在ルモノ又一掬ノ涙ナキ能ハヌノデアリマス、常ニ至尊ニ近邇シ恩寵ニ浴スル者又少シク此還外ノ老爺ヲ憫ミ一日モ早ク臺灣開發ノ任ヲ遂行セシムルノ同情ハ無イノデアリマスカ（拍手起ル）

○議長（長谷場純孝君） 御詰リ致シマス、決算委員會ヲ本會ノ時間中三開キタイト云フ小川委員長ノ請求ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ
（「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」）

○議長（長谷場純孝君） 御異議がナイト認メマスカラ許可スルコトニ致シマス
○小川平吉君 決算委員諸君ハ決算委員室ニ御集リテ願ヒマス
○議長（長谷場純孝君） 日程第一、外國領海水產組合法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長細川義昌君

○栗原亮一君 此場合ニ豫算總會ヲ開キタウゴザイマスカラ豫算委員ノ退席ヲ請求致シマス
 ○議長(長谷場純孝君) 豫算委員長ヨリ本會ノ時間中ニ豫算總會ヲ開キタイト云
 ○議長(長谷場純孝君) 許可シテ御異議マリマセヌカ
 ○議長(長谷場純孝君) 「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」

○栗原亮一君 豫算委員ノ諸君ハ豫算委員室ニ御集リラ願ヒマス
 ○栗原亮一君 豫算委員ノ諸君ハ豫算委員室ニ御集リラ願ヒマス

○細川義昌君 委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、外國領海水產組合法中改正法律案ノ委員會ハ去ル十七日ニ開會ヲ致シマシテ、委員長及理事ノ選舉ニ引續キマシテ審查ニ移リマシタノデゴザイマス、サウシテ外務省、統監府、農商務省ヨリ出ラレテ居リマスル各政府委員ノ出席ヲ請ヒマシテ十分ニ質疑ヲ致シマシタ上、尙審議ヲシテ決定ヲシタノデアリマス、然ルニ此委員會ニ於キマシテハ速記ノ方が非常ナ繁忙デゴザリマシタノミナラズ、此案ハ至シテ簡単ナ改正案デゴザリマスルが故ニ、速記ヲ附セヌコトニシマシタガ故ニ、此審查ノ經過ニ付キマシテハ聊辯シテ置キタウ存シマス、少シノ間御静聽ヲ願ヒマス、此組合法ノ改正ヲ致スト云ノハ政府ニ於テハ既ニ提出ノ時分ニ御聽キニナリマシタ通り、最早此改正ヲセントスル第五條ハ今日トナツテ必要ヲ認メナノミナラズ、外國人ニ不快ノ感ヲ與ヘル等ノ不利益ガアルカラ、此條項ヲ削除シテシマット、斯ウ云云ノデゴザリマス、ソコニ委員會ニ於キマテハ此第五條ヲ削除シタナラバ領海外ニ在ルトコロノ組合ニ於テ不利益ヲ被ルコトガアリハセヌカ、組合ニ取テ困ルコトガアリハセヌカト云懸念ガゴザリマシタカラ其邊ニ意用井テ、十分ニ審査ヲ致シタノデゴザリマス、此委員ノ中ニ於キマシテ五條ノ正文ヲ全部取テ除ケルト云フコトニナルト、組合ニ取テ取締上不利益ノ點モアルカラ、此五條ヲ修正ヲシテ政府ノ改正セント致シマスルトコロノ主旨即チ外國人ニ不快ノ感ヲ與ヘルシテ往クヤウナ譯ニ修正シタナラバ宜カラウト云フ說が出タノデアリマス、ソレカラ段々審議ニ掛リマシテ、終ニ秘密會成案ヲ認メテモ開キマシテカラ十分ニ審議ヲ盡シマシタガ、政府ノ辯明スルトコロ聞イテ見マスルト此第五條ヲ全ク廢シテシマウト云コト付テハ、現在立て居ルトコロノ組合ノ意向モ取調ベタノデアツテ、朝鮮ニアルトコロノ組合ニ於テハ之ヲ取テ除ケルト云フコトニ付テ差支ガナイ——異議ガナイト云フコトヲ組合ノ方カラノ答ニナツテ居ル又路領ノ沿海州ノ方ニゴザイマストコロノ組合ノ如キハ其重立ツモノ、意見ヲ聞イテ見ルナラバ、此五條ヲ削除シテ差支ガナバカリテナク却テ便宜トスルトコロニアシテ、若シ此儘ニ往クト云フコトニナレバ第五條ノ排除ノ事ヲ請願ヲ致シタイト云ウテ居ル場合モアルト云フヤウナ次第デアリマシタ趣キゴザイマス、サウシテ又組合ヲ起シテ往ク又或ハ

イロノノ弊害ニ付テ取締ヲ往クト云フコトハ第四條ト第六條ト依テ十分デアルトノコトゴザイマス、且ツ此改正案ハ御承知ノ如ク貴族院ニ於テモ之ヲ可決致シマス、次院ニ回ツテ參リマシタ案ノコトモゴザイマス、又委員が段々調ベタトコロヨリシマスト、今

ノ領海外ニゴザイマストコロノ漁業ノ状態ガ今日ノ儘アズツト進シテ往クト云フコトデゴザイマスナラバ、別ニ此條ヲ削除ヲシテモ差支ナイモノト認メマシテゴザイマス、若シモ萬一目下ノ状態ト云フモノガ段々變シテ參リマシテ、元トノ五條ノ如キ箇條ヲ設ケテ往クト云フ必要ガ生ジタ場合ハ、今削除シテ置キマシテモ、ソレヲ此場合ニ至シテ復活セシムルコトハ敢テ不可能ノコトデハナイ譯デアルカラ、原案——改正案ノ通リニ第六條ヲモ改正ヲ致シテ置クナラバ原案通り削除ニナツテモ宜シト云フノデゴザイマシテ、先キニ修正案ヲ提出シテ居リマシタノモ提出者ヨリ撤回ヲ致シマシテ、結局全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシテ、本院ニ於テ此案ハ原案通り可決ニナツテ然ルベキモノデアルト云フコトニ極ツメノデアリマス、ドウカ遠ニ決議ニナランコトヲ希望致シマス、此段報告致シマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス
 ○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決セラレントヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ異議ナキモノト認メテ直チニ第二讀會ヲ開キマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ異議ナキモノト認メテ直チニ第二讀會ヲ開キマス

外國領海水產組合法中改正法律案

第二讀會、確定議

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 総テ御異議ガナイモノト認メマスカラ委員長報告通リ決定シマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ——日程第一、砂糖消費稅法中改正法律案、兩院協議會成案ヲ議題ト致シマス——兩院協議會議長大岡育造君

第二 砂糖消費稅法中改正法律案兩院協議會成案

第二讀會、確定議

○大岡育造君 是カラ御報告申シマス、砂糖消費稅法中ノ改正法律案ハ元ト本院ノ議員中川虎之助君ノ提出ニナツテモノデアリマス、之ヲ本院ニ於テ可決ヲシテ貴族院ニ送付シマシタコロガ其箇條ガ二ツアル、黒砂糖、白下、蜜、此三ツデアツ、其中黒砂糖ヲ貴族院ハ採ラテ白下、蜜ト云フモノヲ捨アタノデアリマス、是ガタメニ貴族院ト交渉ニナリマシタガ、元來此案ハ政府が強キ反対ヲシテ居ツタノデアル、ソレヲ貴族院が其一部分ニ同意ヲ表シテ、終ニ成立シタ譯アリマスカラ、貴族院ノ意向ヲ突止メマスルニ、是マテ政府ノ反対シタ案ハ貴族院ニ賛成スルコトハ甚ダ稀デアツカ、此砂糖消費稅ニ付テハ今日尙高イト云フコトヲ認メテ、衆議院ト同感デアルガ故ニ、同情ヲ寄セタト云フコトガ分リマシタカラ、終ニ貴族院ノ修正通リニ全會一致ヲ可決ニナリマシタ、此段ヲ御報告致シマス

○議長(長谷場純孝君) 兩院協議會議長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ
 ○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、協議會ノ成案ヲ可決致シマス、次ハ日程第三、建物保護ニ關スル法律案、貴族院ノ回付ニ係ルモノヲ議題ト致シマス

第三 建物保護ニ關スル法律案(本院提出貴族院回付)

建物保護ニ關スル法律案

〔小字ハ貴族院ノ修正
トヲ削除シテ表記〕

第一條 建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ土地ノ賃借權ニ因リ地上權者得
又ハ土地ノ賃借人カ其ノ土地ノ上ニ登記シタル建物ヲ有スルトキハ地上
權又ハ土地ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ
得

建物カ地上權又ハ土地ノ賃貸借ノ期間満了前ニ滅失又ハ朽廢シタルトキ
ハ地上權者又ハ土地ノ賃借人ハ其ノ後ノ期間ヲ以テ第二者ニ對抗スルコ
トヲ得ス

第二條 建物ノ所有ヲ目的トスル地上權ノ存續期間ハ二十年ヲ下ルコトヲ
得ス若之ヨリ短キ期間ヲ定メタルトキハ其ノ期間ハ之ヲ二十年ニ伸長

建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃貸借カ其ノ期間ノ満了ニ因リ終了スル
場合ニ於テハ賃借人ハ建物ノ存續スル場合ニ限リ其ノ期間ヲ更新スルコ
トヲ得更新シタル期間ノ満了ニ因リ賃貸借ノ終了スル場合亦同シ
前項ノ期間ハ通シテ二十年ヲ超ユルコトヲ得ス若契約ノ當時定マリタル
建物ノ構造又ハ用方ニ因リ之ヨリ短キ期間ヲ相當トスル場合ハ其ノ期間
ニ依ル

第三條 當事者カ建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃貸借ノ期間ヲ定メサリ
シトキハ其ノ賃貸借ハ建物ノ朽廢スヘキトキニ終了ス但シ民法第六百四
條ノ適用ヲ妨ケス
前項ノ場合ニ於テ賃借人ハ民法第六百十七條第一項ノ規定ニ依リ解約ノ
申入ヲ爲スコトヲ得

附則
本法ハ本法施行前ノ設定行為又ハ契約ニ因ル地上權又ハ土地ノ賃貸借ニモ
之ヲ適用ス
○大岡育造君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 是ニハ發言ノ通告ガアリマス、高木益太郎君
○高木益太郎君 ドウツ御ヤリ下サイ
○大岡育造君 是ヨリ意見ヲ申シマス、本案ハ是亦本院ノ議員高木益太郎君ノ提
出デ、衆議院ノ極メタコロハ所謂地震賣買ノ弊ヲ防ギ、尙借地人ノ權利ヲ保護スル

ニ努メタノデアリマスガ、貴族院ニ回シテカラ修正ヲシテ戻シテ來タノデアリマス、其修正
シタル箇條ヲ見マスルト所謂地震賣買ノ極クヒドイコトハ喰止メ得ラレマスルガ、借地人
ノ權利ヲ全ウスルハ不十分ト考ヘラルノデアリマス、併シ最早日數モナシ今日デアリマ
スカラ、是ハ貴族院ノ修正ニ同意ヲ表シタイト思ヒマス

○高木益太郎君 唯今ノ大岡總務ノ御意見ニハ自分モ贊成ヲ表スルノデアリマス、本
案ハ本院ニ於テ可決シ、政府モ贊成ヲ表シタノデアリマスガ、貴族院ハ第一條第三條
及附則ヲ削除シタ、今日諸君ノ手許ニ配付サレタ同院委員會ノ速記録ニ依ルト、貴
族院ニ於テハ此二條三條ニ付テ絶對的ノ反対デハナイケレモ、ドウモ明案が考出サレ
スカラ之ヲ他日ニ譲ルト云フ意味ニ於テ二條三條及附則ヲ否決シタノデアリマス、故ニ
諸君モ來年マデニ明案ヲ御考下サルヤウニシテ、且下有ハ無ニ勝リマスカラ、一條タケデ
モ既ニ裁判上ニ起ツ、アルモノヲ救ヒ、又將來起ラントスル地震賣買ヲ防グコトガ出
來ルト云フ意味ニ於テ、何卒貴族院ノ修正案ニ御同意アランコトヲ願ヒマス

〔賛成々々ノ聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、貴族院ノ修正ニ同意スルコト
ニ決シマス、此場合諸君ニ御諮詢致シマスガ……

○大岡育造君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 大岡育造君

○大岡育造君 此際日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、ソレハ唯今配付ニナリマシタ

政府提出ノ日本勸業銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓
殖銀行法中改正法律案、此三案ハ過日本院ヨリ質問ヲ致シテ耕地整理ノ資金ヲ政
府が供給スル途ヲ開イテ貴ヒタイト云フ意味ヲ此法律ニ明カニ極メテ便宜ヲ與ヘア吳
タ澤アリマスカラ、直チニ日程ヲ變更シテ此所ニ組入レテ、委員付託ニナランコトヲ希
望致シマス、其委員ハ三案ヲ一括シテ九名トシ、議長指名トスルノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 大岡君發議ノ如ク議事日程ノ變更ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、議事日程ヲ變更致シマス、政
府提出ノ日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖
銀行法中改正法律案、此三案ヲ一括シテ議題ト致シマス

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)
農工銀行法中改正法律案(政府提出)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)
第一讀會
第一讀會
第一讀會

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)
耕地整理法ニ保リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合ヨリ借用
第十五條第二項ヲ左ノ如ク改ム
ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ
抵當ヲ徵セシテ定期償還貸付又ハ年賦償還貸付ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

農工銀行法中改正法律案

第六條第四號ヲ左ノ如ク改ム
農工銀行法中改正法律案

耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合ヨリ
借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タ
ルトキハ無抵當ニテ本條第一號第一款ノ貸付ヲ爲スコト

第七條ノ二中「產業組合」ヲ「產業組合聯合會又ハ產業組合聯合會ニ加入セ
サル產業組合」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道拓殖銀行法中改正法律案

第八條第三項中「產業組合」ヲ「產業組合聯合會又ハ產業組合聯合會ニ加入
セサル產業組合」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道拓殖銀行法中改正法律案

○恒松隆慶君 大岡君發議ノ如ク三案ヲ一括シテ九名ノ委員議長指名ニ願ヒマス
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 三案ヲ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御
異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ其通り決シマス、日程第四入ル際ニ御諮詢
リラ致シマスガ、此競馬法案ノ討論終結ニナツテ居リマスガ、併シ之ハ單ニ討論ヲ止メテ
委員ニ付託スルノ意味ニアタト思ヒマス、正式ノ討論終結デハナカタト認メテ宜シカラ
ウト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ是ヨリ討論ニ移リマス、日程第四、競馬
法案第一讀會ノ續キヲ議題ト致シマス、委員長宮古啓三郎君

第四 競馬法案(佐々木文一君外二名提 第一讀會ノ續(委員長)
(宮古啓三郎君登壇)

○宮古啓三郎君 競馬法案委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ種々
政府ニ對シテ質問致シタ後特別調查委員ナルモノヲ七名選ミマシテ議案ノ調査ヲナサ
シメ、並ニ政府ニ交渉ヲナサシメマシタ、其特別調査委員會ニハ馬政長官及日本陸軍
次官其他ノ政府委員モ出席シテ委員會ニ於テハ決シタノアリマス、所が之ニ對シテハ一
ヲ致シマセヌ、特別調査委員ハ原案ヲ修正スルノ必要アリト云フノテ修正案ヲ作リマシ

ソレヲ委員總會ニ報告シテ其修正案が委員總會ヲ可決ニナリマシタ、諸君ノ御手
許ニ回シテ居ルノガ即チソレアリマス、テ原案ヲ修正致シマシタ場所ハ數箇條アリマス
ガ、根本主義ニ於テハ相違ハナイノデ、唯條文ノ配列ヲ修正致シ、又罰則ノ點ニ於テ
二三ノ修正ヲ致シ、又刑法ノ賭博ト云フ處ニアル所謂賭事、此賭事ト云フモノ、規定
ハ適用セヌト云フコトヲ明白ニ致シタノアリマス、ソレハ元々此案ハ娛樂主義カラシ
立ツテ居ツテ殊ニ鑑識ノ確保ヲスルタメニ馬票ヲ發行スルト云フコトヲシテ居リマスカラシ
テ刑法ニ當ル場合ハ誠ニ少ナイノアリマス、併ナガラ免ニ角賭事タルコトハ免レナリノデ
アルカラシテ、ヤハリ刑法ノ偶然ノ輸贏ニ關シ云々ト云フ賭事ノ規定ヲ適用セヌト云フコ
トニセネバ競馬ヲ爲スコトが出來ナイコトニナツテシマフト云フコトカラ、此刑法ノ偶然ノ
輸贏ニ關シ云々、賭事ト云フコトダケハ適用セヌ、博戯ノ方ダケ適用シテ差ナシ、斯
ウ云フコトニシテ修正シタノアリマス、此案ハ大分議論ノアルモノアリマスカラ、委員
會ガ本案ヲ修正可決致シマシタ理由ヲ大體申上ゲマシテ、諸君ノ御参考ニ供サウト思
ヒマス、此後ニ大分通告ガアルサウデアリマスカラ贊成論者ト反対論者ト兩方火花ヲ散
ラスコト、思ヒマスカラ、私ハ短ク申上ゲマス、御承知ノ通り日露戰役ノ結果トシテ馬
匹ノ改良ハ最モ焦眉ノ急アルト云フコトヲ感シテ、是ハ申スマデモナク彼ノ露國ノ軍馬が
肥大デアツテ力量が強ク、日本ノ軍馬ハ矮少デアツテ力量が非常ニ薄弱デアルト云フ
コトアルカラ第一ニ軍事ノ上ニ於テ馬匹ノ改良ハ最モ速ニ之ヲ爲サヌバナラスト云フコ
トハ申スマデモナイトデアリマス、此點ニ於テハ何人モ異論が無イノアラウト思フガ、
猶テ此馬匹ノ改良ト云フコトヲ如何ニセバ宜イカ之が即チ問題アルノアリマスガ、政
府當局者ニ於キマシテモ此點ニ付キマシテハ取調モシ心配モ致シテ居ルノアリマスガ、政
府當局者ノ意見トシテハ競馬ヲ除イテハ彼ノ所謂三十年計畫ト云フモノヲ出シテ居ル、
此三十年計畫ニ依テ馬匹ノ改良ヲ爲サウト云フノアリマス、三十年間ニ日本ノ馬ノ
血液ヲ一新シヤウト云フノアリマス、所が二十年計畫アリマスカラ御承知ノ通り三十
年間掛ル話テアル、三十年間掛ルテ馬匹ノ改良ヲスルト云フコトデアツテハ誠ニ是ハ緩慢
ニ失スル譯アルノミナラズ、此三十年計畫ニ依テ馬匹ノ改良ヲ本當ニ目的ヲ達スルト
云フコトハ到底ムカシイ事ニアル、ソレ故ニ三十年後ヲ待タズシテ競馬ヲ以テ一番今
日急ニ馬匹ヲ改良スルト云フコトガ最モ必要アル、競馬ニ依ルヨリ仕方ナガニ、一朝事ノ起ツタキニハ三十年計畫ヲ
ハレルノアルカラ此競馬ニ依ルヨリ仕方ナガニ、馬票ノ發行ヲナキ競馬ハ到底其目的ヲ達スルコトが出來ナインデアル、
待ツテ居ルヤウナコトハ是ハ誠ニ國ノタメニ容易ナラザル事アルカラ、最モ迅速ニ馬匹
ノ改良ヲセネバイカヌ、迅速ニ馬匹ノ改良ヲスルニハ競馬ニ依ルヨリ仕方ナガニ、到底兒戲ニ類シ
テ馬匹改良ノ目的ヲ達スルコトが出來ナイ、ソレ故ニ止不得ズ之が爲メニ馬票ノ發行ヲ
セネバイカヌ、馬票ノ發行ヲナキ競馬ハ到底其目的ヲ達スルコトが出來ナインデアル、
故ニ據口ナク馬票ヲ發行シテ競馬ヲ爲サシムルト云フコトニスレバ馬匹ノ改良が最モ速ニ
出來ル、馬票ヲ發行スル競馬ニ依ルニアラズンベ到底此馬匹改良ノ目的ヲ迅速ニ遂ケ
ルコトが出來ナイト云フ意見ニ委員會ニ於テハ決シタノアリマス、所が之ニ對シテハ一
ノ弊害ガアル、申スマデモナク一利アレバ必ズ一害アルノアリマスガ、所謂風紀問題ト
突ヲ來シテ參ルノアリマス、此風紀問題ハ勿論之ヲ輕視スルコトハ出來ナイ、故ニ此

風紀問題ト此競馬ト云フモノトノ調和ヲ圖ルノ必要がドウシテモナケレバナラヌ、此調和出來ル以上ハ馬票ニ依ルトコロノ競馬ヲ爲スト云フコトハ最モ適當ナル方法ト云ハネバナラヌノテアル、其調和ナルモノガ出來ナイコトデアルカドウカト云フコトヲ段々取調ベテ見ルニ、決シテ出來ナイコトデハナイ、今日マテハ成程放任主義デアタカラ其弊害が大アシテ、ソレガタメニ世間ノ非難が頗ル大テアッタ、所ガ是ハ遺方次第テ決シテ今日マテノヤウナ弊害ハ無クテ濟ム方法ハイクラモアルノデアリマス、ソレデ其弊害が無クナルヤウニスル、即チ調和ヲ圖ルトコロノ案が此修正案アルノデアリマス、又原案ノ趣意モソレアルノデアリマス、即チ其趣意ハ非常ノ制限ト取締トヲ用ユルノデアル、而シテ此原案竝ニ修正案ニ於キマシテハ其制限竝ニ取締ハ馬政長官ニ一任シテアリマス、ソコデ馬政長官ニ於テ其規則ヲ設ケテ、例ヘバ馬票ナルモノヲ買ヒマヌニハ一人デハタツタ一枚デナケレバナラヌト云フコトヲ設ケル、今マテハ何枚モ買フコトが出來タガ、此法案ハ成ルベク多クヲ買フト云フコトハ弊害ノ種デアルカラ、一人一枚ニ限ルト云フヤウニスルが宜イ、ソレカラ一票ノ金額ハ決シテ多クセズシテ例ヘバ三圓トカ五圓トカ云フヤウナ少額ノ金ニシテヤラシメルト云フコトニ致シタナラバ娛樂主義ニ適ウア參リマシテ、所謂博徒ガ之ニ加ハルヤウナコトハ絶無トモ言ヘナイケレドモ、少ナクナルテアラウ、ソレ故ニ弊害ハ全ク無イトハ勿論言ヘナイケレドモ、弊害ハ此遣方ニ依テ少ナクスルコトハ出來ルノデアリマス、然ラバ今日最モ必要ナル馬匹改良ノ方法手段デアルトコロノ競馬ト云フモノヲヤラシテ、聊差支ガ無イノデアリマス、僅カナルトコロノ弊害ハ仕方ナイカラ犠牲ニ供シテ今日最モ必要デアルトコロノ競馬ヲ行ハシメテ、速ニ馬匹改良ノ目的ヲ達セシムル方が宜カラウト云フコトヲ委員會ニ於テハ修正案ノ如クニシタノデアリマス、尙委員會ニ於テハ外國ノ事例ヲ十分取調致シテ居リマス、外國ノ事例ヲ取調ベテ見ルト競馬ノ盛ンナノガ佛蘭西デ、佛蘭西ノ有様ヲ見ルト馬票ハ法律が許シテ賣買シテ居ル、殊ニ佛蘭西デ甚シイノハ競馬ノ場所が四百四十アル、ソレカラ競馬ノ回數ガ九百何十ト云フノ一日平均三回ニ當テ居ルノデアル、ソレカラ獨逸ノ有様ヲ見ルト、ヤハリ法律が馬票ノ賣買ヲ許シテ居ル、英吉利ノ有様ヲ見ルト、法律ヲ特ニ許シテハアリマセヌケレドモ、放任シテ差支ナイコトニナツテ居リマス、而シテ此三國ナルモノハ非常ニ競馬が盛ンデアッテ、馬匹が改良サレテ居ルノデアル、其他豪洲或ハ亞米利加、露西亞、伊太利其地ノ諸外國ニ於テノ例ニ於テモヤハリ馬票ヲ發賣シテ、サウシテ競馬が盛ニ行ハレテ居ツテ、ソレガタメニ馬匹ナルモノガ非常ニ立派ナモノニ今日ナツテ居ルノデアル、外國ノ例ガ斯ノ如クデアッテ日本ノ有様ヲソレニ較ベマスト實ニ九牛一毛ト云フヤウナ有様デアリマスカス、此例ニ依テ較ヘテ見タナラバ左程憂フルニ足ルコトハナイノデアラウト思フ、ヒドク競馬ナルモノ氣ニスルトコロノ人が外國ニ行ツテ此競馬ノ有様ヲ見マシタナラバ、恐ク目ヲシテシマフヤウナコトニナリハセヌカト思フノデアリマス、斯ノ如ク外國ノ事例ニ於テ既ニト許シテ居ツテ競馬ニ依ツテ馬匹改良ノ目的ガ達セラレテ居ルノデアルカラ、日本ニ於テ前申上ゲマシタ制限竝ニ取締ト云フヤウナ方法ヲ設ケテ、馬票ノ發賣ヲ許シテ競馬ヲナサシメルト云フコトハ決シテ差支ガナイノデアル、凡ソ物ノ改良ヲ圖ルニ付テハ大ドシノート許シテ居ツテ競馬ニ依ツテ馬匹改良ノ目的ガ達セラレテ居ルノデアルカラ、日本ニ於テモノハ大袈裟ニ行ハレルモノハナイ、ソレデアルカラ今日ノ場合ニ於キマシテハ左程心配セズニ之ヲ決行スルト云フコトニスルノガ、最モ適當ナル方法アルト云フコト

ニ委員會ハ決シタノデアリマス、是ハ贊成諸君ノ意見デアシテ、之ニ反對シマスルトコロノ反對ノ理由ハ今マテモ度々申上ゲマシタ通り、所謂風紀問題、風紀ヲ害スルト云フ意見ト、外國トハ國情が違フト云フコトニ在ルノデアリマス、ソレダケアルノデアリマスルガ、昨今申上ゲマシタ通り委員會ハ、此贊成論者ノ意見が相當ナリトシテシラ委員會ノ意見ト決シタノデアリマスルカラ、左様ニ御承知ヲ仰ギマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 政府委員

(政府委員吉村八十三君登壇)

○政府委員(吉村八十三君) 競馬法案ニ對シマシテハ義ニ反對ノ旨ヲ明カニシテ置キマシタガ、尙唯今委員長ノ報告ノ修正案ニ付テモ政府ハ同意ハ出來ナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 政府委員

(富島暢夫君登壇)

(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ致シマス
○富島暢夫君 本案ハ贊成側ノ諸君ニ於キマシテ非常ニ熱心ナル寧口苦心慘憺タルトコロノ考慮ヲ費シテ研究ヲセラレタコロノ案デゴザイマスルナレドモ、私共ハ風教上ヨリ致シマシテ風教ヲ破壞スル眞ノアルト云フ點ヨリ致シマシテ、藏原君ノ所謂人道ノ上ヨリ致シマシテ第一ニ見遁スコトが出來ナイト考ヘルノデアリマス(「要領ヲ話セ」ト呼フ者アリ)第二ハ此案ノ案自體が杜撰デアルノミナラズ、實行政シマシタコロデ其效績ヲ舉ゲルヤ否ヤノ點ニ於キマシテモ反對ヲセナケレバナラヌノ、而モ絶對ニ反對ヲ致サウト考ヘルノデアリマス、過日來本議場ニ於キマシテ愚案論トカ、或ハ罪惡案ノ議論が大部分盛ンナヤウテゴザイマシタ、私ハ本案ヲ以テ決シテ愚案トハ申サナイ、寧口或ル意味ヲ達スル點ニ於キマシテハ是ヨリ賢イトコロノ案ハナイ、(「何シダ或ル意味トハ」ト呼フ者アリ)

是ハ日本一ノ賢案デアルト云フ譜辭ヲ星サウト思フノデアル、併ナガラ若シ罪惡案ナルモノガアリト致シマスルナラバ、本案ヨリヨリ以上罪惡ナルトコロノ案ハ無イト考ヘルノデアリマス、諸公許スルノデゴザイマスル、刑法ヲ破壞スルノデアル、(拍手スル者アリ)詰リ犯罪ヲ製造スルトコロノ案デアル、罪惡案ト云フノカ間違ツテ居ル皆ハナイト考ヘルノデアリマス、諸君、刑法ハ何故ニ賭博ヲ罰スルノデアリマスルカ、私が申スマデモゴザイマセス、賭博ナルモノハ射悻心ヲ挑發シ、及僥倖心ヲ增長セシムルノデアリマス、其結果ト云フモノハ遊惰トナリ、驕奢トナリ、身ヲ傷リ、產ヲ破り浮浪ノ徒ヲ造ルト云フコトニナルノデアリマス、諸君、刑法ハ何故ニ賭博ヲ罰スルノデアリマス、私ハ長ク得言ハナイ質ゴザイマセス、ユル罪惡ノ根源ヲ造ルガ故ニ、刑法ハ嚴シシテノフ罰スルノデアリマス、是ニ於テカ委員ノ或膽ナルヲ要スルノデアッテ、小サナ膽玉ヲ以テ常ニ考ヘテバカリ居ツタナラバ、決シテ改良ナド、云フモノハ大袈裟ニ行ハレルモノハナイ、ソレデアルカラ今日ノ場合ニ於キマシテハ左程心配セズニ之ヲ決行スルト云フコトニスルノガ、最モ適當ナル方法アルト云フコト

ノハ博戯トシ、此中ニハ鑑識ヲ要サウガ要スマイガ皆入ルト云フコトニナシテ居ル、テ委員會會ノ諸君モ政府ノ教ニ從ツテ賭博デアルト云フコトハ屈服セラレタノデアリマス、其結果ト致シマシテ除外例ヲ設ケルト云フ意味ヲ以テ此修正案が出來タノデアル、諸君、或リ行爲ヲ刑法ガ罪トシテ罰シナガラ、之ヲ又法律ヲ以テ見遁スト云フコトハ非常ナコトデアラウト考ヘルノデアリマス、容易ナラヌ是ハ事柄アルノデアリマス、既ニ非常ノコトデアリマスノラバ例外ヲ設クリト云フコトハ非常ノ理由、非常ノ事情が存センケレバナラヌト考スルナラバ、事柄ハ違ヒマスルケレドモ、彼ノ阿片ヲ喫ムヤウニ、阿片ヲ禁ジマシタナラバ、ヘルノデアリマス、強テ一例ヲ求メマスレバ臺灣ノ富籤ノ如キ是ハデス、臺灣ニ於テ因襲ノ久シキ歴史ガアリマシテ、臺灣ニ特殊ノ事情が存スルカラシテ此富籤ヲ例外トシテ許シタノデアル、事柄ハ違ヒマスルケレドモ、彼ノ阿片ヲ喫ムヤウニ、阿片ヲ禁ジマシタナラバ、禁ジラレタヤツハ生氣ナク、活氣ナク、死人モ同様トナルノデアル、斯ニ云フ場合ニハ或ル制限ノ下ニ例外ヲ設ケテモデス、決シテ差支ノナイ場合ガアルノデアル〔勸業債券ハドウダト呼フ者アリ〕勸業債券ノコトハ後カラ申シマス、追々申シマス〔簡単ニ追々願ヒマス〕ト呼フ者アリ〕畏リマシタ——而モデス、富籤ヲ臺灣ニ許シタ理由ハ元來支那人トカ臺灣人トカ云フモノハ氣風ガ鷹揚テアシテ、ナカニヨセツカナ、金錢ニ對スル觀念ト云フモノハ内地人——日本人トハ達ノノデアル、デ金ヲ儲ケテモデス、俄ニ之ヲ散ズルト云フヤウナコトハナカニシナイ、其點ニ付テハ實ニ悠々閑々タル、モノデアル、デアリマスカラ博奕テ取ツカラト云ウテ喜ンテ直グ之ヲ捨テルト云フコトハシナ、又負ケタカラト云ウテボンヤリ平氣テ居ルヤウナ氣風ガアル、然ラバ是ニ許シタマテ格別差支ハナイ事情モ事情デアリマスカラ、害ヲ認メヌノアリマスト本員ハ考ヘルノデアル、然ルニ日本人ハドウデアリマスカ、吾ミ同胞ハ一種ノ大和魂ト云フモノヲ吹込マシテ育テラレテ居ルノデアリマス〔「ソシナコトハ言ハヌデモ宜イ」ト呼フ者アリ〕之ヲ言ハヌチヤ分ラヌ——此大和魂ト云フモノガ轉化致シマシテ、追々俗化致シマシテ、是ハ氣早デアル、性急デアルトコロノ氣ヲ一方デハ養ヒ、一方デハ瘦我慢、負惜ミ、剛情ト云フ氣風ヲ生ジテ居ルノデアリマス、武士ハ食ハネド高楊子、彼ノ江戸子、所謂演説、憲政本黨ノ大義君ノ演説、正々堂々タルモノノアッタ、併ナガラ諸君ハ内心是ニ宵越ノ金ハ使ハス、斯ウ云フ風ナ氣風ヲ俗化シテ熏致シテ來テ居ルノデアリマス、是が大變此賭博ヲ許スト云フ點ニ於テ非常ナ危険ガアルノデゴザイマス、此負惜ミナル氣風ハ私ハ當議場ニ於テモ拜見スルコトが出來ルト思フ、過日ニ三稅廢止案ニ對スル島田君ノ演説、憲政本黨ノ大義君ノ演説、正々堂々タルモノノアッタ、併ナガラ諸君ハ内心是ニ敬服シナガラ（ノウカ）怡モ聽カザル眞似ヲ爲シ若クハ妨害ヲ加ヘントシタノデアル（ノウカ）何ヲ間違シタコト云フンダト呼フ者アリ〕是が即チ負惜ミノ證據アル、之ニ反シテ福井君ノ馬券案ノ（馬鹿ト呼フ者アリ）聽カナイヤツガ馬鹿タ、馬券案ノ福井君ノ演説ハ免ニ角ニモ御饒舌が上手デアル、上手デアル點ニ於テ何モ判断ノ必要ハナク拍手喝采ゼンヤ（ト言シタデヤアリマセヌカ、是が、即チ氣早ナル證據——諸君ニシテ既ニ斯様ナル氣早ナル、負惜ミナル、氣風ガアル以上ハ、諸君ノ——諸君ニ從フコロノ末輩が馬券ノ如キ實ニ面白イトコロノ博奕ノ渦中ニ——譯ナク是ニ可決スルト云フコトハ是ハ當然ノ理數デアリマス、是デ許スコトが出來ナインノアル、日本人ハ決シテ之ヲ許スコトハ出來ナイ、併ナガラ此氣早ナル、負惜ミナル、氣風ト云フモノハ此吾ミ同胞ノ非常ナル長所デアリマス、而モ短所デアルノデアリマス、此氣風ガアルカラシテ此憐レナル士卒ハ日露戰爭ニ於テ勝ツタノデアリマス、馬が勝ツタノデヤナ（負惜ミカ勝ツタノカ）ト呼フ

者アリ）負惜ミガ勝ツタノデアル、氣早ナル性急ナル——命ヲ籍メテ行ク氣早ナル負ミノ氣象が勝ツタノデアル、其通リデアル、然ルニテス短所ヲ益々短所ニ導クトコロノ法案ニ對シテ長所マテモ沒却スルト云フヤウナ必要ガドニアルノデアリマス、私ハ本案ニ付キマシテハ大變歎クノデアリマス、翻ツテ外國ノ例ヲ案シテ、見マスレバ唯今宮古君ノ御報告ノ如ク佛蘭西、獨逸外一國ハ馬券ヲ公許シテ居ル、英國ハ默許シテ居ルト云フコトデアリマス、然ルニ其他ノ國ノ有様ハ不明デアルノデアリマス、少ナクトモ委員會ニ於テハ不明ニ終ツタノデアリマス、而モ是等ノ列國ガ馬券ヲ許シテ其結果如何ニ多數ノ馬ヲ得據、我國ノ紳士ハドウデアリマスカ、尾籠ナル例ヲ引クヤウテアリマスガ、大道ニ小便ヲ垂レテ巡査ヲ苛メテ居ルチヤアリマセヌカ（君ノ如シト呼フ者アリ）御互ニサウ云フ氣風ガアルカラ日本ニハ許サレヌノデアリマス、公園ノ規則ヲ犯シテ、花ヲ折シテ風流ヲ氣取ルチヤアリマセヌカ、サウ云フコトハ外國ニハ決シテナイト開イテ居ル、即チ道義觀念——日本人ハ自身ヲ信ズル自信力、自身ヲ制裁スル制裁力ガ乏シイノデアリマス、ソレ故ニ斯ウ云フ氣風ナ日本ニ持ツテ行ツテ馬券ノヤウナ旨トイコロノ賭博ヲ許スコトハ決シテ出來ヌノアル、東君ハ本議場ニ於キマシテ馬ノ講釋トイロノ、セラレタ、日本ノ馬ハ四尺八寸以下テ、歐羅巴——外國ノ馬ハ五尺二寸以上アル、何デモ斯テモ外國ノ如クセネバナラヌト云ウテ非常ニ講釋ヲセラレタノデアリマス、併ナガラデス、是ハ日本ノ馬ノ脊丈ヲ見テ日本人脊丈ヲ忘レタ議論デアルト考ヘルノデアリマス、日本人ヲ外國ノ例ヲ以テ律スルコトハ出来ヌノデアリマス、日本人ヲ外國ノ例ヲ以テ律スルコトハ出來ヌト云フコトハ此一事デモ明カデアルト信ズルノデアリマス、要スルニ臺灣ニ富籤ヲ許シタノハ臺灣ノ人民ノ知識ノ程度が低イカラ許シテモ差支ナシ、ソレカラ外國テ馬券ナドヲ許ス、馬券ノミナラズ賭博ヲ默許スルト云フハ外國ノ知識ノ程度が高イト云フ處ニ於テ許スノアル、而モ日本人ハ知識ハ有リ餘ルノデアリマス、而モ大和魂ノ轉化シタコロノ結果、氣早ナル性急ナルトコロノ——自信力ガ乏シイカラシテ知識ハアッテモ許ス程度ニ至ラヌノデアルト信ズルノデアリマス、次ニ私ハ此法律ノ實行ノ結果ヲ見マスルニ決シテ成績ヲ舉ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス、本案ノ提出ノ理由ハ馬券ニ依ツテ競馬ヲ獎勵シ是マデノ馬券ノ弊害ヲ除去スルト云フコトニナシテ居ルノデアリマスケレドモ、法律ハ馬券ノ種類ヲ如何ニスルカ、馬券ノ發賣數ハドウ云フ風ニスルカ、購買數ハドウ云フ風ニ制限スルカト云フコトハ法律面テハ規定ガシテナカレバ、如何ニシテ弊害ヲ防グカト云ヘバ、贊成論者殊ニ提出者ハソレハ政府ハ此案ニ付テハ反對ノ意見ヲ發表シテ居ルケレドモ、其反對ノ意見ヲ表シテ居ルトコロノ政府ノ自由意思ニ任セテ然ルベキ案ニヤツテ貫ヒタイト云フノデアリマス、矛盾モ甚シイ反對ノ政府ニワシナコトヲ任セテ、何ガ效果ガ舉リマセウ、實ニ矛盾ナリ杜撰ナリト言ハナケレバナラヌノデアリマス、之ヲ例ヘバ反對ノ政府ハ任シテ假リニ政府ハ馬車子購入數ヲ一人一票ニ限ツタ見マスルト其場合ニハ目的ノ金ヲ集メルコトハ出來ナインアル、效果ノ舉リヤウハナイ、然ラバ政府が今度

大賛成ノ政府が上ツタ場合ハドウデアリマスカ、之ヲ濫發シタキハドウデアリマスカ、法律ニ於テ制限ガナノアルカラシテ諸君ハ必ズ悔ユルコトが出來ルノアル、ソコテ案自體ノ弊害ヲ除去スルト云フコトハ此法律自體ニ於テハ何等據處ガナノアリマス、斯様ナ矛盾ナル杜撰ナル案デ目的ヲ達スルコトハ決シテ出來ナイノアル、尙又最後ニ本案が通過シタトコロノ結果ヲ考ヘテ見マスレバ、舊來ノ會社ノ例ヲ以テ見マスルト云フト、此所ニ馬券ノ賣上ヶ高ガ百万圓アツト致シマスル、其百万圓ノ賣上高ニ九割、九十萬圓ト云フモノハ博徒ガ分ケテ取ルノアリマス、即チ是が九十万圓、賣ニ百万圓ノ中ニ九十万圓ト云フモノガ犯罪製造費ニナルノアリマス、サウシテ殘リノ一割、十万圓アリマス、十万圓ノ中ニ七万圓ト云フモノガ會社ノアブク收入ニナルノアル、而シテ其殘リニ三万圓若クハ三万圓以下ニアリマス、百万圓ノ内ニ百分ニ三ト云フモノガ漸ク馬ノ賞金トカ獎勵トカ補助トカ云フモノニナルノアリマス、實ニ斯ウ考ヘテ見マスレバ百万圓ノ案ヲ出シテ其結果ト云フモノハ二万圓以下ニ終ルノアリマス、實ニ此案ト云フモノハ其趣意が宣イト致シマシテモ實ニ「ノンセンス」無意味ノモノアル、唯是ハ言譯的ニ過ギヌノアリマス、美名ノ下ニ或ルアブク會社が保護ヲ受ケルコトノ結果ニナルノダラウト思フノアル、競馬ハ決シテ馬券ノ御蔭ヲ蒙ラクテモ補助金獎勵金ノ案ヲ出サレテ然ルベキテアル、委員諸君ハ特別委員會ニ於テ非常ニ此補助金ノコトヲ歎カレタノアル、而モ拒絶ニ遇ウテ今更斯様ナル「ノンセンス」ヲ案ヲ出サレルト云フノハ實ニ異法アル、未練アルト考ヘルニアリマス、以上ノ理由ニアリマスカラシテ速ニ此案ハ廢案ニナランコトヲ希望致シマス（拍手起ル）

○議長（長谷場純孝君）

關直彦君

〔關直彦君登壇〕

○關直彦君 唯今又新會ヲ代表サレルトコロノ富島暢夫君ヨリシテ御名論ヲ長ミト拜聽致シマシテ敬服ヲ致シタノアリマスガ、一言私ガ趣旨ヲ辯明致シマスル前ニ富島君ノ所論ニ向テ辯解スルノ必要ガアルト存マスル、富島君ノ言ハレマスルノハ、詰リ本案ハ賭事ノ獎勵ナルト云フコトヲ言ハレタ、ソレハ大ナル誤解アルト信シマス、成程刑法ノ除外例ハ設ケマシタケレドモ、時ト場合ニ依リマシテハ刑法ノ除外例モ設ケナケレバナラヌコトガアルノアル、ソレハ其當時ノ時代ノ要求ト云フモノニ關係シマシテハ其時代ノ要求ガ非常ナル必要ノアル場合ニ於キマシテハ多少ノ取除ヲセシナラヌト云フコトガアルノアリマス、現ニ勸業債券ノ如キモノモ純然タル刑法ノ所謂富籤アリマス、類似デハナイ富籤アリマス、又保険契約ノ如キモノモ是モヤハリ委運契約ノ一ツデ賭事アリマス、博戲アリマス、ソレカラ取引所ノ直ノ賣買ノ如キモノモヤハリ是モ賭博類似ノ行爲ニアリマスケレドモ、其當時ノ時代ノ要求ニ於テ或ハ經濟上ノ點カラ致シマシテ、ドウシテモ多少ノ取除ヲ設ケナレバナラヌト云フ場合ニハ刑法ノ取除ヲ致シテ、少シモ差異シテ弊害ノミニシテ少シモ效能ノナイト云フモノアリマスルナラバ、謹シテ富島君ノ御講義ハ拜聽致シマスルガ、今日我國ノ時代ノ要求ニ於テハ多少ノ弊害モ打忍シテ除外例ヲ設ケナレバナラヌト云フ目下ノ急務ノ時代ニアリマスカラシテ、其取除法ヲ設ケ

ルト云フ所以ナルノアリマス、ソレテ私ハ敢テ議論ヲ好ミマセカラ此問題が世間カラシテ多少ノ非難ヲ受ケ、攻撃ヲ受ケテ居ル、故ニ此問題ノ解決ガ付カスト云フコトハ、甚ダ遺憾ト存シテ居リマス、ソレハ大ナル世ノ中ノ誤解ヲ受ケテ居リマスカラシテ、私ハ此席ニ於キマシテ唯其誤解ヲ辯ズルト云フコトハ私ハ最早此所ニ牒々ハ致シマセヌ、ソレテ何故ニ競馬ト云フモノガ馬匹改良ニハ必要アルカ此コトヲ「一ヶ辯解ヲ致シテ置キタイト存ジマス、ソレデ此競馬ト云フコトハ詰リ社會ノ多クノ人ヲシテ馬事思想ニ狃マシメ、馬ヲ愛ス諸君モ既ニ御認メニナリマシタルコトアリマスルシ、又政府ニ於テモ既ニ認メラレタコトアリマスカラ、此急務ト云フコトハ私ハ最早此所ニ牒々ハ致シマセヌ、ソレテ何故ニ競馬ト云フモノガ馬匹改良ニハ必要アルカ此コトヲ「一ヶ辯解ヲ致シテ置キタイト存ジマス、ソレデ此競馬ト云フコトハ詰リ社會ノ多クノ人ヲシテ馬事思想ニ狃マシメ、馬ヲ愛スルノ心ヲ生ゼシメ、而シテ馬ノ需用ヲ多クセシムルト云フコトガ一ノ目的ナル、政府ニ於キマシテハ馬政局ヲ置イテ、十八年計畫ト云フモノヲ立マシテ——既ニ諸君が御協賛ニナリマシタル十八年計畫ト云フモノヲ立マシテ、年々多額ノ資金ヲ投シテ多クノ種馬ヲ買入レ、各地ニ種馬所ヲ設ケサウシテ其馬匹ノ改良ニ銳意熱心ヲ致サレテ居リマスルが、其改良サレタル馬ノ需用ト云フモノガ社會ニアリマセナカツタトキニハ如何ニ獎勵ヲ致シマシテモ十八年計畫ト云フモノハ、マルデ其效用ヲ爲サスト云フ結果ニ終ルノアリマス、ナゼ左様ニ申シマスルカト云フノニ此閣令ニ於キマシテ競馬會ニ於キマシテ競馬會ニ開催毎ニ新馬即チ明ケ四歳ノ新シイ馬ヲ競馬ニ使用シナケレバナラヌト云フ閣令ガアルノアリマス、其閣令ノ結果ト致シマシテ、例ヘハ十五ノ競馬會がアリマスレバ、春秋二期ニ一十頭若クハ三十頭宛ノ新馬ヲ買入レマシテ之ヲ會員ニ頒チ會員ガウヲ競馬ニ出ス、之ヲ競馬ニ出シマシタ其アトハドウスルカト云ヒマスルト、ソレハ或ハ陸軍將校ノ乗馬或ハ軍馬ニ使用スルコトニナルノアリマス、ソコテ年々ニ各競馬會が新馬ヲ北海道若クハ東北地方及鹿兒島、宮崎等ノ產馬地カラシテ之ヲ買入レマスル數が凡ソ五百頭若クハ七百頭ニナルノアリマス、ソレテモウ一ツニハ外國ノ新馬ヲ入レルコトニナッテ居リマス、外國ノ新馬モ年ニ三百頭若クハ四百頭入シテ參リマス、ソレテ一方ニ於テハ外國ノ新馬ヲ入レ、一度之ヲ競馬ニ使ヒマシタ曉ニハ之ヲ種馬トシテ各產馬地ニ配付スルコトニナッテ居リマス、又各產馬地ニ於キマシテ產レタトコロノ七八百頭ノ馬ト云フモノヲ之ヲ競馬會ニ於テ買收シテ會員ニ頒ツ、是ハ其競馬ノ終ラ後ハ陸軍ノ士官ノ乘馬若クハ軍馬トナッテ集散スルノアリマス、ソレデ毎年此新陳代謝ト云フコトガ一年間ノ進歩競馬が起リマシテ此方三年ノ進歩殆ド對比スルヤウナ勢ニ相成シテ居リマス、即チ之ガ競馬ノ效能ノ唯一ノ目的アルノアリマス、ソレテ政府が十八年計画ヲ致シマシタ其一ノ要目ノ中ニハ一方ニ於テハ種馬ヲ買入レ種馬所ヲ設クルト云フコトニシテ置イテ、一方ニ於テハ競馬ヲ獎勵シテ、種馬所ニテ產レタモノヲ競馬ニ以テ使フト云フ、兩々相待テ車ノ兩輪ノ如ク兩々相待シテ、而シテ其效用ヲ全ウスルト云フ最初ノ計畫ヲアッタノアリマス、此競馬ニ依リマシテ實效ヲ奏シマシタル例ハ私が嘆々要シマセヌ、各外國ノ馬匹改良ヲ致シマシタル結果ヲ御覽ニナリマスレバ大半ハ競馬ニ依テ改良ヲシタ云ウモ私ハ過言ニアラズト信シテ居リマス、現ニ我國ニ於キマシテモ唯今申シマシタ通リ二年間獎勵ヲ致シマシタ結果ハ前二十年ノ獎勵ヨリモ尙遙ニ效能ヲ

現ハシタト云フコトハ實際ノ有様アリマスルカラ、產馬地ニ就テ御調査ニナリマスルト
私ノ申シマシタルコトハ蓋シ誤リテナイト云フコトヲ御認メナルデアラウト信ジマス、而シ
テ馬券禁止後ニ於キマスル狀況ハドウテアルカトニ云フテ見マスト、北海道竝ニ東北或ハ
九州ノ產馬地ハ一時ニ頓挫ヲ致シマシタル景況ハ非常ナ有様アリマス、殆ド從前馬
ノ價ガ一一従前致シマシタル價ノ十分ノ一二モ當ラヌ故ニ、各地ノ產馬家ハ資本ヲ投
シテ良馬ヲ飼育スルト云フコトガ絕對ニ頓挫ヲスルト云フヤウナ狀況ニ相成ツテ居リマ
ス、現ニ申スモ甚ダ憚リマスガ御料ノ牧場ニ於キマシテハ二里塚若クハ新冠ノ御料ノ牧
場ニ於キマシテハ經濟ヲ獨立ニ致シマシテ、其牧場ニ產出シタル良馬ヲ高キ價ヲ以テ之
ヲ賣却シ、其利益ヲ以テ廻馬匹ノ改良ヲ圖ルト云フコトニ銳意御熱心ニナシテ居リマ
ス、諸君モ亦御承知テアラウト信ジマス、斯様ナ次第テ資本ノ豐富ナル御料牧場ニ於
ルガ、昨年馬券禁止以來、競馬ノ狀態ノ衰頽以來、御料牧場ノ產馬ノ價格ガ殆ド
十分ノ一若クハ二十分ノ一二下落致シマシテ結果、畏レ多イコトアリマスケレドモ、
御料局ノ御料牧場ノ經濟が保テナイト云フコトハ、當局者ニ於テモ御承知テアリマス
シ、諸君モ亦御承知テアラウト信ジマス、斯様ナ次第テ資本ノ豐富ナル御料牧場ニ於
テスラ尙斯ノ如シ、良馬ヲ產出シテ高キ價ニ賣シントシテ勉強致シマスル各地ノ產馬家
ニ於キマシテハ遂ニハ破産ノ狀態ニ陥リマシテ、政府ガ一方ニ如何程十八年計畫ヲ絕
叫シ、如何ニ十八年計畫ヲ遂行セラレマシテモ、其效果ハ殆ド收マラナイト云フ狀態ニ
陷ルコトハ私ハ斷シテ間違ナイト信ジマス、ソレカラ私ハ進ンテ何故ニ實益アル競馬ト云
フモノガ馬票ニ依ラナケレバナラヌカト云フコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、皆サンガ一概ニ
競馬ト云フモノハ唯テモ出來ルヤウニ、唯テモ慰ミニ出来ルヤウニ思召スカハ知リマセヌケ
レドモ、實益アル競馬ヲ獎勵致シマシテ多クノ良馬ヲ出場セシム、唯今モ申シマシタル如
ク内外ノ新馬ヲ集散スルト云フヤウナ實益アル競馬ヲ行ヒマスニハ多額ノ金ガ掛ルノデア
リマス、即チ政府が當時指示シマシタル計畫ニ依リマスルト、一哩ノ馬場ヲ設備致シマ
シテ馬見所若クハ厩舎ヲ設備シテサウシテ盛ンナル競馬ト行ハシメルニハ、都會ニ於キマ
シテハ五十分ノ馬票ニ付キマシテハ十萬圓ノ金ガ一ツノ開催ニ掛ルノデアリマス、而シテ其他ノ開催
馬ニハ勝馬ニ與ヘマスル賞典ノミニ於テモ五万圓ハ掛ルノアリマス、而シテ其他ノ開催
費ソレカラ先刻申シマシタ新馬買入ニ對シマシテノ補助金ニ割ノ補助金ヲ會社ニ與ヘ
マスル、其補助金、ソレカラ馬場若クハ馬見場ノ賃貸料等ヲ拂ヒマスニハ少ナクトモ都
會ノ競馬ニ於キマシテハ十萬圓ノ金ガ一ツノ開催ニ掛ルノアリマス、斯様ナ譯アリマ
スカランシテ他ニ馬券若クハ之ニ類似ノ「ブックメーカー」ナリ「ガラ」ナリト云フ方法ヲ用井テ
如何ニ致シマシテモ得ラレナインアリマス、故ニ各國ニ於キマシテモ實益アル競馬ヲ行ヒ
マスルニハ多少馬票若クハ之ニ類似ノ「ブックメーカー」ナリ「ガラ」ナリト云フ方法ヲ用井テ
費ソレカラ先刻申シマシタ新馬買入ニ對シマシテノ補助金ニ割ノ補助金ヲ會社ニ與ヘ
マスル、其補助金、ソレカラ馬場若クハ馬見場ノ賃貸料等ヲ拂ヒマスニハ少ナクトモ都
會ノ競馬ニ於キマシテハ十萬圓ノ金ガ一ツノ開催ニ掛ルノアリマス、而シテ其他ノ開催
馬ニハ勝馬ニ與ヘマスル賞典ノミニ於テモ五万圓ハ掛ルノアリマス、而シテ其他ノ開催
費ソレカラ先刻申シマシタルコトハ此競馬ノ開催ラシ其結果ヲシテ馬匹ニ改
良ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラモウ一ツ御話申上ゲダイノハ補助費ヲ補助
スレバ競馬が出來ルデヤナイカト云フ御議論アリマスケレドモ、昨年ノ冬政府が十五万
ニハ或ハ三人若クハ五人ヨリシカ入場券ヲ買ツテ入ル者ガナカツタノアリマス、(「簡單」)

ト呼フ者アリ)最モ簡單ニ申シマスルガ、モウ少シサシテ貰ヒタイ(「餘リ長イト贊成ガ減ル
ヨ」)ト呼フ者アリ)ソレデナゼサウカト申シマスルト云フト、我邦ノ社會ハ未ダ馬ニ——馬事
思想ト云フモノニハ甚ダ乏シノイデアリマス、悲シイカナ乏シノイデアリマス、ソレデ何カ樂
ミ付ケマセスト云フト、決シテ入場スル者ハナイノアリマス、故ニ馬券ト云フモノハ
甚ダ好マシイモノデハナイケレドモ、多少ノ樂ヲ付ケテ社會ノ各種ノ人種ヲ之ニ誘致
シ、從ツテ馬ニ馴染マシメ、馬ノ需用ヲ多カラシムルト云フコトノ方法トシテハ、ドウシ
テモ此方法ヲ用井ルヨリ外ハナイ、補助金ハ幾フ澤山ヤリマシテモ其寶ハ實益アル
競馬ハ行ハレナイト云フコトニ御承知アリタインアリマス、ソコデ一言申シテ置キタイノ
ハ從來ノ(「簡單」)ト呼フ者アリ)モウ少し御聽ヲ願ヒタク、長クハ申シマセヌ、本案ノ提
出ノ趣旨ニ私ハ是カラ說入リタイト思ヒマスガ、從來ノ競馬ニ於キマシテ——馬券制度
ノ競馬ニ於キマシテハ大ナル弊害ガアルト云フ聲ハ世間カラ聞エマシタノアリマス、(「反
對ハアリマセヌ」)ト呼フ者アリ)而シテ其弊害ノアルコトハ私モ諸君ト共ニ之ヲ認メマシ
テ、其弊害ヲ矯正スルト云フコトノ點ニ付キマシテハ私モ諸君ノ後ニ讓ラヌ積メアリマス、
故ニ——故ニ此度提出サレマシタコロノ法案ニ依リマスルト云フト、從前ハ無制限デア
リマシタ、無制限ナルガ故ニ、賭博主義ニ流レタノアリマス、此案ニ於キマシテハ一人
一枚ニ限ルトカ、或ハ十圓ノ馬券ガ五圓ニ限ルトカ云フコトデ制限ヲ付ケマシテ、政府
シテ十分ナル取締ヲ爲サシマシタナラバ是マニアリマシタ弊害ハナクナルト私ハ信ズル
ノ競馬ニ於キマシテハ大ナル弊害ガアルト云フ聲ハ世間カラ聞エマシタノアリマス、(「反
對ハアリマセヌ」)ト呼フ者アリ)而シテ其弊害ノアルコトハ私モ諸君ト共ニ之ヲ認メマシ
テ、其弊害ヲ矯正スルト云フコトニ付キマ
シテ一言申シテ置キタイ、現ニ佛蘭西ニ於キマシテハ法律ヲ以テ之ヲ許シテアリマス、獨
逸ニ於キマシテモ然リ、英吉利ニ於キマシテモ明文ヲ以テハ許シテアリマセヌガ、不文法
ニ於テハ法律ヲ以テ之ヲ許シテアリマス、其他伊太利、西班牙、奥地利、何レノ國ニ
到リマシテモ實益アル競馬ト云フモノハ悉ク馬券若クハ「ブックメーカー」ノ方法デ許シ
テナイ處ハナイノアリマス、政府委員ノ言ハレマスルノニハ馬券ノナイ競馬モアルト言ハ
レマシタガ、ソレハアルノデ、ソレハ日本ニモ古來カラアッタノアリマス、併ナカラ左様ナ實
益ノナイ競馬ニ於テ馬匹ニ改良が出來ナカタト云フコトハ日本古來ニアリナガラ日本ノ
馬が改良が出來ナカタト云フコトヲ以テ證據立テラレルト私ハ信ジマス、私ハ此案ニ付
キマシテハ(「簡單」)ト呼フ者アリ)簡單ト云フ御聲モ聞エマスルカラ、最早多クハ論ジナ
イ積リテアリマスガ、一言終リニ臨ミマシテ私ハ政府ノ政策ノ矛盾ト云フコトヲ申上ゲテ
置カナケレバナラヌ、之ハ許スベカラザル私ハ信ジマス、私ハ此案ニ付
シテ三年以前ノ政府ニ於キマシテハ現ニ桂内閣アリマス、三年以前ノ政府ニ於キマシテハ
私が唯今申シマシタル如キコト、同ジコトヲ以テ國民ニ示サレタノアリマス、吾モ亦政
府ノ言フトコロニ傾聽ヲ致シマシテ政府ノ言フトコロニ贊成シタモノアリマス、所ガ突如
シテ三年以前ノ政府ニ於キマシテハ現ニ桂内閣アリマス、三年以前ノ政府ニ於キマシテハ
私ハシタノアリマシタバ、當議場ニ於テ満場一致ラ以テ私ハ政府ノ責任ヲ問
ハレタラウト思ヒマス、(「ヒヤー」)政府が前三國民ニ約束ラシ、國民ニ獎勵シタモノヲ
ノ發賣ヲ禁止シタト云フコトニ付キマシテハ、若シ此問題が不幸ニシテ世ノ中ニ誤解サレ
シテ省ルトコロハナイ、其結果トシテ我國ノ馬匹改良ニモ非常ニ大頓挫ラ來スヤウナ

信任ヲ問ハレルダラウト私ハ信ジマス(「ヒヤー」)惜ムラクハ又新會ノ諸君ハ常ニ我國民ノ權利ヲ尊ニシ國民ノ權利ヲ伸強スルト云フコトニ付アハ極力熱心ニ御盡力ニナリマスルガ、獨リ此問題ニ付テノミ何故ニ左様ニ狹量ニ反對サレルカ、何故ニ此政府ハ譲歐サレルノデアリマスカ、一方カラ憲法ニ許サレタル人民ノ個人ノ財産ヲ蹂躪シタル者ニ向テマテモ譲歌セラレルト云フコトハ、甚ダ私ハ其意ヲ得ナイノアリマス(拍手起ル)馬券ガ御謀ヒテアルナラバ、馬券ヲ御攻撃ナサルモ宜シイ、馬券ガ嫌ヒト云フガタメニ政府ガ不法ナル不當ナル非立憲マテシタコトヲ御賛成ナサルコトハ私ハ其意ヲ得ヌノアリマス(拍手起リ「ヒヤー」ト呼フ者アリ)私ハ此一言ヲ以テ本案ノ賛成ノ趣意ト致シマス

テ尙澤山材料ニ依テ御詔ヲ致シタノアリマスガ……

(恒松隆慶君) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス「ト呼ヒ「賛成々々」ノ聲起ル」

(恒松隆慶君) 恒松君何デアリマスカ

(議長(長谷谷場純孝君)) 恒松君何デアリマス

(恒松隆慶君) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(賛成々々ノ聲起ル)

(議長(長谷谷場純孝君)) 本問題ハマダ通告モアリマスカラ、議長ハ討論ヲ須井タイト思ヒマスケレドモ、既ニ討論終結ノ動議が出テ定規ノ賛成ガアル以上ハ之ニ付テ採決致シマス(「公平ナリ」ト呼フ者アリ)討論終結ノ動議ヲ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(議長(長谷谷場純孝君)) 大多數ト討論ハ終結致シマシタ、即チ本案ノ第二讀會ヲ開タヤ否ヤヲ決シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシト云フ方ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(起立者 多數) 起立者

(議長(長谷谷場純孝君)) 多數ト認メマス

(「異議アリ」ト呼フ者アリ)

(議長(長谷谷場純孝君)) 本案ハ多數ヲ以テ第一讀會ヲ開クベシト云フコトニ決シマ

シタ

(恒松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開カレント望ミマス)

(議長(長谷谷場純孝君)) 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(議長(長谷谷場純孝君)) 御異議ハナイト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス——松田源治君

競馬法案

第二讀會

(「賛成」ト呼フ者アリ、拍手起ル) ○宮古啓三郎君 先刻委員長トシテ報告シテ置キマシタガ、少シ補ツテ置キマス、今

松田君カラシテ第三條ノ第三項ヲ削除シタトイト云フ提案ガゴザイマシタガ、之ヲ削除シテハ本案ハ全部潰レテシマウノアリマス、本案ノ要ハ即チ之アルガタメデアリマス、之ガナケレバ馬票ノ發行ト云フコトハ到底出來ナイノアリマス、先刻モ申上ケマシタ通りシタノアリマス、馬票ヲ發行スルト云フ以上ハ政府ニ於テモ之ハ仕方がナイコトアリトカラ、此賭事ヲ爲スニ付ブハヤハリ刑法ト抵觸スルコトが出来ルノハ當然デアル、ソコデ刑法ニハ賭事ト博戯トアルガ、博戯ハ構ハズ措キマシテ、賭事ノ方ダケ適用セヌコトニ致シタノアリマス、馬票ヲ發行スルト云フ以上ハ政府ニ於テモ之ハ仕方がナイコトアリト云フコトアリマス、ソレ故ニ之ヲ置イタノアリマスカラ、御採用アランコトヲ望ミマス

(議長(長谷谷場純孝君)) 阪本彌一郎君 (採決々々ノ聲起ル) ○議長(長谷谷場純孝君) 阪本彌一郎君ニ發言ヲ許シマシタス、(「反對」ト呼フ者アリ、拍手起ル) 本案ニ付キマシテ馬券ノ發賣ヲ許スコトハ絶対ニ廢メタイノアリマス、賛成者諸君ノ云ハレルトヨロニ依レバ、競馬ナルモノハ高尙ナル娛樂デアルト云フコトヲ云ハル、ノデアル、高尙ノ娛樂ニ賭事ノ嫌ヒアルトコロノ馬券ノ發行ヲ許スト云フコトハ佛ノ頭ヘ持ツテ行シテ賭ヲ塗ルト同ジコトデアル、(拍手起ル) 賭事が競馬ノ目的デナイト云フガ、既ニ競馬が真正ナル娛樂デアル、高尙ナル娛樂デアルト云フ、(笑聲起リ、以下聽取スルコト能ハス) ナラバ、賭博ヲニ伴ハセルノハ即チ真正ナル娛樂ヲ汚スモノデアルト云ハナケレバナラヌ、私ハ此馬券ノ發行ヲ許ス箇條ハ全部削除スルコトヲ希望致シマス

(「反對」賛成ノ聲交起ル)

(「反對」賛成ノ聲交起ル) ○福井三郎君 議長

(議長(長谷谷場純孝君)) 福井君ハ修正説デスカ

(議長(長谷谷場純孝君)) 福井三郎君 チヨット質問ガアリマス、修正説ノ提出者ニ質問シタノアリマス、松田君ニ御尋シマスガ、本案ノ末項ヲ削除シテシマッタナラバ此法案ガ法律ニナシタ場合ノ運用ニ差支ハナイト云フ御考ニアリマスカ

(松田源治君 御答フ致シマス、ソレハ事實問題デアリマシテ、吾ミハ素人デアリマスカラ知リマセヌケレドモ、馬券ナルモノガ賭事デアルヤ否ヤト云フコトハ裁判官が事實問題ニ依ツテ決定サレルノアリマスカラ、之ヲ削シタトコロテモ臺毛吾ミガ差支ヲ生ジナイカ否ヤト云フコトヲ講ズル必要ハナイノアリマス、此削除ニ付テハドウカ御賛成アランコトヲ希望致シマス

(「採決」ノ聲起ル) ○高柳覺太郎君 議長

(採決ノ聲起ル)

(本條ノ場合ニ於テハ刑法第二編第二十三章中賭事ニ關スル規定ハ之ヲ適用セス)ト云シテ、刑法ノ除外例ヲ爲シ居ルノアリマス(「賛成」ト呼フ者アリ)是ハ即チ刑法ノ立法主義カラ云ヒマシテモ、他ノ法律ノ立法主義カラ云ヒマシテモ、他ノ特別法ニ依ツテ犯罪ヲ壞ハシテシマウト云フトコロノ立法主義ハナノアザイマスカラシテ、此第三條ノ未項ハ刑法ノ制定ノ上カラ行キマシテモ、他ノ法律ノ立法主義カラ行キマシテモ、全然削除スルヲ相當ト認メルノアザイマス、ドウゾ御賛成アランコトヲ希望致シマス

ハ無論刑法上ノ賭博アルコトハ論ナリコトアル、所ガ之ニ付テ法律ヲ曲解スルトコロノ者ハ或ハ彼ノ臺灣ノ彩票若クハ取引所法ヲ引キ、或ハ勸業債券ノ例ヲ引イテ、斯ル除外例ガアルト云フコトヲ云ハレテ居リマスルガ、私ハ少シク理由ガ違テ居ルト思フノデアル、勸業債券モ亦取引所法モ、又之ト類似ノ其他ノ事柄ガ此法案ニ規定シテアルトコロノ馬券ハ全ク性質ヲ異ニシテ居ルモノデアル假リニ一言致シマスレバ勸業債券ノ割増上云フコトハ……（分ヲテ居ル）「採決タ々ト呼フ者アリ、發言スル者多シ）發言ノ權ガゾリマス

○議長（長谷場純孝君） 静ニ——靜ニ

〔登壇セヨク〕ト呼フ者アリ〕

○高柳覺太郎君 此方ハ偶然ノ輸贏アル、偶然ノ輸贏トハ何デアル、勝敗アル、此勸業債券ノ割増ガ何デ勝敗アル、勸業債券ニ付テ割増金が規定シテアルノハ之ハ貯蓄獎勵ノ一方方法デアル、又保險契約ノ如キモ經濟ニ意味ニ於テハ是亦貯蓄獎勵ノ趣意アル、保險契約モ、勸業債券モ、取引所法モ、決シテ刑法上ノ賭事ナハナイノアル、然ルニ——然ルニ此法案ニ於テ特ニ賭博ノ公許ヲスルト云フコトハ私ハ實ニ一大事件デアルト思フ、今日我國ノ法律ハ澤山アルガ、斯ル刑法上ノ除外例ヲ設ケタトコロノモノハナイノデアル、私ハ絶對的ニツモナイト云フコト断言スルノデアル、或ハ斯ル公娼ノ設置之ハ除外デアル、併ナガラ密賣淫ニシテモ、或ハ裸體ノ禁止ト云フモノ、總テ之ハ警察治安ノコトデアル、一般刑法上ノ犯罪デナ、故ニ刑法上ノ犯罪デナウ云フコトヲ言フカモ知レナイ、例ヘ裸體ニ對スルトコロノ相撲取、若クハ密賣淫ニ對スル公娼ノ設置之ハ除外デアル、併ナガラ密賣淫ニシテモ、或ハ裸體ノ禁止ト云フモノ、總テ之ハ警察治安ノコトデアル、一般刑法上ノ犯罪デナ、故ニ刑法上ノ犯罪デナウ云フコトヲ言フカモ知レナイ、例ヘ裸體ニ對スルトコロノ相撲取、若クハ密賣淫ニ對スル公娼ノ設置之ハ除外デアル、併ナガラ密賣淫ニシテモ、或ハ裸體ノ禁止ト云フモノ、總テ之ハ警察治安ノコトデアル、一般刑法上ノ犯罪デナ、故ニ刑法上ノ犯罪デナウ云フコトヲ言フカモ知レナイ、例ヘ裸體ニ對スルトコロノ相撲取、若クハ密賣淫ニ對スル公娼ノ設置之ハ除外デアル、併ナガラ密賣淫ニシテモ、或ハ裸體ノ禁止ト云フモノ、總テ之ハ警察治安ノコトデアル、一般刑法上ノ犯罪デナ、故ニ刑法上ノ犯罪デナウ云フコトヲ言フカモ知レナイ、例ヘ裸體ニ對スルトコロノ相撲取、若クハ密賣淫ニ對スル公娼ノ設置之ハ除外デアル、併ナガラ密賣淫ニシテモ、或ハ裸體ノ禁止ト云フモノ、總テ之ハ警察治安ノコトデアル、一般刑法上ノ犯罪デナ、故ニ刑法上ノ犯罪デナ

此事實ヲ否認スルコトハ出來ナイノデアリマス、〔ヒヤク〕唯論者ハ此馬券ノ弊害ト云フモノヲ小ナリト云ハル、竊ニ想ニ諸君が御自身ヲ以テ馬券ノ弊害ト云フモノニ見解ヲ下サル、ノデアルマイカ、苟モ諸君ハ堂々タル我帝國ノ代表者デアル、又我國民ノ選真デアル、其學識ニ於テモ、其人格ニ於テモ、其思慮分別ニ於テモ、所謂我日本ノ一粒選リノ人々アリマス、是故ニ諸君が馬券ヲ御買ヒニナタコロデ其タメニ弊害ハナインテアル、諸君ハ思慮分別ガアリ、又學識ガアリ、馬ノ優劣ヲ判別スルコロノ知識ガアリ、研究ガ出來ルカラシテ、所謂百發百中、五百圓デ買タ馬券が五百圓ニモ千圓ニモナルノデアリマス、之ヲ以テ見レバ馬券ナルモノハ諸君ニ對シテハ其喜ブベキヲ知リテ其悲シムベキヲ知ラナイノデアル

〔松田君ニ賛成デハナイデスカ、話が脇道ニ入ッテ居ルトハナイカ〕、「謹聽」ト呼フ者アリ〕

○立川雲平君 議事規則ニ付テ一言ヲ致シマス、私ハ高山君ノ（無用タキ）ト呼フ者アリ、議場騒然先例ガアリマス、議事規則ニ付テ一言スル、高山君ノ御演説ハ二讀會デナサレテハ如何デアリマスカ、二讀會ニ機會ガアルノデアリマス、唯今松田君ノハ末項ヲ削除スルト云フノデアリマスカラ、全體ニ對スル反對ノ議論ヲ述ベルトキデハアリマヌ、折角ノ演説が機會ヲ失ウタ演説ニナッテハ私ハ高山君ノタメニ取リマセヌ、故ニ二讀會ノトキニ御演説ニナッテ然ルベキモノアリマス

○議長（長谷場純孝君） 第二讀會ニ修正説ニ對スル意見ヲ述ベルノデアリマスカラ、此場合差支ナシトイ思ヒマス

〔何ヲ云フ〕ト呼フ者アリ、議場騒然

○立川雲平君 矛盾シテ居ル、松田君ノ修正説ハ矛盾デス
〔高山君、大ニヤレ〕
〔高山君、大ニヤレ〕「差支ナシ、謹聽タキト呼フ者アリ、議場騒然」

○高山長幸君 私ハ多數ノ御賛成ノアル此法案ニ反対スルハ甚ダ心苦シキモアリ、遺憾ト存ジマス、併ナガラ不幸ニシテ其見ル所ヲ異ニスル以上ハ、我意見ヲ述ベテ諸君ノ誠實ナル御判断ヲ請ハント欲スルモノデアリマス〔謹聽〕〔ヒヤク〕「修正説テスカ」「二讀會ダカラ全部ノ反対ハイケマセヌヨ」と呼フ者アリソレデ私ハ松田君ノ修正案ニ賛成致シマシタノハ、無論此馬券ノ弊害ト云フ事柄ガ其論據ニ外ナラヌノデアリマス、私ハ法律家ゴザイマセヌカフシテ、此馬券ナルモノガ賭博アルヤ否ヤト云フコトヲ論ズルノ資格ハナイノデアリマス、併ナガラ又茲デ之ヲ論ズルノ必要モナイノデアリマス、何トナレバ此弊害ノ結果ニ至ツテハ賭博ニアツテモノクテモ同ジアル〔ヒヤク〕論者ノ中ニハ勸業債券ヲ以テ此馬券ト同一ニ論ゼラレル方モアルヤウデアリマスガ、凡ソ賭博ノ罪ト云フモノハ手續ガ

簡單ニシテ結果ガ速テナクチヤナラナイ、即チ勸業債券ヲ買入レルニハ或ル手續ヲ要シマス、又其結果ヲ見ルノニハ或ル時日ヲ要スルノデアル、然ルニ此馬券ナルモノハ直子ニ買シテ、直子ニ其結果ガ分ルノデアリマス、之ト同一ニ論ズルト云フノハ極メテ迂闊ナル議論ト云ハナタレバナラヌ、〔ヒヤク〕馬券ノ弊害ト云フモノハ今日ニ於テハ最早議論デハナインデアリマス、昨年來馬券が流行シタ結果、弊害百出底止スル處ヲ知ラズ、終ニ政府ハ之ヲ禁止スルノ已ムヲ得ナイ至タノデアル、既ニ明々白々タル事實デアル、今日ハ既ニ議論デハナイノデアル、是故ニ如何ニ堅白異ノ辯ヲ以テスルモ、如何ニ鹿ヲ指シテ馬トナスノ術モアリ、如何ニ福井三郎君ノ圓轉滑脱、縱橫無盡ノ辯ヲ以テスルモ、此事實ヲ否認スルコトハ出來ナイノデアリマス、〔ヒヤク〕唯論者ハ此馬券ノ弊害ト云フモノヲ小ナリト云ハル、竊ニ想ニ諸君が御自身ヲ以テ馬券ノ弊害ト云フモノニ見解ヲ下サル、ノデアルマイカ、苟モ諸君ハ堂々タル我帝國ノ代表者デアル、又我國民ノ選真デアル、其學識ニ於テモ、其人格ニ於テモ、其思慮分別ニ於テモ、所謂我日本ノ一粒選リノ人々アリマス、是故ニ諸君が馬券ヲ御買ヒニナタコロデ其タメニ弊害ハナインテアル、諸君ハ思慮分別ガアリ、又學識ガアリ、馬ノ優劣ヲ判別スルコロノ知識ガアリ、研究ガ出來ルカラシテ、謂百發百中、五百圓デ買タ馬券が五百圓ニモ千圓ニモナルノデアリマス、之ヲ以テ見レバ馬券ナルモノハ諸君ニ對シテハ其喜ブベキヲ知リテ其悲シムベキヲ知ラナイノデアル

アル、其衆愚ノ集マル所ノモノニ向シテ此愁ルベキ禍ノ種子ヲ下ロスト云フコトハ、即チ法律ヲ以テ此禍ノ種子ヲ下ロスト云フコトハ、吾々代議士ノ立場トシテ極メテ不倫、不徳、

不親切ナコトデハアリマセヌカ(「ヒヤー」、「其通り」ト呼フ者アリ)福井君ハ新聞ノ記事ヲ以テ極メテ大袈裟ナル、極メテ仰山ナ、記事セラレタデスガ、新聞ノ記事ハ如何ニ其新聞が探訪が嚴密ニアシモ、ソレ程精密ナル世間ノ出来事ヲ悉ク舉ゲルヤウナコトハ出来ナイノデアリマス、新聞ニ登ツテ居ルトコロノ事實ハ所謂九牛ノ一毛ニ過ギナインデアリ

マス、競馬會テアリマスカラ九馬ノ一毛ト云ツカ方ガ宜イカモ知レヌ(「洒落ヲ云フナ」ト呼フ者アリ)ソレデ私ノ考ヘマス——モウ簡單ニ致シマセウ、是ハ單ニ風紀風教ノ問題デハナイノデアリマス、詰リ此馬券ヲ買ツタ結果ト云フモノハ丁度水中ニ石ヲ投ズルト同シテ、其買ツタソレ自身ニ濟メバ宜シイガ其結果ハ四方八方ニ及ブノデゴザイマス、一人ノ不心得

ノタメニ——一人ノ不心得ノ者ノタメニ其一家ハ離散スル、或ハ商業資本ヲ無クスル、其結果トシテ其親族、朋友、此社會ト云フ廣イ所ニ及ブノデゴザイマス、故ニ之ヲ單ニ風紀、風教ノ問題ト言ハナイ、一面ニ於テ經濟ノ問題アル、一面ニ於テハ社會ノ問題

デアリマスカラ、私ハ此馬券ト云フモノニ對シテハ絶對ノ反対ヲ致シマス

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス
 〔拍手起ル〕採決タ々ト呼フ者アリ
 ○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス
 〔拍手起ル〕採決タ々ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 是ハ議長が前ニ確メテ置キマシタ、即チ高山君ハ松田君ノ修正說ニ付テ賛成ノ意見ヲ述ベルト言ハレタカラ、發言ヲ許シタノデアリマス

○立川雲平君 質問ガアリマス、唯今高山君ハ此案ニ絶對ニ反対デアルト云フノ御結論デアリマスガ、松田君ノ修正說ニ御賛成ノ積リテ御演説ガアシタ思ヒマス(議場騒然)、此處が違フ、議事規則ハ御互ニ遵奉シナケレバナラヌ、御互ニ議事規則ダケハ明カニシテ置カナケレバナラヌ

○議長(長谷場純孝君) 是ハ議長が前ニ確メテ置キマシタ、即チ高山君ハ松田君ノ修正說ニ付テ賛成ノ意見ヲ述ベルト言ハレタカラ、發言ヲ許シタノデアリマス

○立川雲平君 ソレナラバ松田君ノ修正說ニ賛成セラル、ナラバ絶對ニ反対ト云フコトハナシ、松田君ノハ即チ第三條ノ末項ヲ削除スルト云フ說デ、外ノ案ハ活まテ居リマス、然ルニ他ノ案總ニ付テ反対ト云フコトヲ此場合ニ許スト云フコトガアリマスカ、議長ハ議事規則ヲ確ニ誤解シテ居ル、惡例デス

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス
 〔議場騒然〕

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス
 〔斯ウ云フコトが又先例トナシテハイケマセヌ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス
 〔拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス
 〔書記氏名ヲ點呼ス〕

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス
 〔拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス
 〔斯ウ云フコトが又先例トナシテハイケマセヌ」ト呼フ者アリ〕

○阪本彌一郎君 私ハ此案ハ八ニ賛成スルカ、馬ニ賛成スルカト云フコトヲ以テ別ルルノデアル、故ニ私ハ馬ニ賛成スル者アサイ、人ニ賛成スル者アルが故ニ、希クハ人ト馬トヲ區別スルタメニ記名投票ヲ以テ採決ニナランコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 第一條ヨリ第二條ハ委員長報告通り御異議ハアリマセ
 〔ヒヤー」ト呼フ者アリ、拍手起ル、議場騒然〕

又カ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス、第三條ニ付テ採決ヲ致シマス、松田源治君ノ修正、即チ第三條ノ末項ヲ削除スルト云フ方ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者

(「多數少數」ノ聲交、起り議場騒然)

○議長(長谷場純孝君) 静ニ、ドウモ今ノ起立デハ能ク明カニ分リマセヌカラ、今度ハ原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ採リマス、原案ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者

(「異議アリ異議アリ」ト呼フ者アリ)

○藏原惟郭君 此問題ハ異議ガアリマスカラ氏名點呼ヲ望ミマス
 〔拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 異議ノ申立が出て、ソレニ定規ノ賛成がアレバ、又採決ヲ致シマス、定規ノ賛成ガアリマスカ

(「賛成タ々ト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 定規ノ賛成者ガアルト認メマス、記名投票ヲ以テ採決致シマス

○議長(長谷場純孝君) 閉鎖——御注意ヲ申シマス——御注意ヲ致シマス、即チ此第三條ニ付テ委員長報告ニ賛成ノ諸君ハ白票、ソレカラ松田源治君ノ削除說ニ賛成ノ諸君ハ青票——氏名點呼

(書記氏名ヲ點呼ス)

○議長(長谷場純孝君) 投票漏ハアリマセヌカ——開鎖

○議長(長谷場純孝君) 投票漏ハアリマセヌカ——御注意ヲ申シマス、即チ此第三條ニ付テ委員長報告ニ賛成ノ諸君ハ白票、ソレカラ松田源治君ノ削除說ニ賛成ノ諸君ハ青票——氏名點呼

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(長谷場純孝君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ御報告致シマス
 〔林田書記官長朗讀〕

○議長(長谷場純孝君) 出席總員 可トスル者 百四十三
 否トスル者 百九
 原案ヲ可トスル者

出席總員 二百五十一

(參照)

(拍手起ル)

否トスル者 百九

鈴木久次郎君 大津淳一郎君 齋藤宇一郎君 關直彦君
 竹田文吉君 西村眞太郎君 山田又七君 安田勲君

津久居彦七君 鈴木仙太郎君 松野祐次郎君 大熊三之助君
 藤澤幾之輔君 平島松尾君 櫻瀨軍之佐君 石鄉同文吉君
 小山内鐵彌君 市田兵七君 竹内清明君 池田藤八郎君
 荒谷桂吉君 矢島浦太郎君 深田飛雄太郎君 福井三郎君
 井上敏夫君 佐藤庫喜君 中安信三郎君 岩下軍治君
 高橋政右衛門君 小河源一君 横田虎彦君 半介君
 世良寛人君 加藤大岡原 越後柳井知之承君 岩下軍治君
 高橋政右衛門君 千早正次郎君 森田俊左久君 橋本太郎君
 加藤恒忠君 富田幸次郎君 村野常右衛門君 關口安太郎君
 大岡原育造君 天川三藏君 菊池侃二君 桥本松恆一郎君
 世良寛人君 本出保太郎君 武藤十郎君 改野敬雄君 國松君
 金吉君 坪田俊左久君 福井準造君 飯田繁三郎君
 光威君 天野和一君 金藏君 森本昌巖君 駿河縣君
 文一君 武橋高橋 信藏君 青柳信五郎君 古賀啓三郎君
 久次君 立川天野和一君 清峯昇太郎君 田中龜之助君
 佐々木根本正君 上塙築山和一君 厚生君 有本國藏君 有本國藏君
 文一君 木村信藏君 飯田新右衛門君 有本國藏君 池田東
 遠藤定吉君 河上英君 伊東祐賢君 藤田小次郎君 田中龜之助君
 田中定吉君 向坂弘君 駒田小次郎君 稲本串康君 井上圭介君
 細川義昌君 西山彰君 町田旦且龍君 佐々木鐵太郎君 長谷川圭介君
 野田卯太郎君 河野郁太郎君 千田軍之助君 橋本德田君 望月圭介君
 遠藤貞吉君 田中定吉君 景山甚右衛門君 橋本讓甫君 恒松隆慶君
 線部惣兵衛君 木村格之輔君 佐藤本元明君 稲村辰次郎君
 武田貞之助君 木村半兵衛君 佐藤貞雄君 佐藤東作君
 高橋文質君 肥塚龍君 高橋久太郎君 佐々木甚吉君 佐藤寅吉君
 線部惣兵衛君 木村格之輔君 佐藤本元明君 佐藤東作君
 武田貞之助君 久保田與四郎君

○議長(長谷場純孝君)此場合ニ御誥リヲ致シマス
 ○武藤金吉君(議事ノ進行上ニ付テ)……
 ○議長(長谷場純孝君)先づ議長カラ御誥リ致シマス、第四條以下ニ阪本君ノ削除説アリマスが併ナガラ外ハ委員長ノ報告通りト云フコトニ付テ、先づ起立ヲ採決ヲシヤウト思ヒマス
 ○議長(長谷場純孝君)(御異議ハアリマセヌカ)(拍手起立)多數
 ○議長(長谷場純孝君)是ニテ二讀會ハ終ヘマシタ
 ○讀長(長谷場純孝君)即子第四條以下總て委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ハ起立
 ○恒松隆慶君(異議ナシ異議ナシ)聲起シ
 ○議長(長谷場純孝君)此場合ニ御誥リヲ致シマス
 ○武藤金吉君(議事ノ進行上ニ付テ)……
 ○議長(長谷場純孝君)先づ議長カラ御誥リ致シマス、第四條以下ニ阪本君ノ削除説アリマスが併ナガラ外ハ委員長ノ報告通りト云フコトニ付テ、先づ起立ヲ採決ヲシヤウト思ヒマス
 ○議長(長谷場純孝君)(御異議ハアリマセヌカ)(拍手起立)多數
 ○議長(長谷場純孝君)第三條ハ前ニ議長が報告シタ如ク、委員長ノ報告通り決シ
 ○讀長(長谷場純孝君)即子第四條以下總て委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ハ起立
 ○恒松隆慶君直子三讀會ヲ開キ、確定セラレントヨ望ミマス

〔「賛成々々」ノ聲起ル〕

○議長（長谷場純孝君）直チニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長（長谷場純孝君）御異議ハナイト認メマスカラ直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス、村松恆一郎君

競馬法案

第二讀會

以テ「即チ其意味ハ今阪本彌一郎君が述盡サレタト思ヒマス、是等ノコトハ御参考ノタ
ミニ諸君ニ申シテ置キマス」
〔「差支ナシ」懲罰ト呼フ者アリ〕

○大岡育造君 此切迫シタ議會ノ最後ニ於テ種々ノ問題ガ起リマスルコトハ、甚ダ諸
君ト共ニ憂フルトコロテアリマス、併ナガラ此議場ニ於テ人ト馬ト云フ、今ノ速記ノコトモ
穩ナラズ更ニ穩ナラヌ言葉ヲ用井ラレタコトヲ私ハ耳ニシマシタガ、之ヲ追窮スルコトヲセズ、
阪本君が穩ニ御取消シナルコトヲ希望スルノデアル

〔「ヒヤク」「ノウ」「ノウ」「聲起ル〕

○村松恆一郎君 此ノ場合ニ於テ別ニ精シイ議論ヲ述べナイ、馬券ニ付キマシテノ
反對論ハ請願ノ報告ノ場合ニ精シ克述ベテ置キマシタ、唯此場合ニ於テ一言反對ノ意
思ヲ表シテ置キタイ、斯ノ如キ案フシテ當衆議院ヲ通過セシムルト云フコトハ、當院ノ名
譽及體面ヲ傷ケルモノアル〔「ノウ」「ヒヤク」「ノウ」「聲交モ起ル〕全部廢棄セラレント
ヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 採決致シマス、第二讀會ノ決定通リニ同意ノ諸君ノ起立
ヲ請ヒマス

〔「採決々々」ト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 採決致シマス、第二讀會ノ決定通リニ同意ノ諸君ノ起立
ヲ請ヒマス

○議長（長谷場純孝君） 多數——本案ハ是ニテ確定致シマシタ

○武藤金吉君 議長

○議長（長谷場純孝君） 武藤君ハ議事ノ進行上ニ付キマスカ
○武藤金吉君 唯今阪本彌一郎君カラ記名投票ノ動議ノ御提出ニ付キマシテ八ト
馬ト區別スルタメニ、記名投票ヲスルト云フ御趣意アリマシタヤウニ聞キマシタ、阪本君
ノヤウナ大キナ人ハ人ト馬トノ區別ガ付カヌカモ知レマセヌガ、吾々議員ハ人ト馬トノ
區別ハ付テ居ル、此御言葉ハ御取消ニナリマスカ、御取消ニナリマセヌカ、議長カラ御糾
シヲ願ヒマス

〔「無用々々」ト呼フ者アリ〕

○阪本彌一郎君 此競馬ノ問題ニ付キマシテハ、過日來人ト馬ト云フ問題ハ屢々當
議場ニ現ハレタノデアリマス、人貴キカ馬貴キカト云フコトハ屢々述ベラレタ議論デアリマ
ス、故ニ（議場騒然）採決スル場合ニ當リマシテ、即チ（議場騒然聽取スルコト能ハス）
ソレデアリマスカラ人ト馬ト云フコトハ唯人ト馬トノ區別〔「懲罰々々」ト呼フ者アリ、議場
騒然聽取スルコト能ハス）馬ノ改良ニ賛成デアルカ、世ノ中ノ人ト改良スルニ賛成デアル
カ……（議場騒然）

○武藤金吉君 私ハ緊急動議ヲ提出シマス、阪本彌一郎君ヲ懲罰委員ニ附セラレ
ンコトヲ望ミマス

〔「ノウ」「ヒヤク」「ノウ」「聲起ル〕

○議長（長谷場純孝君） 今阪本彌一郎君が前ニ述ベラレタコトノ速記ヲ翻譯シテ、
議長ノ手許ニ取寄セテ見タラ、斯ウ云フコトニカドテ居リマス「阪本彌一郎君、私ハ此案
ハ人ニ賛成スルカ、馬ニ賛成スルカト云フコトヲ以テ別ルノデアル、故ニ私ハ馬ニ賛成スル
モノデナイ、人ニ賛成スルモノアルガ、故ニ冀クハ人ト馬トノ區別スルタメニ記名投票ヲ

致シマス

〔「ノウ」「ノウ」「聲起ル〕

○福井三郎君 本員ハサマデ穏ナラザル言語ニハ承ハリマセヌデシタ、阪本君ノ言ハレル
が如ク、先日來馬貴キカ、人貴キカト云フコトハ、アタナタノ議論ニモ引用セラレタコトデア
ル（議場騒然聽取スルコト能ハス）故ニ之ヲ懲罰スルノ必要ハナイ、又斷乎トシテ之ヲ取
消サナイト云フコトモ、大ニ本員ハ愛スルノデアル、斯ノ如キコトハ問題トセズシテ之ヲ惡
シク聞ケバ……（議場騒然聽取スルコト能ハス）善イ耳ヲ以テ聞ケバ深ク咎ムベキ言葉
トモ聞エナノデアル、故ニ我々ハ咎ムベキ言葉デハナイトシテ聞イテ置キタイト思ヒマスカ
テ、御賛成アランコトヲ望ミマス

〔「賛成々々」「採決々々」ト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 武藤金吉君ノ動議ハ定規ノ賛成、即チ二十人以上ノ賛
成ガアルト認メマス——二十人以上定規ノ賛成ガアル以上ハ規則ニ依シテ採決致シマス

○大岡育造君 此際ニ私ハ一言申シマスガ、此問題ハ稍重大ナ問題デアリマスカラ
討論ヲ須井ズトモ諸君ノ熟考ヲ希望シマスカラ、本日決議スルコトヲ御延バシヲ願ヒマス

○議長（長谷場純孝君） 提出者ノ武藤君ニ御詰リヲ致シマスガ、今大岡君ノ動議デ
是ハ重大問題デアルカラ熟考スルタメ、決議ヲ採ルコトヲ延バシタイト云フコトアリマス
ガ、如何デアリマスカ

○武藤金吉君 大岡君ノ延期説ニ賛成致シマス
○議長（長谷場純孝君） 提出者タル武藤君ニ於テ御異議ノナイ以上ハ採決ヲ延バ
モノデナイ、人ニ賛成スルモノアルガ、故ニ冀クハ人ト馬トノ區別スルタメニ記名投票ヲ

ノタメ損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ヲ、日程ヲ變更シテ此際議題ニ供シタイト思ヒマス

○議長(長谷場純孝君) チヨット待ッテ下サイ、議長ヨリ御詰リスルコトガアリマス、茲ニ豫算委員長栗原亮一君ヨリ第一號明治四十二年度歲入歲出豫算追加、特第二號明治四十一年度特別會計歲入歲出豫算追加、追第一號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル付キ報告ヲナシ、併セテ日程ヲ變更シテ之ヲ議シタイト云フ動議が出て居リマス、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者ノリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り致シマス、豫算委員長栗原亮一君

(栗原亮一君登壇)

○栗原亮一君 明治四十一年度總豫算第二號追加、四十一年度特別會計第二號追加豫算、並ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル追第一號、之ヲ併セテ報告フ致シマス、此追加豫算ハ多クハ本院ニ於テ可決ニナリマシタコロノ法律ノ結果ニアリマス、其金額ノ最モ大ナルモノハ輸入原料砂糖戻税法ノ改正並ニ莫子ノ製造ニ對シテ原料ノ戻税ヲスルト云フ案が通過致シマシテ其結果トシテ四百四万圓ヲ要スルノデアリマス、四百万圓ガ輸入原料砂糖戻税デ、四万圓ガ莫子ノ分ニ屬スルノデアリマス、ソレカラ製材所貸下ガ豫算ニ於テ否決ニナリマシテ官ニ於テ之ヲ經營スルト云フコトニナシタノデ、其經費ガ二十七万圓餘デアリマス、ソレカラ東京市ノ市區改正ニ伴フテ從來ノ電信電話ノ柱が道ノ真中ニアシテ不便ナルカラ、電信電話線ヲ移轉スルト云フ經費、是が十一萬圓餘デアリマス、其他ハ法律ノ結果ニアリマスガ、即チ度量衡法改正ノ結果、經常費ガ四万七千餘圓、臨時費ガ三万五千圓ヲ要シ、耕地整理法ノ改正が確定ニナリマシテ此經費ガ三万千五百圓餘ヲ要スルノデアリマス、特許法意匠法適用新案法商標法改正ノ結果、經費ヲ要スルモノガ二万圓餘デアリマス、ソレカラ伊太利ニ於ケル萬國農事協會ノ會議ガアリマシテ、是ニ帝國ヨリ委員ヲ派遣シマス其經費ガ四千三百圓餘デアリマス、其他ハ火事ノ經費ニアリマス、四十一年ノ十月ニ律太守備隊ノ兵舎が焼ケ、又四十一年ノ二月ニ同ク樺太ノ步兵第二十聯隊及野砲兵第七聯隊ノ工場が焼ケマシテ、是が復舊トシテ十四万餘圓ヲ要スルノデアリマス、四十一年ノ一月ニ北海道廳が焼ケマシテ是がアメニ復舊ヲ要シハ万八千餘圓、ソレカラ其建物ノ修繕ヲ致ス、此ニツテ八万八千圓餘ヲ要スルノデアリマス、ソレカラ四十二年ノ二月ニ舞鶴水雷團ノ廳舍が焼ケマシテ是が復舊ノ元ノ通リニスル、是ハイローアヂ道路又ハ開拓ニ關スル地圖ガアッタ、其地圖ヲ更ニ調製シナケレバナラヌ、ソレ等デ十万餘圓ヲ要スルノデアリマス、ソレカラ四十二年ノ十二月ニ門司ノ稅關支署ノ廳舍が焼ケマシテ是がアメニ復舊ヲ要シハ万八千餘圓、ソレカラ其建物ノ借リル其借料ガ三千八百餘圓ヲ要スルノデアリマス、ソレカラ四十二年ノ二月ニ韓國京城理事廳附屬ノ監獄が類焼シタノデ其復舊工事ト、ソレカラ共囚人ノ留置場ニ充ツベキトコロノ建物ノ修繕ヲ致ス、此ニツテ八万八千圓餘ヲ要スルノデアリマス、ソレカラ四十二年ノ二月ニ舞鶴水雷團ノ廳舍が焼ケマシテ是が復舊ノ元ノ通リニスル、是スルノデアリマス、又同月ニ東京ノ海軍局ノ廳舍ノ一部が類焼ニ罹リテ其復舊工事ガ五千餘圓ヲ要スルノデアリマス、寔ニ追加豫算ハ火事ノ多イコトハ火事ハ好シニ起ス

モノデハアリマセヌが、此火事ノ復舊費が總テ二十七萬圓餘デアリマス、依テ豫算總會ニ於キマシテハ火ノ用心ヲスルコトヲ政府ニ深ク警告致シタノデアリマス、サウシテ政府ニス、是ハ大藏省ニ於テ建築部が出來テ居リマスカラ建築上ノ研究ヲ加ヘテ成ルベク火災類燒ノナイヤウニシタイト云フコトデアリマシタ、ソレデ此等ノ經費が總テ併セテ歲入歳出各々四百九十四萬圓餘デアリマス、是ニ對スル歲入ハ前年度ノ繰入金ガ四百六十萬圓ヲ、製材所ヲ官營ニ致シマスルタメ其事業ノ收入が増加スルコト二十二万七千餘圓デアリマス、ソレカラ特許法意匠法、商標法、度量衡法、及登録稅法等ノ改正ニ伴フテ印紙收入ノ増スモノガ八万四千圓餘リアリマス、右申シタグケが歲入トナツテ是等ノ經費ニ充ツルコトニナシテ居リマス、ソレカラ特第二號ノ四十一年度ノ特別會計ノ追加豫算、是ハ文部省所管ノ學校及圖書館ノ經費デ、歲入ハ用途指定ノ寄附金ガ五千四圓アリマシテ是ハ寄附者ヨリ其用途ヲ指定シテ斯ウ云フコトニ使ツテ貰ヒタイト云フノデ、東北農科大學ノ設備ニ用エルト云フコトデアリマス、ソレカラ神戸ノ高等商業學校ノ分ニ五百圓充テ、アリマス、是ハ寄附支出殘金デ前年度繰越ト云フコトニナツテ居リマス、是が即チ特第一號ノ經費ノ要求デアリマス、ソレデ分科會ヲ開キ種々審査ノ結果、原案通り可決スベキモノト決定致シマシタ、但シ火ノ用心ハ餘程ヤカマシク申シタノデアリマス、ソレカラ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、報告ヲ致シマス、是ハ遠洋航路補助法が既ニ制定ニナリマシテ、其法律ノ結果トシテ此豫算が出来タノデアリマス、此規定ニ依リマスレバ明治四十三年一月ヨリ四十七年十二月マダ五箇年間ニ三大航路ニ對シテ補助ヲ與ヘルト云フコトニナシテ居ルノデアリマス、今回ハ此法律ニ依テ大ニ補助ヲ與フルトコロノ方法が改正ニナリマシテ、之ガタメニ從來ノ方法アルヨリモ金額が餘程減タノデアリマス、從前ノ補助總額ハ一箇年一千一十六萬圓餘デアリマシテ、是ハ五箇年間別ニ遞減モナクシテ此金額ヲヤラナケレバナラヌト云フコトニナシテ居ツタノデアリマシタガ、今回ハ段々此遞減率ヲ行シテ船ガ古クナルニ從ツテ其補助額が減ルト云フコトニナシタノデアリマシテ、今回ノ補助總額ハ一箇年七百一十六萬圓餘デアリマスカラシテ、從來ノ補助法ニ比較スレバ約三百万圓バカリ減少ニナツタノデアリマス、現行ノ航海獎勵法ニ於キマシテハ八百三十六萬圓餘與ベキ皆デアリマスルケレドモ、此度制定ニナリマシタ所ノ遠洋航路補助法ニ依リマスルト云フト、比較シテ約一百萬圓許リノ減少ニナルノデアリマス、從前ノ補助總額が千二十六萬圓餘デアリマシタカラシテ、是ト比較シマスレバ今回制定ニナツタ所ノ法律ニ依レバ約三百万圓カラノ減少ニナリマスカラシテ、國庫ノタメニ餘程良クナツタノデアリマス、是ハ法律ノ結果デハアリマスケレドモ、尙豫算會ニ於キマシテ此契約ニ付キマシテハ議論ハアツタノデアリマス、アツテカラニ、必ズシモ悉ク五箇年ニスベシト云フ意味合テハナノデアル、ソレテ又此補助ノ方モ五十錢以内ト法律ニ規定ハアリマスケレドモ、是ハ最高額ヲ定メタモノデアツテニ依レバ航路ノ狀況ニ依ツテハ或ハ四十錢乃至四十五六錢トカ云フヤウナ以内ト云フ方デ其樹齋宜シキラ加ベキモノデアル、ソレヲ線路ノ狀況ノ各々其異ナルニモ拘ラズ總テ均一ニ興

ヘルト云フノハ甚ダ不體アル、斯ウ云フ議論モアリマシテガ、段々審査ノ結果遂ニ是モ原案ノ通り賛成スルコトニ致シタノデアリマス、要スルニ原案通り此國庫負擔ノ契約が極ツタノデアリマス、唯今報告致シマシタガ會期切迫ノ際デアリマスカラシテ、此際日程ヲ變更シテ速ニ決議アランコトヲ希望致シマス

○議長(長谷川場純孝君) 日程變更ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○議長(長谷川場純孝君) 御異議が無イト認メマスカラ議事日程ヲ變更シ、第二號明治四十二年度歲入歲出總豫算ノ追加案、特第二號明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案、追第一號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、之ヲ一括シテ議題ト致シマス

(第一號)明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案

(特第二號)明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ

(「委員長報告通り異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷川場純孝君) 武田貞之助君

(武田貞之助君登壇)

○武田貞之助君 私ハ天性惡聲アリマシテ胸隔が狹クテ惡聲アリマシテ、諸君ノ倦怠ナリ其他不愉快ノ觀念ヲ持タセマスガ、惡シカラズ御清聽ヲ煩ハシタノデアリマス、本員ハ郵船會社ノ歐洲航路、早ク分ルタメニ言ヒマスルサウ云フコトニナリマスルガ、其線ニ對シマシテハ政府案ヨリハ二割ノ減額ヲ致シタイト云フ修正案デアリマス、尙北米航路ノ中ニ於キマシテ「タコマ」線ヲ除クノ外ハ均シク一割減ノ金額ニ致シタイト云フ修正案デアリマス、左様致シマシテ其數額ニ涉ルコトハ書記官長等ノ御手數ヲ煩ハシテ議案トシタノデアリマス、ソレカラ南米航路ノ五箇年ノ期限ト云フノニ對シマシテハ三箇年ト云フ所ノ修正案ヲ提出スルノアリマス、精々簡單ニ説明ヲ致シマスカラシテ暫時ニ對シタノデアリマス、此事ハ餘り大ナル問題ハナノデアリマス、之ヲ手短ニ郵船會社ト致シマシテハ尙七十四四五万圓ノ減額ト云フコトニ過ギナノデアリマス、諸君、諸君が熱心審査セラレマシテ、サウシテ彼ノ遠洋航路改正案ナルモノニ向テ暫時ノ政府委員ノ説明カラ申シマシテモ、是ハ緩急取捨手加減ラシナクテハナラヌモノニアリマセウカ、然モ諸君之ヲ新規ニ開始セラレタ所ノ北米航路ノ「タコマ」線ト同一ノ高度、同一ノ金額ニセラレタ云フノハ如何ナル根據がアリマセウカ、航海業ノコトハ之ガ準備設備其他種々ノ計畫ヲ要スルノデアル、此故ニ新規ノ計畫ニ至シテハ非

常ナル苦心ト、非常ナル經費ヲ要スルノデアル、之ニ反シテ郵船會社ハ此國費多端ノ折ニ拘ラズ、満十箇年ノ久シキ頗ル高度ノ保護ヲ受ケテ來マシテ、百般總テノ設備が完成シテ居ル會社デハアリマセウカ、其會社ニ對シテ新規ニ開始スル所ノ航路ト同一ノ高度ヲ以テセラレタメニ極ムテ高キ保護ヲ以テセラレタト云フコトハ如何ナル根據、如何ナル理由ニ基イタノデアリマセウ、本員ハ極メテ不愉快ニ、極メテ不權衡ナリト云フコトノ信念ハ毫モ去ラナイノデアリマス、諸君、之ヲ歐羅巴ノ航路——歐羅巴ノ航海狀態ニ比較セラレマシテ、我郵船會社ノ如キ高度ノ保護ヲ受ケテ居ル所ノ會社ガ何處ニアリマセウ、何處ニアリマス、私ハ茲ニ何某ノ會社が如何ナル高度ノ保護ヲ受ケテ居ラテ郵船會社ノヤウニ異常ノ保護がアルト云フ所ノ實例ヲ提出サレタナラバ、直チニ壇ヲ降シテ降参スルノデアル、他ニ何處ニサウ云フ高度ノ保護ヲスル國ガアリマスカ諸君(「日本ト同様ノ國が何處ニアル」「四圍ノ事情が違ヒマス」と呼フ者アリ)宣シ、暫ク御聽取ヲ願ヒマス、精々簡單ニ致シマス、日本ノ郵船會社ト相對抗スル所ノ汽船會社ハ彼ノ北獨逸「ロイド」會社が先づ對抗——即チ反對競爭線ニ近イノデアリマス、同會社ハ如何ナル程度ニ於テ保護ヲ受ケテ居リマスカ、同會社ハ諸君一顧ニ付キ僅ニ六圓四十何錢ニ過ギナノイノデアリマス、之ニ反シテ我郵船會社ハ現行ノ保護率ニ依リマシテモ二十一圓ナニガシト云フコトニ相成ルノアリマス、左様ナ比較ノ取レナイ所ノ大保護、大特典ヲ與ヘルト云フ 根據ハドコニアルノデアリマス(「モウ宜イダヤナイカ」と呼フ者アリ)モウ少シ申シマス、諸君、政府委員ハ斯様ニ申シマス、現行法ヨリハ遠洋航路補助法ハ非常ニ進歩セルモノデアル、其證據ハ現行法ニ於キマシテハ速力ノ點ニ對シテ二割増加ノ補助ヲ致シタノデアル、サウナシテ居リマス、諸君モ御承知ノ通——然ルニ現行法ハ順數ノ増加ト一緒デ、速力増加ノ場合ニ於テモ等シク一割増加ト云フコトニ進歩シ改正致シタデハナイカ、斯ウ云フノが政府委員ノ骨子トスル所ニアリマス、所が其現行法ノ速力ニ對シテ二割増加率ト云フモノハ二十五錢ヲ基本ト致シタノデアル、然ルニ此改正案ニ依リマスト金率ハ標準が増加致シテ五十錢ニナシテ居ルノアルカラシテ、増加率ノコトニ現行法モ改正案モ少シモ變ラナイノデアリマス、左様致シテ變ラナイ同一ノ法律ニ基イテ而モ最高度ヲ保護シタト云フコトニ相成リマシタカラシテ、隨シテ來ル四十三年度ニ於キマシテハ郵船會社ハ總テ合セマスト六百万圓前後ノ保護ヲ受ケルコトニ相成リマス、即チ遠洋航路補助法ニ依シテ受カマスル保護ト、現行航海獎勵法ニ依シテ受カマスル金額ヲ合セマスト約六百万圓近半所ノ保護ト相成リマス、諸君、同會社ハ一千二百萬圓ノ會社デアル、二千二百萬圓ノ會社ニシテ一千八百万圓前後ノ多キ積立金、其他航路擴張費ト云フヤウナ名稱ノ金がアルノデアル、ソレカラ致シテモ百何十万圓——六朱ト云フ所ノ御説明ガアッタノデアリマス、其説明ニ對シテ諸君ハ同感ノ態度ヲ持タレマシテ、サウシテ賛成サレタノデアリマス、然ルニ本案ハ其最高度ヲ以テセラレタト云フノハ如何ナル理由ニアリマセウカ、政府ニ於テハ如何ナル手加減、如何ナル按排ヲセラレタノ時ノ政府委員ノ説明カラ申シマシテモ、是ハ緩急取捨手加減ラシナクテハナラヌモノニアリマセウカ、然モ諸君之ヲ新規ニ開始セラレタ所ノ北米航路ノ「タコマ」線ト同一ノ高度、同一ノ金額ニセラレタ云フノハ如何ナル根據がアリマセウカ、航海業ノコトハ之ガ準備設備其他種々ノ計畫ヲ要スルノデアル、此故ニ新規ノ計畫ニ至シテハ非

常ナル苦心ト、非常ナル經費ヲ要スルノデアル、之ニ反シテ郵船會社ハ此國費多端ノ折ニ拘ラズ、満十箇年ノ久シキ頗ル高度ノ保護ヲ受ケテ來マシテ、百般總テノ設備が完

其他ニ依テ開イタコトガアル見タコトガアル、彼ノ新橋柳橋等ノ旗亭ニ登リマシテ一種ノ愉快トカ一種ノ遊ナドヲスルト云フニ當リテ、社長様トカ、重役様トカ言タラバ、ドノ方面ノ人アリマセウ、必ズヤ社長様トカ頭取様ト言タラバ郵船會社方面ニノミ限定サレテ居ルノアリマス(「郵船會社ニ頭取ガアルカ」「能ク御調査ナサイマシタナ」ト呼ブ者アリ)左様ナ譯アリマシテ諸君ハ郵船會社が如何ナル贊澤、如何ナル奢侈ニ陥テ居ルカト云フコトハ疾ク御承知ノコトアリマス、昨今奇歎誅求、實ニ細民ハ困難ヲ告グ、困苦ヲ告ゲテ居ルノアリマスガ、其金員ヲ集メテ一種特殊ノ會社ニ向テ六百万圓前後ノ保護ヲスルト云フノハ何處ニ根據ガアリマスカ、何處ニ基礎ガアリマスカ(拍手起ル「根據ハナイ」ト呼ブ者アリ)左様致シマシテ諸君、數年前ニ亞米利加ニ於キマシテ、ヤハリ航路擴張案ナル此法案ト同一ノヤウナモノガアッタノアル、其際ニ全然同衆議院ハ否決致シタデハアリマセヌカ、其時ノ理由ハ諸君モ新聞紙其他御調ノ如クニ凡ソ保護ナルモノハ廣クシテ淺クデナケレバナラヌ、廣クシテ淺クデナケレバナラヌト云フコトハ保護ノ原則デアル、然ルニ此議會ニ提出サレタ如キトコロノ法案ヲ通過セシメタナラバ、特種ノ人、特種ノ會社ノニ保護シテ、全ク世ノ中ノ道理ト公平ヲ失フカト云フテ否決シタデハアリマセヌカ、諸君、政府委員ハ保護ハサウ多キニ失シタ譯ハナイ、佛蘭西ニハ二千四百万圓前後ノ保護ヲ致シテ居ルト云フトコロノ説明ガアッタ、左様致シテ諸威ハ殊更ニ引込メテ居ラル、コトハ除外致シマシテ佛蘭西、彼ノ佛蘭西ハ如何ニモ二千四百万圓前後ノ保護ガアリマスケレドモ、ソレハ三百頃以上ノ船ニ致シテ、帆前船ト汽船トヲ論ゼニ一般ニ廣ク、所謂廣クシテアッテ保護其モノ、性質合ツテ居ルノアリマス、所が我改正案ナル此案ニ依リマスト全ク公平ナル保護ニアラズシテ贈與アル、又公平ナル獎勵ニアラズシテ特典デアルノアリマス、ドノ點カラ見マシテモ全ク私ハ其當ヲ得スモノト深ク信ズルが故ニ、此修正案ヲ提出シタ次第アリマス(拍手起ル)次ニ南米航路ニ於キマシテ五箇年ト云フコトヲ二箇年ニ減縮致シマシタノハ、同航路ニ對シマシテハ、私ハ是ハ全ク政府案ヲ賛成スルノアル、獨リ南米航路ニ於キマシテハ諸君モ御承知ノ通リ船渠ガアルニアラズ、又石炭其他ニ付便宣ガアルニアラズ、是ハ相當保護シナケレバナラスカラ是點ニ對シテハ私ハ同感ヲ致スノアル、併ナガラ彼ノ南米航路ニ對シテハ試驗的アル、即チ試驗的アルト云フコトハ各臣モ御承知ノ如ク政府委員モ左様ニ申スノアル、既ニ試驗的ニシテ何等成案ノ十分確定セルモノナクシテ、而モ「タコマ」線ノ如キ特別ノ利益ガナイト致シマシタナラバ、之ヲ先ツニ簡年ニ限定致シマシテ、所謂二箇年ト云フ期限ヲ附シマシテ、然ルニ徐ロニ善後ノ計畫ヲ致サナケレバナラヌノハ其性質デハアリマセヌカ、其宜シキヲ得タモノアハアリマセヌカ、故ニ私ハ之ヲ減縮致シマシテ二箇年ト致シマシタナラズ、極メテ公平ニ、極メテ親切ニ、一祝同仁ヲ以テセラル、各位アリマス、然ルニ均シク日露戰爭ノトキニ於テハ先キヲ争ウテ國家ノタメニナツトコロノ社外船——社外船ニ於キマシテハ總テ繫船ニ次グニ繫船ヲ以テ致シマシテ、繫ギ船ニ次グニ繫ギ船ヲ以テ致シマシテ、現ニ十万噸前後ハ生活難ヲ告ゲテ、數千人ノ船員ハ麵麪問題ヲ叫ニテ居ルノアリマセヌカ、然ルニ郵船會社等ノ會社、而モ郵船會社ハ彼ノ戰爭ノ當時ニハ

航路持續、歐洲航路ノ持續ノ名義ヲ以テ或ル船舶ハ一番アトニ軍用ニ立ツタノアル、サウ云フヤウナ船モアルノアル、左様ナ不埒ナ會社ニ對シマシテ、而モ特種ノ高度ノ特典ヲ與ヘルト云フコトハ比較研究ノ上ニ、比較調査ノ上ニ、於キマシテドウ云フ理由ガアルノアリマスカ、一視同仁ノ考慮ニ富マル、諸君——各位ヨ、私ノ修正案ニ御賛同セラントヲ切ニ希望シテ已マヌノアリマス

○横井甚四郎君 チョット質問ガアリマス
○横井甚四郎君 賛同セラントヲ切ニ希望シテ已マヌノアリマス
○議長(長谷場純孝君) 武田君ノ説ニ賛成ガアリマス
○議長(長谷場純孝君) 横井甚四郎君ハ何アスカ
○横井甚四郎君 質問デス——唯今ノ御演説中ニ於キマシテ大變此補助額が多キニ失シテ、且又郵船會社が非常ノ利益ニナルカラ此位減シテモ宜イ、サウ云フコトデゴザイマスガ、サウ致シマスト歐洲線ニ於テ六十五万圓バカリノ減額、ソレカラ「シャートル」線ニ於キマシテ十万圓バカリノ減額ニナル、爾カ致シマシテ舊來ノ補助ヨリモ此補助法ニ變リマシタ結果、該會社ニ及ボシマストコロハ少クモ五六六十萬圓ハ少ナクナツテ來ル、合セマスルト百四十萬圓位ノ減額ニナリマスガ、ソレデハ隨分會社ハ贊澤デアル、柳橋デ何トカ云フヤウナ御説ガアリマシタガ、此所ラノ所デハ御修正ニナリマシテモ一向御構ヒガナイト云フコトデアリマスカ、ソレカラモウ一つ東洋汽船會社ノ航路ニ於キマシテハ何等御論及ガナイ、是ハ桑港線ニ關係ヲシテ居リマス、此方ガ隨分サウ云フ計算ノコトハ一向御説明ガナイ、此方ヲ精シク御説明ヲ願ヒタイ

○武田貞之助君 御答ヲ致シマス、私ノ修正説ニ對シマシテ賛成者ガアッテ賛成演説モアルヤウデアリマスカラ簡單ニ御答致シマス、貴重ノ時間ヲ濫リニ費シテハ濟ミマセヌカラ簡單ニ説明致シマス、郵船會社ニ向テ此修正案ノ如ク減額ヲ加ヘマシテモ毫モ差支ナイ理由ノ一端ヲ申シマス、澤山申シマスト時間が費ヘマスカラ一ヲ以テ十ヲ計シテ戴キタイノデアリマス、同會社が嘗テ外國ノ保險會社ニ向テ保険ヲ締結シタコトガアリマス、此時ニ於テ目的物ノ一分五厘ト云フ標準ニ於テ保険ヲ掛ケテ居タノデアリマス、然ルニ政府委員ノ説明、其他書類ニ依リマスト昨今高度ノ五分ニナツテ居ル、是ハ保險學上ノ問題、技術上ノ問題デアリマス、同會社が嘗テ外國ノ保險會社ニ向テ保険ヲ締結シタコトガアリマス、此時ニ於テ目的物ノ一分五厘ト云フ標準ニ於テ保険ヲ掛ケテ居タノデアリマス、然ルニ山ナ船デアリマスが故ニ——其一端ヲ申シテモ左様ナ譯デアリマスカラ、綽々トシテ餘裕ガアルト云フコトヲ信ズルノアリマス、轉シテ此東洋汽船會社ノ桑港線デアリマス、此方ニ於キマシテモ久シクヤシテ居シタ航路デアリマス、サウシテ汽船其物が隨分立派デアル、即チ有名ナ天洋丸、地洋丸等デアリマスカラ相當ノ乗客ヲ引クト云フコトハ諸君ト共ニ信シテ疑ハナイトコロデアリマス、而モ同汽船ニ於キマシテハ現行法ノ最高度ノ保護ヲ取シテ居ルノアル、最高度ノ保護ヲ取シテ居シテ、即チソレヲ標準トシタコロノ金額デアリマスカラ、毫モ營業上ニ差支ナイト云フコトハ斷々乎トシテ疑ハヌノアリマス、其他ハ議論ニ移リマスカラ是テ御免ヲ蒙リマス
○加瀬禪逸君 私ハ唯今武田君ヨリ提出セラレマシタル修正意見ニ賛成ヲ致スモノアル、簡單デゴザイマスカラ此席ヨリ申シマス、私共デモ無論航海業ノ進歩、海運業ノ發

達ヲ圓ルト云フコトニ付テハ諸君ニ譲ラヌノデアル、併ナガラ其海運業ノ發達並ニ航海業ノ進歩ト云フモノヲ期スルニハ單ニ補助政策ノミニ依ルモノデハナイノデアル、彼ノ佛蘭西ト獨逸ニ於ケル航海業ノ實蹟ニ顧ミラマシタラバ、思半バニ過グルモノアルベク私ノ言フコトが空言デナイト云フコトが分ルノデアラウ思フノデアル、而シテ此補助ハ海運業ノ狀況ト相對シテ適當ニスルコトハ必要デアリマスガ、徒ラニ補助ヲ厚クスルコトハ却テ航業ノ不振ヲ誘起スルト云フコトハ是亦各國ノ事例ニ於テ證據立テレテ居ルノデアル、ヨリ喋々説明セラレタトコロデザイマスケレドモ、言葉ヲ約メテ申シマスレバ、其年限ニ於キマシテモ、其金額ニ於キマシテモ、航路補助法上云フモノ、精神ヲ沒却シタルモノト思フノデアル、航路補助法ヲ提出スル初メニ於テ政府ハ如何ニ言明セラレタカ、是ハ唯今武田君ニ應シテ適宜之ヲ取捨スルノデアル、詰リ何年何錢ト云フコトノ限定ヲサレタルノハ此況ニ當局者ガ適宜ニ運用スル、言換ヘレバ適宜ノ手腕ヲ揮フコトノ餘地ヲ存シタイト云フ説明デアル、誠ニサウデアルノデアル、吾ミハ此海運業ノ將來ニ對シマシテ如何ナル補助ヲ與ヘルカト云フコトニ付キマシテハ、當局者ニ於テソレハ海運業ノ事情ヲ調査シ、尙當局者ノ從來ノ營業成績等ヲ斟酌シテ、或ル物ハ何錢、或ル物ハ何錢ト云ウテ適宜ニ其手加減ヲセラルベキ案ニアリマスル、故ニ誠ニ適當ナル法案トシテ贊成シテノデアル、而シテ今回ノ契約案ト云フモノハ詰リ此法ノ規定ニ依テ生レタコトハ政府當局者ノ説明スルトコロデアル、併ナガラ此要求サレタル金額及年限ヲ見マスレバ、悉ク最大限度ヲ要求セラレテ居ルノアリマス、此點ニ付キマシテハ政府ハ曩ニ航路補助法ヲ提出シテ是ガ通過ヲ圓ルコトニ努メラレタル辯明ノ趣旨ヲ全然抹殺シ去ツテ、議會ニ對スル立法權ノ縮小ヲ此最大限度ニ依テ圖ラウトシタノデアル、斯ノ如キハ縱令法律ハ最大限度ヲ要求スルモ妨ケナシト規定スルモ、政府當局者ガ議會ニ對スル政治上ノ態度シテ慎重ヲ失シテ居ルモノト確信スルノデアル、私ハ此點ニ於テ先ツ第一ニ多數諸君ノ反意ヲ煩ハシタインデアル、即チ金額ニ於テ所謂五十錢以内ヲ實際ニ現ハシ、年限ニ於テ五年以内ヲ實際ニ現ハサレント希望スルノデアル、此希望ヲ以テサウシテ今ノ武田君ノ案ニ付キマシテハ是ハ將來ニ屬ク數字ニ瓦ツテ申上ゲルコトヲ避ケマスガ、併ナガラ此武田君ノ案ハ唯金額ヲ減ズルニ急ナルバカリニアラズシテ、其意ハ之ヲシテ適當ニ海運業ノ發達ヲセシメヤウト云フ趣意ニ出テクモノデアルト云フコトハ十分諒察シ得ルノデアル、今武田君ノ案ニ依リマシテ、サウシテ、今日我國ニ於テ此海運業ノ爲ニ從事シツ、アルモノ、營業ノ實蹟ニ相對シマシタラバ、コロノ根據ニ付キマシテハ、武田君が唯今各國ノ海運業トノ營業上ノ成績ヲ比較ナサレ、並ニ各海運業ニ從事スル當業者ノ收支計算ヲ述べラレテ居リマスカラ、私ハ委シテ

スル海運業デゴザイマスガ故ニ、マダ實蹟ノ見ルベキモノガゴザイマセヌガ、武田君ノ修正ヲ加ヘラルベキトコロノ歐洲航路、並ニ北米航路中ノ「シャトル」線、桑港線、此三線ニ付キマシテハ今日マテノ實蹟ガアルノデアル、即チ歐洲航路ニ於キマシテハ郵船會社ノ實情ニ照シテ之ヲ知ルコトが出來マスルシ「シャトル」線、桑港線ニ付キマシテハ彼ノ東洋汽船會社ノ營業上ノ實蹟ニ於テ之ヲ證明シテ居ルノデアル、此會社ハ今日以前ノ營業ノ狀態ニ於テ如何ナル成績ヲ占メラレテ居ルカト言ヘバ、即チ同會社ノ株券ニ對スル利益ノ配當ハ直チニ移シテ以テ之ヲ證明スルコトが出來ルノデアル、東洋汽船會社ハ近時優先株ナルモノヲ置イテ、一割二分ノ配當ト云フ別種ノ取扱ヲ爲シテ居リマスケレドモ、普通株ヲ通ズレバ先ツ七、八分ノ配當ヲ爲シ得ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアル、而シテ郵船會社ニ至リマシテハ現ニ一割二分ノ配當ヲ爲シツ、アルノデアル、此場合ニ於テ今武田君ノ修正セラルベキモノト主張スルコトロノ金額ヲ是等ノ收入ノ内ヨリ引去ツテ、之ヲ資本金ニ割當ア、勘定ヲ致シマシタラバ、東洋汽船會社ニ於キマシテモ、郵船會社ニ於キマシテモ、配當ノ上ヨリ僅ニ一分若クハ三分ヲ減ズルニ過ギメノデアル、而シテ郵船會社ニ致シマスレバ此修正案ノ如ク通過ヲ致シマシタモノトシテモ、尙優ニ九分以上ノ配當ヲ爲スコト、東洋汽船會社ニ於キマシテモ七分位ノ配當ヲ爲スコトハ出來ルノデアル、而シテ政府ハ今般此金額ヲ計上サレタル基礎トシテ、吾ミニ收支計算ナルモノヲ與ヘラレテ、其支出ノ中ニハ會社ノ配當ナルモノヲ加味シテアルト云フコトデアリマスノデ、問ヲ進メテ之ヲ伺ヒマスレバ、ソレハ約八朱ヲ見積ムテ居ルト云フコトニナリマスレバ、縱令此修正ノ如クマシテモ、政府ノ豫期スルトコロノ八朱ノ配當ヲ得セシムルニハ十分テアルト思フノデアル、政府ハ此收支計算ノ最後ニ於テ補助金が殖エテモ尙會社ニ於テハ損害ガアルト云フコトニ計上サレテアリマスケレドモ、私ハ是ハ政府ノ未來ヲ御見込ナラバ卒ザ知ノ如クマシテモ、政府ノ豫期スルトコロノ八朱ノ配當ヲ得セシムルニハ十分テアルト思フラズ、過去ノ實蹟ニ照シタナラバ此計算ハ杜撰デアル、現ニ郵船會社が今日一割二分ノ配當ヲナシツ、アル實蹟ニ照シテ見マスレバ、配當ヲスベキモノヲ八朱トシテ支出ヲ算スルナラバ、殆ド損ヲスルノテアルト云フコトノ説明ハ了解スルコトハ出來ナイノデアル、故ニ此修正案ノ如ク通過致シタナラバ、私ハ將來ニ於ケル海運業ノ發達ヲ阻止スル憂ハ毫モナシト思フノデアル、況ヤ今日ニ於ケル我國ノ財政ノ狀態ヲ顧ミマシタナラバ如何デゴザイマセウカ、私カラ事新シク申スマデモゴザイマセス、非常特別稅ハ繼續ヲセラレタノミナラズ、增稅ニ増稅ヲ重ネツ、アツ、民間ハ疾苦ヲ訴ヘツ、アル秋ニ當リマシテ、此會社ニ八朱以上ノ恩典ニ浴セシムベクスノ如ク多大ナル補助ヲ要求スルコトハ斷リテ不當ナリト言ハナケレバナラヌ、是レ私ガ武田君ニ贊成ヲシテ、修正案ノ通過ヲ求メル所以テアリマス、實ハ私ハ先刻豫算總會ニ於キマシテ此議ヲ提出シ敗ヲ取ツタニ拘ハラズ、再び此說ヲ述ベルノハ諸君ノ誠意ニ訴ヘテ其反対ヲ求メルガタメニ外ナラヌノアリマススルカラ私ガ一言申上ゲテ置キタトイ思フ、即チ此航路……

○根本正君 議長

○議長(長谷場純孝君) 此案ニ付キマシテ御發議デアリマスカ

○根本正君 サウデス、本員ハ原案贊成ニ付テ一言申シマス、簡單デアリマスカラ是ヨリ申上ゲマス、本問題ニ反對ノ意見が出マセヌデアリマシタナラバ、私ハ一言モ申ス必要無リテアルト云フコトハ十分諒察シ得ルノデアル、今武田君ニ修正案ニ付キマシテ、サウシテ、如何ニ相成ルテゴザイマセウカ、今武田君ノ修正カラ皆カレマシタコロノナリマシタナラバ、國民が惑フ生ジマサラ其體記容サレタルトコロノ「タコマ」號及南米航路ノ分ニ付キマシテハ是ハ將來ニ屬ク

(大岡育造君「登壇シ給へ」ト呼フ)

(根本正君登壇)

○根本正君 總務ノ大岡君カラ登壇スルヤウニト云フコトデゴザイマスカラ 此所デ一言申シマス、此問題ハ日本帝國ノ貿易が如何ニ明治年代ニ發達シタカト云フコトヲ諸君ト共ニ研究セシケレバナラヌノアル、即チ此貿易ハ、即チ百億一万圓以上ニナツテ居マス、所ガ初メノ十三箇年ト云フモノハ七億二千万圓、ソレヨリ又後トノ十三箇年ハ十八億二千三百万圓、又此最近ノ十三箇年ト云フモノハ七十七億四千何百何万圓ト云フコトニナツテ居ル、即チ是ハ何人ガシタカト云フナラバ、免ニモ角ニモ此交通機關ト云フモノノ結果デアリマス、若モ此交通機關ガナカツナラバ、十二箇年ノ間ニ七億何千萬圓ト云フモノガ、後トノ十三箇年ニ於テ七十七億何千万圓ト云フ十倍ノ増加ヲ見ルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ日清戰爭ノ結果、又日露戰爭ノ結果、何人ガ斯ノ如キ光明ヲ我日本帝國ニ放ツタカト云フナラバ、即チ交通機關ノ完成ニ依ルト云フコトハ諸君ガ私ト御同意アルコト、信シマス、是ニ於テ細カナコトハ申シマセヌケレドモ、此南米航路ノ如キ既ニ此前ノ議會ニモ私が此處ニ之ヲ一言申サウト思タクガ時移ツタメニ申シマセンデシタガ、此南米ニハ私ハ三度參ツタ所謂太平洋ハ及バズナガラ七回渡ツテ居ル、餘程此南米ノ如キハ日本人ヲ歡迎スルコトハ天下第一ノ所デアリマス、故ニ此航路ヲ開キマシタナラバ、即チ日本帝國ヨリズット墨西哥ノテハナズテベックニ往ケルノアル、是カラ僅カ六七千里ノ所デ、私モ其所ヲ通ツコトガアリマスガ、此邊ニハ日本ノ殖民ヲ望ンデ居ルシ、ソレヨリマダ百里程參リマストサンバートト云フ港ガアズテ、此處ハ極本子爵が私費ヲ以テニ万圓ノ金ヲ出シテ五千町歩ノ地所ヲ買シテ、我日本ノ人民ヲ送テ居ル所デアリマス、又中央亞米利加バナマ或ハ祕露、智利ナドニ至ツテモ我日本帝國ガ此處ニ發展シテ益、帝國ノ國威ヲ宣揚スルノハ此南米アル、北米ハ既ニ遲イ所デアリマス、若モ諸君ガ三十年前ニ斯ノ如キ議論ガアツテ、北亞米利加ノ方モ宣カヌアラウガ此南亞米利加ノ方ヘ心ヲ注ギ、中央亞米利加ニ向ツテ吾々が發展シナケレバナラヌノデアツ、ソレハ即チ外務大臣ガ先達外交上ニ付テ述ベラレタ意ニ依シテモ略推測が出來ルノアル、ソレ等ノ點ヨリシテ此度南米航路ヲ開クト云フコトハ最モ國家ノ必要ナルモノデアル、此問題ニ付テ五箇年ヲ三年ニスルト云フ議論モアリマスガ、此墨西哥南亞米利加ヘ船ヲヤルニ二年ヤ三年五年ヲ試験ガ出來ルモノデハナイ、大事業ヲナスニハ大試験ガ要ル、大學校ニ入ラウト云フナラハ十何年ト云フ修業ヲシカレバナラヌト同ジデアル、勿論斯ノ如キ船、斯ノ如キ資本ヲ投ジテ五年三年ヲ試験ヲスルコトハ出來マセヌ、是ハ諸君ガ百聞一見ニ如カズ、其事實ヲ能ク御承知ナイカラノコトと思ヒマス、故ニ是ハ五年デハ足リナイケレドモ、即チ我政府ハ此事情ヲ察シテドウカ此位ニアツタナラバ試験が出來ルデアラウト云フノア、五年トシタノデアルカラ、之ハ原案ニ贊成セヌケレバ是非ナラヌノデアリマス、又南亞米利加、墨西哥地方ニハ獨逸カラ既ニ船ガ來テ、私が往ツテ見マシタトキニモ獨逸ノ船ガ墨西哥ヘ参リマシタガ、此船ハ桑港ヘモ八ノ日——八日、十八日、二十八日ト云フ風ニナツテ居リマス、即チ我日本帝國貿易ノ方法如何ニ依シテハ此七十七億万圓ノ金ヲ向フ十三箇年ノ間ニハズツト殖ヤシテ七百七十億万圓ニモシナケレバナラヌ、ソレヲ爲スト云フニハ即チ船アル、船ハ人ノ足

デアル、足ガカツナシバ歩クコトハ出來ナケレバ、金ヲ儲タルコトハ出来マセヌ、諸君即チ南米航路ノ如キハ最モ必要ナモノデアリマスカラ、原案ノ通り御賛成ヲ願ヒタイ、又其他ノ桑港ニシテモ「タコマ」ニシテモ、或ハズツト歐羅巴ニシマシテモ、是ハ原案ニ賛成シナケレバナラヌ、即チ郵船會社モ東洋汽船會社モ國家ノタメニ働イテ居ルノアル、又其外ニ細カナ處ヘ補助スルモノヲ廢シテ此四大線路ニ向ツテ保護ヲ與ヘルノハ帝國ノ國是デアリマシテ、政府ノ提案ハ決シテ無理デナイン、即チ道理ガアルト思フ、又反對ノ御方ノ御言葉ノ中ニ最高點ニ何ゼシタカト云フノアルカ、最高點ハ當リ前ノ話デアル、何ゼナレバ此航路補助案ハ僅カ五六日前ニ通過シタモノデアル、其時ニ政府ハ最高點ニスルノハ脇隨ニアツタ話デ、若モ之が十年二十年ヲ過ギテヤルト云フノデアルバ最高點ニ對シテ云ハル、コトニ私モ賛成ヲスル、明治四十二年ノ今日ニ於テ最高點ニスルト云フコトハ五六日前ニ通過サレタノアルカラ無論ノ話デアル、之ニ付テハ諸君ノ贊成アランコトヲ希望シテ益、日本帝國が盛ニナランコトヲ希望致シマス

(「採決ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス、特第一號即チ明治四十二年歲入歲出總豫算追加案及明治四十二年歲入歲出總豫算追加案、此二案ニ對シテハ修正ガアリマセヌカラ先ツ此二案ヨリ採決致シマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、此二案ハ委員長報告通り決定致シマス、追第一號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、此内ニ武田貞之助君ノ修正説ガアリマス、定規ノ賛成ガアルト認メマスカラ、此武田君ノ修正説ニ賛成諸君ハ起立

(起立者 少數)

○議長(長谷場純孝君) 少數、其他總ニ委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 委員長ノ報告ニ御異議ガナイト認メマスカラ、本案ハ委員長報告通り決定致シマス、此場合ニ御諮詢致シマス、今日貴族院ヨリ政府提出案ニ關スル法律案ヲ送附シテ議案ハ既ニ配付シマシタ皆デアリマス、貴族院ノ此送付案ニハ一二三箇條ノ修正ガアリマスか會期切迫ノ際アリマスカラシテ唯今委員會ニ付託スル手續ヲ取リタイト考ヘマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、該案ハ議長指名九名ノ委員ハ九名トシ其指名ハ議長ニ御任セニナツテハドウデゴザイマスカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、該案ハ議長指名九名ノ委員ハ付託スルコトニ決シマス、日程第五、民事訴訟法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長澤田寧君

第五 文一君外二名提出) 民事訴訟法中改正法律案(佐々木 第一讀會ノ續(委員長)

○澤田寧君 簡單デゴザイマスカラ此席ヨリ報告ヲ致シマス、民事訴訟法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、本案ハ宿題ニナシテ居リマシテ年々出ル案デゴ

ザイマス、ソレテ政府ノ意向ヲ確メマシタコロガ此案ハ年々政府ハ反對シテ來シテ居ル、今日ニ至リテ賛成スベキ理由ヲ見出サヌカラ遺憾ナガラ本案ニハ反對アル、斯ノ如キコトヲ年々歲々繰返スモ餘り智慧ノナイ話ニアラウト考ヘマシタカラ、政府ニ交渉フシマシテ

原案ヲ修正シタラ如何ニアラウト云フコトヲ申シマシタ所ガ修正サルレバ政府モ取テ反対

ハシナイト云フコトニアリマス、ソコテ委員會ニ於テ武田君ヨリ修正動議ガ出マシテ其修正動議ヲ以テ政府ニ同意ヲ求メタ、所ガ政府ハ修正案ニ付テハ敢テ反対ハシナイスウ云フコトニアリマス、其修正案ノ趣意ハ民事訴訟法ノ四百四十八條現行訴訟法ノ方ニ「前項ノ事件ノ差戻ヲ申立ニ因リ控訴裁判所ノ他ノ民事部ニ之ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フコトヲ挿入シマシテ、是が第二トナリマス、ソレカラ現行法ノ第二項が第三項ニ引下ガリマス、是ハ「事件ノ差戻又ハ移送ヲ受ケタル裁判所ハ口頭辯論ニ基キ裁判ヲ爲スコトヲ要ス但前項ノ場合ニ於テハ破毀セラレタル判決ニ干與シタル判事ハ其裁判ニ參與スルコトヲ得ス」斯ウ云フ但書ヲ加ヘマシタ、ソレテ是ハ提出者ノ意見ハ元ノ裁判所ニ差戻セバ人間ノ弱點トシテ先キノ意見ヲ主張スルヤウナ傾ガ常ニアルカラ、元ノ裁判所ニ差戻シテハ折角破毀シタモノガ何ノ效キナ、ソレ故ニ二部以上アルトコロノ裁判所カラ他ノ裁判所ニ差戻ス、斯ウ云フコトニナレバ政府方常ニ唱フルトコロノ少シバカリノ事件ヲ澤山入費ヲ掛ケテ結局當事者ノ迷惑ニナルヤウナコトモナクナリマス、ソレカラ但書ニ於テ破毀セラレタル判決ニ干與シタル判事ハ新ナル裁判ニ干與スルコトガ出來ナクナルト他ニ移シタ場合ニ先キノ判事ヲ以テ補充スルコトガ出來ナイ、サウスルト結局本案ヲ提出シタコロノ意見ヲ貫徹スルコトニナラウト考ヘマス、但函館裁判所ハ——

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 本案ノ第一讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ採決致シマス

○恵松隆慶君 直チニ一讀會ヲ開キ而シテ讀會ヲ省略シテ委員長報告通決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 恵松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ〔異議ナシ異議ナシト聲起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、直チニ一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

民事訴訟法中改正法律案

〔委員長報告通リト呼フ者アリ〕

第二讀會、確定議

○議長(長谷場純孝君) 二讀會ヲ省略シ、委員長報告通リ決定ト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シ、本案ハ是ニテ確定致シマシタ——日程第六、商業會議所法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——特別委員長菊池侃二君

第六 商業會議所法中改正法律案(荻野 第一讀會ノ續(委員長)

(菊池侃二君登壇)

芳藏君外二名提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

○菊池侃二君 委員會ハ本案ヲ可決致シマシタ、本案ハ僅ニ四字ノ削除ニ關スル改正案ニアリマスルケレドモ、是ガ商業會議所ナルモノ、運用ニ大ナル關係ヲ有スルガ故ニ、委員會ヲ開クコト總テ五回、其間ニ此特別委員長ヲ設ケテ特ニ調査ヲ嘱託ヲ致シタコトモアリマシタ、其結果十九日ノ委員會於テ決議ヲ採リマシタルトコロガ、可否各半バシタノテアリマス——可六名、否六名、故ニ委員長ガ可トスル方ニ加擔致シテ、遂ニ之ヲ可決スルニ至ツタノテアリマス、茲ニ可否ノ要領ダケラ陳述ヲ致シマシテ其他ハ雙方ノ御討論ニ任スコトニ致シテアリマス此議案ニ對シテ否トスル論者ハ本案ハ商業會議所第三十三條中ニ「經費又ハ」トアル文字ヲ削ラント請求スルナレドモ、此二十三條ニハ經費ヲ滯ントキニハ國稅滞納處分法ヲ以テ之ヲ徵收スルコトニナシテ居ルノテアリマス、然ルニテ削シテ以テ國稅滞納處分ヲ以テ徵收スルコトガ出來ナイヤウニナルナラバ、是ハ商業會議所ナルモノ、事業ノ遂行ヲ妨ゲルモノデアル、且此形體ヲ存セシメテ血脉ヲ絶ツモノデアル、法律ガ商業會議所ノ生存ヲ認ムル限りハ是非共此商業會議所ノ經費ハ現行法ノ如ク之ヲ滯ヌ者ノアルトキハ國稅滞納處分ニ依テ處分セザレヲ得スト云フニアリマス、又原案ヲ可トスルトコロノ諸君ノ論旨ハ、元來商業會議所ナルモノ、性質ハ内外商業ニ關シテ利害得失ヲ審議シ其盛衰因果ヲ視察シ、以テ或ル場合ニハ官民ノ諸問ニ應シ、或ル場合ニハ商人ニ指導ヲ與ヘ以テ商業界ノ發展ヲ期スル重大ナル任務ヲ持テ居ルモノデアル、然ルニ現在商業會議所ノ有様ヲ見ルニ其行動ハ兎角今前ニ述ブル如ク商業會議所ナルモノ、性質ニ適合セズ、言葉ヲ換ヘテ見レバ其效力ハ逆モ此商業界ニ指導者トナリ誘導者トナリ、サウシテ發展ノ重任ヲ負フダケン効果が出来ナイ、殊ニ或ル場合ニハ往々軌道ヲ逸スル運動ヲ爲スコトガアル、偕此商業會議所ナルモノ、經費ハ如何ナルモノニ使用スルカト云フコトヲ見ルニ、決シテ彼ノ國稅ノ如ク之ヲ取シテ以テ國家ノ經營ニ使用スル類ニアラズシテ、此經費ハソレ等ノ外ノモノニ使用セラレルコトガアル、國家ノ經營ニ供セラレル費用ナラバ之ヲ滯タルトキニハ彼ノ國稅滞納處分ヲ以テ——公力ヲ以テ取立シテモ宜シイノテアリマスガ、此商業會議所ノ如キ費用即チ得タル國稅ヲ以テ國家ヲ經營スル類ノ如キ費用ニアラザルモノニ對シテ國稅滞納處分法ヲ實行スルト云フコトハ如何ニモ殘酷デアル、此事ニ付テ政府委員ノ答辯ニ依リマズルモ、國稅滞納處分法ハ事實ニ於テ往々用井テ居ルノテアリマス、明治四十年度頃デゴザイマスカラ小樽ノ商業會議所ニ於テハ二百八十圓滞納ガアツテ其人員が七十二名ノ

多キニ至ッタ高岡商業會議所ハ百八十一圓滞納ガアツテ其人員ハ分ナナイ、ソレカラ廣島ノ商業會議所ニ於テモ滞納處分ヲヤツタコトガアル、其他ノ商業會議所ニ於テモヤツタコトガアルが、ソレハ詳細ニ答ヘラレヌト云フノガ、政府委員ノ答アリマシタ、斯ウ云フ譯デアルガ故ニ、此原案ヲ可トスル論者ハ此場合原案ノ通り「經費又ハ」ト云フ文字ヲ削ヅテ、商業會議所ノ經費ヲ國稅同様ニ取ルト云フコトハ全ク廢メサセタイト云フ意味デアリマス、勿論之ヲ削除スルトテ商業會議所ノ事業ノ遂行ヲ妨ケ、其運命ヲ絶ツト云フノデハナイノアリマス、商業會議所ハ從來ノ通り現在ノ商業會議所規則第三條ニ依テ商業會議所ノ議員ヲ選舉スルモノヨリ商業會議所ノ經費ヲ徵收スルコトヲ得ルト云フコトニナクテ居ルノデアリマスカラシテ、其方法ニ依テ徵收スルモノ御隨意デアル、又ハ其他ノ方法ヲ以テ會費ヲ取ルモ隨意デル、唯國稅同様ニ恐シギ嚴シキ國稅處分ヲ以テスルト云フコトハイケナイト云フ趣意デアタノアリマス、之ハ雙方ノ論旨アリマス而シテ政府委員ハ例ノ通此議論ニハ——此原案ニハ反對デアルト云フコトヲ明言ヲ致サレタノアリマス、報告スルコト此ノ如キデアリマス

○議長（長谷場純孝君） 少數意見、ト部喜太郎君

（ト部喜太郎君登壇）

○ト部喜太郎君 唯今菊池委員長ヨリ委員會ノ經過ニ付テ簡單ニ明瞭ニ御報告ガアタノデゴザイマス、委員會ノ經過ハ誠ニ菊池委員長ノ御言葉ノ通アリマスル、私共ハ此報告ノ中ノ所謂少數意見者アリマス、茲ニヤハリ簡單ニ少數意見ノ存スルトコロヲ述べヤウト思ヒマスル、本案ハ商業會議所法第三十三條ヲ改正致シマシテ經費ノ強制處分ヲ廢止セントスルトニロノ素アリマスル、之ハ言葉ヲ換ヘテ申シマスルト商業會議所ト云フ法人ノ糧道ヲ絶ツト云フ案アリマスル、商業會議所ト云フモノハ現行ノ法律ニ於テハ一ノ公證人アッテ、國家ノ行政機關ヲ補助スルトコロノ大切ナルモノデアル、國家ノタメ或ハ商工業ノタメニハ誠ニ必要ノアルモノデアルカラシテ益、其健全ナル發達ヲ望ムノアルケレドモ、併ナガラ此ノ法人ニハ食物ヲ供給スルト云フコトハ一切相成ラヌノアル、商業會議所ト云フ法人ノ此日本ノ商工業社會ノタメニハ必要デアルト云フコトハ認メルケレドモ、併ナガラ食物ハ一切相成ラヌ、人間ノ生存ハ認メルケレドモ、又其人間ノ益、健全ニ發達スルト云フコトハ國家ノタメ或ハ社會ノタメニハ最モ必要デアルケレドモ、併シ食物ハヤラナイゾト云フ案アリマスル、（ノウ）（ヒヤ）（ノ聲交）起ル）若シ商業會議所ナル法人ガ日本ノ國家ノタメ或ハ商工業ノ發展ノタメニ必要ナリトスルノアルケレバ、益々之ヲ獎勵シテ其經費等ニ付テモ十分ノ便益ヲ與ヘルト云フノガ當然デアリマスル、併ナガラ若シ斯様ナモノガ社會ニ生存ラスルト云フコトガ必要デナイ上云フナラバ、何故一刀兩斷ニ御殺シニナラナイゾアリマスル、活カシテ置クナラ十分ニ營養ヲ與ヘテサウシテ益、健全ナル發達ヲ圖ルト云フノガ當然デアリマスル、若シ活カシテ置ク必要ガナイト云フノアルナラバ、何故ニ諸君ハ諸君ノ持シテ居ラル、多數ノ力ヲ以テ斷然之ヲ御殺シニナラナイゾアリマスル、諸君ハ其生存ヲ認メ、之ガ商工業社會ノタメ最モ必要デアルト云フコトヲ認メナガラ、其糧道ヲ絶タンツルノハ矛盾モ亦甚シト云ハナケレバナラスト私ハ思フノデゴザイマスル、斯様ニ申シマスレバ即チ本案ハ可決スベキモノアリ否決スベキモノアリアルト云フコトヲ言葉短カニ言規ハシタルモノト思ヒマスルケレドモ、尙一步進メシテアス本案ノ提案者ハ現行ノ既ニ行ハレテ居ル法律ヲ改正セントスルノアリマスカラシテ、其改正セントスル理由ト云フモノガ相當デアリマスルナラバ、本案ヲ可決シ、若シ相當デナインラバ本案ヲ否決スルト云フノガ順序ニナリマスカラ本案ノ提案者が本案ヲ提出シタ理由トシテ列舉シタルモノ片端カラ粉鑿シテ行ツタラバ先日

ノ吉植君ノ論説ノ如ク立ドコロニ否決ニナルコトデアルト私ハ思フ、第一ニ本案提案者ノ理由ヲ伺ヒマスルト、商業會議所ト云フモノが兔角軌道ヲ外レテ聯合會ナドヲ開イテ政治上ノ運動ヲスル、政治上ノ運動トマテハ明言致シマセヌ、政治的類似ノ運動ヲスルノデアルカラ甚ダ怪シカラヌノアル、斯ウ云フ名論アリマスル、併ナガラ諸君、現行ノ此商業會議所法ト云フモノヲ御一讀ヲ願ヒマシタナラバ、商業會議所ト云フモノハ其目的ニ達スルタメニ如何ナル範圍マテ行動ヲ許サレテアルト云フコトハ實ニ立ドコロニ明カニナルノアリマスル、商業會議所法第七條第一項ヲ御覽ラ願ヒタイ、其他國家ヨリ重大ナル任務ヲ託セラル、トコロノ公ケノ法人デアルト云フ事柄ハ商業會議所法ノ全體ヲ通覽ニナリマシタナラバ明カニ分ルコトアッテ、一々申シマセヌ、此第七條ノ第二ニ商工業ニ關スル法規ノ制定改廢施行ニ關シ意見ヲ行政廳ニ開申シ及商工業ノ利害ニ關スル意見ヲ表示スル事ト云フ立派ナ權限ト云フモノヲ許サレテ居ルノアリマスル、此權限ヲ法律ノ要求致シマスル通りニ充シテ行クト云フノデアルナラバ國家ノ財政整理ノ上ニ於テモ、又稅制ノ改廢ノ上ニ於テモ、商工業ニ苟モ影響スルトコロノ事項ニ關シマシテハ、或ハ政府ニ建議シ、或ハ又貴衆兩院ト云フモノニ其意見ヲ上申スル如キ行動ヲ執ルト云フ事柄ハ、法律ノ要求シテ居ルトコロノ事項ヲ充タスクケノ違法ナル行動ト言ハナケレバナラヌノアリマスル（拍手起）然ルニ誠ニ此神經過敏ト申サウカ、何ト申サウカ、商業會議所ガ聯合會ヲ開イテ稅制ノ整理ノコトヤラ、或ハ改廢等ノコトニ付テ相談ラスルト云フト、アレが政治的類似行動アル、流石ニ能ク法集ラ御讀ミニナツテマスカラシテ、政治運動ラナストハ斷言ラナサレナイノアル、政治的類似ノ行動ラナスト云フ暖昧ノ言葉ヲ以テ法律ノ明文デ許サレタトコロノ最モ適法ナル行為ニ向シテ批難ヲ加ヘルト云フコトハ甚ダ私ハ不適當ノ言ヒ前テアルト信ズルノアリマス、（拍手スル者アリ）能ク外國ノ例ヲ御引キナリマスガ英吉利アリノ例ヲ御承知ノ方ハ英吉利アリテマスカラシテ、政治運動ラナストハ斷言ラナサレナイノアル、政治的類似ノ行動ラナスト云フ暖昧ノ言葉ヲ以テ法律ノ明文デ許サレタトコロノ最モ適法ナル行為ニ向シテ、其意見ヲ到達スルタメニ運動ラシテ居ルト云フ事柄ハ外國人事例ニ明ルイ諸君ト云フモノハ能ク御承知ノコトグラウト思フノアリス、苟モ商業會議所ト云フモノヲ設ケテサウシテ此國家ノ行政ヲ助ケルトコノ公ケノ法人ト致シテ居ル以上ト云フモノハ其權限ニ於テモハ稅制上ノ問題ニ付テ十分ニ討議ヲ凝ラシテ、或ハ政府ニ建議シ或議會ニ向シテ、其意見ヲ到達スルタメニ運動ラシテ居ルト云フ事柄ハ外國人事例ニ明ルイ諸君ト云フモノハ能ク御承知ノコトグラウト思フノアリス、苟モ商業會議所ト云フモノヲ設ケテサウシテ此亦大ナル範圍ニ之ヲ許シテ置カナケレバナラヌノアリマシテ、現行ノ商業會議所法ニイロ／＼ノ此權限が與ヘラレテ居リマスノハ其理由ニ基イタモノアルト思フノアリマス、ソレ故ニ全國商業會議所ガ聯合會杯ヲ開イテ政治的類似ノ行動ヲ爲シ、其軌道ヲ逸スルノデアルカラ甚ダ宜シクナイト云フヤウナ議論ト云フモノハ、商業會議所ノ經費ヲ徵收スル方法ヲ改正スルノ理由ニハ少シモナラヌノアリマス、ソレノミナラス若シ商業會議所ト云フモノガ其軌道ヲ逸シテ法律ヲ許シタコロノ範圍ヲ脱シテ行動ガアリマスルナラバ、之ヲ監督スル機關ハ立派ニ備ツテ居ルノアリマス、即チ現行ノ法律ニ於テ農商務大臣ト云フモノハ此商業會議所ヲ監督スルトコロノ權利ヲ有シテ居ルテアリマス、然レハナケレバナラスト私ハ思フノデゴザイマス、斯様ニ申シマスレバ即チ本案ハ可決スベキモノアリ否決スベキモノアリアルト云フコトヲ言葉短カニ言規ハシタルモノト思ヒマスルケレドモ、尙一步進メシテアス本案ノ提案者ハ現行ノ既ニ行ハレテ居ル法律ヲ改正セントスルノアリマスカラシテ、其改正セントスル理由ト云フモノガ相當デアリマスルナラバ、本案ヲ可決シ、若シ相當デナインラバ本案ヲ否決スルト云フノガ順序ニナリマスカラ本員ハ確信ヲ致シマスル、ソレカラ其次ニハ斯ウ云フコトヲ申シマス、元來此商業會議所ナドノ

経費ヲ徵收スルニ付テ、國稅滯納處分ト云フヤウナ嚴重ノ法律ヲ設ケテ居ルト云フコトハ、外國ニモ例ガナキノミナラズ内國ニモ商業會議所ニ限リアルノデアツテ、他ニ餘リ例ガナイデアルト云フ論ヲ第二ノ理由ニセラレタコトヲ委員會等テ記憶シテ居ルノデアリマス、然レドモ是ハ此委員會ニ於テモ政府委員ノ調查ノ結果報告ニナフタコロニ依リマスルト、歐羅巴各國テハ大概此ヤハリ國稅滯納處分ニ依テ強制ノ徵收方法ヲ取シテ居ルト云フ事柄ハ争ノベカラザル事實テアリマス、ノミナラズ外國ノコトハ姑ク措キマシテ、日本ノ現行ノ法律ハドウナラテ居ルテアリマセウ、或ハ水利組合法ト云ヒ或ハ河川法ト云ヒ或ハ砂防法ト云ヒ、又ツイ五六日前本會ノ議場ニ於テ諸君が演場一致ヲ以テ議決ニナリマシタコトヨロノ耕地整理組合ノ經費ニ付テハドウ云フ規定ヲ諸君ハナサレタノニアリマセウ、耕地整理組合ヘヤハリ商業會議所ト同様ノ法人テアリマス——公法人ニアリマスカ、此法人ノ經費ハヤハリ商業會議所ノ經費ヲ徵收スルノト同様ノ方法ア、即チ國稅滯納處分ニ依ルト云フコトヲ明ニ規定シテ可決シタト云フ事柄ハ諸君ノ御記憶ニナゾテ居ル事柄テハアリマセヌカ、(ヒヤ)(ヒヤ)外國ニ例ガナイトカ或ハ日本ニ他ノ法律ニ例ガナイト云フヤウナ事柄ハ私ガ唯今申上グマシタ理由ニ依シテ明カリニナゾタコト、思ヒマス、ツレカラ其次ニハ一體此國稅滯納處分ニ依ルト云フヤウナ嚴重ナル方法ニ依シテヤル必要ハナイト云フノアリマスルガ、國家ノ租稅デナヘモ強制ノ方法ガアツテモ尙且納メナイモノ、アル今日デアリマス、ツレ故ニ若モ經費ト云フモノハ此選舉權ヲ有ツテ居ルトコロノモノ、負擔トスルト云フ條文ガアリマシテモ、之ニ對スル相當ノ制裁ガナカツタナレバ、金ヲ出スノハ誰デモヤデアリマスカ、彼モ此モ皆經費ヲ出スコトヲ拒シダト云フ場合ニ如何ナル方法ヲ以テ此商業會議所ト云フモノ維持シテ往カウト云ノアリマセウカ、此委員會ニ於テノ或ル方ノ議論ニ依リマスト、ツレハ斯ウ云フ法ガアルテハナイカ、第三十四條ノ規定ガアルテハナイカ、第三十四條ニ依シテ若モ經費ヲ滯納シタヤウナ場合ニハ、商業會議所ノ決議ヲ以テ四年以内選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトが出來ルト云フ條文ガアルカラ、是テ宣意テハナイカト云フ論ヲナセレタ方がアル、所ガ是ナヘイケナリノアル、何ゼイケナイカト云ヒマスレバ、此三十四條ノ規定ト云フモノハ滯納處分ヲ受ケシ場合ニハ其決議ヲ以テト云フコトアルノニ滯納處分ト云フモノ、條文ト云フモノヲ本案ノ提出者ノ意見ノ如ク削シテシマヒマスルト、三十四條モ一樣ニ削ラレテシマフノデアリマス、商業會議所法ヲ提案者ノ如ク改正スルト云フノアリマスルナレバ、第三十二條ノ結果ヲ示シタコロノ第二十四條ノ條文ト云フモノモ御訂正ニナラナイト云フト、此法律ハ片輪ノ法律ニナラヌ條文ヲ殘シテ置クコトニナルノデゴザイマス、元來諸君が改正ヲ企てントシテ居ルトコロノ現行ノ商業會議所法ト云フモノハドウ云フ經歷ヲ以テ出來タモノアラウカト云フコトヲ御讀ベニナツタ諸君デアルナラバ、本案ノ如キ案ヲ御提出ニナルト云フコトハ私ハナカタラウト思フ、其經過ニ付キマシテ私モ調査致シマンメトコロヲ申上ダテ、本案ト云フモノハドウシテモ否決シナケレバナラヌモノデアルト云フ理由ヲ更ニ明カニシタイト思フノアリマス(簡単「謹聽ト呼フ者アリ)我邦デ此商業會議所ノ出來マシタ由來ハ丁度明治十年ノ頃アリマスル、明治十年其當時ハ内務太政官ノ布告——明治十六年三至テソレガタニ太政官ノ布告ガシテ、其布告ニ基イテ東京商法會議所ト云フモノガ東京商工會ト云フモノニ變遷シテ來タノアリマス、ツレカラ其後ニ時ノ農商務省ニ於テモ各地ノ商工會等ヲ段々巡視ラシテサウシテ研究ニ研

(二七)

究ヲ重ネタル結果、トウシテモドウモ此會員組織アハイケナイノデアル、自治制ニ任セント云フ事柄ハドウシテモ其目的ヲ達スルニ十分ニアイト云フトコロカラ明治二十三年ニ至ッテ始メテ商業會議所條例ト云フモノヲ發布致シマシテ、此時ニ初メテ公法人デアルト云フ資格ヲ認メタノアリマスル、此商業會議所條例ニ依シテ段々實行シテ參リマシタコロガ、赤ダ是アモ日本ノ商工業ノ進歩發達ヲ圖ル上ニ於テハ十分デナイト云フコトヲ其筋ニナゾテ現行商業會議所法ト云フモノヲ發布シタト云フ順序ニナゾテ居リマス、此順序ハ今少シク巨細ノコトマテ調べテ居リマスケレドモ、其事ハ略シテ置キマス、ソコテ明治二十一年ノ二月ニナゾテ初メテ現行法ノ出來タト云フ重ナル理由ハ何デアルカト云フナラバ、商業會議所ヲ維持スルトコロノ經濟徵收ノ方法ト云フノガ最モ重ナル理由ノ一ツニナツテ居ルノアリマス、何分ニモ明治十年以來商工業發達ノタメニイロノ制度ヲ設ケテ居ルケレドモ、之ヲ維持ストコロノ經濟徵收ノ方法ト云フモノガ十分デナイガタメニ、折角設ケタ法令ト云フモノモ其目的ヲ遂ゲルコトが困難デアルト云フコトヲ感シテ、遂ニ明治三十五年ニ至シテ現行ノ法律が出來タト云フ經過ニナゾテ居ルノアリマスル、サウ致シスルト現行ノ法律ト云フモノ、發布ニナゾタ第一ノ主眼ハ經濟徵收ニ付テハ國稅滯納處分ニ依ルト云フノガ第一ノ主眼アツテ、明治三十五年ノ七月以來殆ド七年ノ間現行ノ法律ニ依シテ全國ノ商業會議所ヲ支配シ來タノアリマスケレドモ、其支配シテ居ルノアリマス、何分ニモ明治二十年以來殆ド七年間モ實行サレタ法律ヲ改正セントスルノアルヲ、其改正ノ理由トシテ經濟徵收ノ方法が惡イ、惡イタニメニ如何様ナル一體弊害ガ起シタノアラウカ、其點ヲ十分ニ列舉シテ戴キタイト云フコトヲ質問シタノアリマスルケレドモ、此席ニ居ラル、デアリマセウガ、提出者ハ明カリ此點ニ答ヘルコトが出來ナイテ、相變ラズ政治的運動ラスルカライケナイト云フヤウナ、全ク問ニ對シテ答ニナラヌヤウナ答ラシテ其場ノ責ヲ塞グト云フヤウナ有様デアタマ(拍手起ル)先刻菊池委員長ヨリモ御話ガアリマシタ通り總テ此第二十三條ニシテ戴キタイト云フコトヲ質問シタノアリマスルケレドモ、此席ニ居ラル、デアリマセウガ、提出者ハ明カリ此點ニ答ヘルコトが出來ナイテ、相變ラズ政治的運動ラスルカライケナイト云フヤウナ、全ク問ニ對シテ答ニナラヌヤウナ答ラシテ其場ノ責ヲ塞グト云フヤウナ有様デアタマ(拍手起ル)先刻菊池委員長ヨリモ御話ガアリマシタ通り總テ此第二十三條ニシテ戴キタイト云フコトヲ質問シタノアリマスルケレドモ、此席ニ居ラル、デアリマセウガ、此二箇所ニ於テ誠ニ僅ノ金額ニ付テ國稅滯納處分ラシタト云フコトニ過ギナイノデアナガラ此全國ノ五十何箇所ノ商業會議所ニ於テ、ソレナラバ一年間ニ滯納處分ヲシタト云フヤウナ實際ノ例ガアラウカドウカト云フコトノ質問ニ對シマシテハ、委員會ニ出席致シマシタコロノ政府委員ノ答ニ依リマスルト僅ニ小樽ト高岡ト廣島ト明治四十年ニハ此二箇所ニ於テ誠ニ僅ノ金額ニ付テ國稅滯納處分ラシタト云フコトニ過ギナイノデアハ、且此國稅滯納處分ニ付テモ別段ニ斯様ナ經費ヲ負擔スル者ノ側ヨリ非難ノアツタト云フコトヲ開カナイノアリマスル、斯様ニ僅ノ滯納處分ニ依シテ滿足ニ經費ノ徵收ガ出来ルト云フノハ抑、第三十二條ノ法律ト云フモノガ嚴然トアリマスルカラシテ、満足ニ經費ノ徵收ガ出來ルノアリマスル、諸君ガ三十三條ノ「經費又ハ」ト云フ文字ヲ呼フ、「恆松君妨害スル承知セヌゾ」「謹聽々々」議事規則ヲチット調べルが宜イト呼ブ者アリツレノミナラズ商業會議所ト云フモノ公法人ト認メテ居リマスル理由ニ付テ、尙諸君ノ一考ヲ煩ハシタイノアリマスル、恆松隆慶君少數意見ハ少數意見トスレバ宜イト呼ブ、「恆松君妨害スル承知セヌゾ」「謹聽々々」議事規則ヲチット調べルが宜イト呼ブ者アリツレノミナラズ商業會議所ト云フモノ自滅ヲ來スト云フヤウナ案ヲ提スルニ至シタト云フモノハ、未ダ諸君が商業會議所ト云フモノニ效能ト云フモノ十分ニ御知リニナラナイカラデアラウト思フ、(ノウ)(ノウ)ヤルベシト呼ブ者アリ)商業會議所ハ商工業ニ關スルトコロノ事務ヲ

管理シテ居リマスル農商務省ノ補助機關アリテ、日本全國ノ商工業ノ發展ニ向シテ常ニ多大ノ效果ヲ致シテ居ルト云フ事柄ハ争フカラザルコトデアル、ノミナラズ今日ハ單ニ對内關係テアリマセヌ、(「ナイト」云フノガ事實デアル)「モウ分リマシタ」ト呼フ者アリ外國トノ關係ヲ諸君ハ御忘レニナシテ居ルノアリマスカ、商工業ニ付テ外國ノ或ハ商業會議所等ヨリ此商業上ノコトニ付テ、モウ始終絶ヘズイロ、(「ノウ」)ノ照會ガアルノデアリマスル、斯様ナ照會ニ向シテハ農商務省ト云フ役所官省デハ應答ノ出來ナイ事柄マデモ日本ノ商工業界ト云フモノヲ代表シテイロ、(「ノウ」)ノ應答ヲシテ居ルト云フ事柄ハ満場ノ諸君聊此商業會議所ノ内容ヲ御知リニナシテ居ル方ハ御承知ノコトデアラウト思フ、(拍手起ル)例ヘバ日米間ノ貿易ニ付テモ、通商貿易上ノコトニ付キマシテモ、亞米利加ノ實業家ヲ招待シテ、サウシテモ此兩國ノ貿易ニ大ニ益スルトコロガアルト云フヤウナコトヲスルノハ誰ガスルノデアリマセウカ、農商務省取テ之ニ與ラズ、日本ノ政府敢テ之ニ與ラナイノデアッテ、商業會議所ガ卒先シテ斯様ナ役目ニ當ツテ居ルノハアリマセヌカ、(拍手起ル)外國ノ重ナル實業家ガ日本ニ商業視察ヲシニ來タ場合ニ、第一ニ對手ニナシテ日本ノ商工業者ヲ代表シテ此人ニ應接スルノハ誰が當ツテ居ルノデアリマセウカ、悉ク商業會議所ト云フモノガニ當ツテ居ルノアリマス、(「少數意見」)是ガ少數意見デス(「反對意見」)ト呼フ者アリ)妨害スレハ何時マデモ(「妨害デハナリ注意スルノダ」)ト呼フ者アリ)惡ルイ癖ヲ止メ給ヘ、惡ルイ癖ヲ止メテ此演壇ニ立ッタ以上ハ互ニ其意見ヲ十分述

ベルト云フノガ吾々ノ責任デハナイカ、(「意見デヤナイ」)「議長注意ナサイ」「少數意見」報告ヲセヨ(「ト呼フ者アリ」)少數意見ノ報告ヲシテ居ルノアリマス(「反對意見」)反對意見ハ反對意見ニ別ニスルガ宜イ(「ト呼フ者アリ」)大體本案ノ提出ノ理由ト云フモノハ私ガ最初ニ本案提出ノ理由トシテ述ベマシタル點ニ向シテ反駁ヲ加ヘタ事柄ニ依シテ、明瞭ニナシタ存ジマスルガ故ニ、諸君ガ(「分ツタ」)ト呼フ者アリ)詳シイ辯論ヲ御聽ニナリノガイヤナラバ、強テ長イコトハ申シマセヌ、申シマセウガ、諸君ガ此商業會議所法ト云フモノヲ十分ニ御研究ニナリマシタナラバ、斯ノ如キ提案案ト云フモノハ到底出來ナリノデアッテ更ニ一步ヲ進メテ今少シ現在ノ商業會議所ト云フモノヲ保護スル案ヲ提出スルコソ眞ニ國家ノタメニ利益ヲ圖ル者ノ行動デアルノデゴザイマス、(拍手起ル)諸君ガ若シ現在ノ商業會議所ト云フモノガ十分ノ効ヲナシテ居ラヌト云フノデアルナラバ、シテ改良シ、之ヲ發達シ此發展ヲ圖ル途ニ於テ十分ニ御盡力アルノが當然デアル、(拍手起ル)般サンントシテ殺シモセズ、活サントシテ活シモセズ、斯様ナ卑劣千万ナ案ヲ提出スルト云フ事柄ハ、○議長(長谷場純孝君)六時三ナリマシタカラ、時間ヲ延バシマス

(「異議ナシ異議ナシ」)ト呼フ者アリ)

○ト部喜太郎君 ソレ故ニワイイ、(「騒がナイデ能ク御考ニナシ」)斯ウ云フヤウナ商業會議所改正法律案ト云フヤウナ、二字カ四字ヲ削ル、此法律案ニ向シテ、諸君が黨議ヲ以テ是ニ當ルト云フヤウナコトハ、私ハ世界各國ノ議會ニモ餘り例ノ無イコトデアルト云フコトヲ斷言シテ此壇ヲ降リマス(拍手起ル)

○大岡育造君 議場ノ整理ニ付テ一言申シテ置キタイ、(「ヒヤー」)吾々モ成ルベグ此議場ノ靜肅ナルコトヲ希望スルガタメニ、議論ヲ聽クコトニ於テ努メテ居ルノアリマスガ(「ノウ」)御靜ニナサイ、先刻二次會ニ於テ(「二讀會」)ト呼フ者アリ)總體論ヲ御許ニナシタト云フコトモ、甚ダ實際ニ於テ議事規則ヲ重ンズル方法デゴザイト思ヒマス(「ヒヤー」)即チ高山君ノ演説ノ全體ハ總體論デアッテ、決シ三條ノ末項ノ修正ニ關スル

(「議論デハナカシタノデアリマス、(「ヒヤー」)」)是モ一言致シテ置キマス、尙唯今ノモ之ヲ演説ノ妨害ト誤解サレヌヤウニト私ハ思フガタメニ一言申シテ置ク、少數意見ノ報告ト云フモノハ是ヲノ筋ト報告スベキモノデアッテ討論トハ違ハナケレバナラヌ(「ヒヤー」)之ヲ間違ヘテ現ニ演説ヲスル、辯論ヲスルト自分モ言ツテ居ル(「先例アリ」ト呼フ者アリ)其先例ハ宜シクナインデアル、議長ハ斯ル場合ニ於テハ相當ノ注意ヲ與シテ、成ルベクサウ云フコトノナイヤウニスレバ、吾々ハ多數アルケレドモ謹聽スルコトニ於テ決シテ客ナラヌモノデアリマス(「ヒヤー」)以後ノタメニ一言御注意申シテ置キマス

(「探決タキ」)ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 諸君ニ御詔リヲ致シマス、本院ノ規則及先例ニ依リマスト、委員長が報告ヲシタ後ニハ、反對ノ方カラ發言ヲ許スコトニナシテ居リマスケレドモ、今少數者ハ詳シク反對ノ意見ヲ御述ベニナシタノデ(「ヒヤー」)拍手起ル)アリマカスラ常例ニ違ヒニ對シテハ贊成ノ方カラ發言ヲ許シタイト思ヒマスガ、差支ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」)ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議アリマセヌカ

(「岩下清周君登壇」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、其通り計ラヒマス、岩下清周君(「拍手起ル」)

○岩下清周君 唯今最モ雄辯ナルトコロノト部君ガ、又最モ此實業ニ縁ノ遠イト部君ガ、此案ノ反對演説ヲナサイマシテ(「謹聽タキ」)最モ實業ニ關係ノ深イ私ガ是ニ贊成ヲ致スト云フコトハ、餘程オカシナ現象デアラウト思ヒマスガ(「ヒヤー」)ト部君ハ議論ヲナサルノデアル、道理ヲ御話ナサルノデアル、法律論テアル、(拍手起ル)私ノハ全ク事實談ヲ申上ゲルノデゴザイマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、私ハ長ク實業界ニ居リマシテ、今回此實業者ノ意思ヲ誠實ニ代表スベク商工業ノ都府ナル大阪市部カラ選出ヲサレマシテ、諸君ノ末席ヲ瀆ス者デゴザイマス、又自分ハ大阪商業會議所ノ特別會員ノ一人デゴザイマス、ワレ故ニ此商業會議所ノ大切ナルコト、之ヲ益・健全ニ發達セシムナクテハナラヌト云フコトニ於テハ、皆サンノ御講釋ヲ聽キマセヌモ私ハ能ク分シテ居ル積リテゴザイマス、(拍手起ル)又其事ヲ努メマスノニハ決シテ人後ニハ落子ナイノミナラズ前ニ申上ゲマス通りナ關係デゴザイマスカラ、私ハ商業會議所ノ改良進歩ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテ、責任アリ又義務アル者ダト思ヒマスカラ此案ニ贊成ヲ致スノデゴザイマス、(拍手起ル)甚ダ遺憾ナガラ、唯今ノ會議所ナルモノハ其名甚ダ美ニシテ實ハ是ニ副ハナイノデゴザイマス(「ヒヤー」)「ノウ」(「ノウ」)拍手起ル)ト部君ハ其名ニ惚レテ居ラシヤルノデアル、私ハ其實ヲ知ツテ居ルノデアル、(「ヒヤー」)ソレダケノ違ヒテアル(「ヒヤー」)今日ノ商業會議所ハ實ニ其名美デゴザイマスガ、事實ニ於テハ遺憾ナガラ無用ノ長物タルヲ免カレヌノデアリマス(「ノウ」)「ヒヤー」拍手起ル)是ハ無論地方ニ依リマシテハ多少ノ事實ハ異ナリマスルケレドモ、概シテ無用ノ長物視サレテ居ルノデゴザイマス(「無用ノ長物ニアラズ」)謹聽タキ(「ノウ」)ト呼フ者アリ)畢竟唯今ノ商業會議所法ナルモノガ外國ノ翻譯法デゴザイマシテ、日本ノ民情ニ適ハナイノデゴザイマス(「ノウ」)例ヘバ我善良ナル實業家ハ商業會議所定メタ如キ煩雜ナル選舉ナド、云フコトヲ嫌

民情ニ適シナイ法ダト思ヒマスカラ、私ノ素志ハ此商業會議所ヲ根柢カラ改正シタイト云フ考デ、多數諸君ノ御賛成ヲ得テ居リマス際ニ當ツテ、大政黨カラ此案ガ出マシタノアリマスカラ、私ハ此案其モノハ甚ダ諸君ニハ失禮デゴザイマスケレドモ、甚ダ姑息、モウ一ツ申セバ皮内恰モ意地ノ惡ルイ姑サンガ御嫁サンヲ苦メルが如キ感覺ガゴザイマスケレドモ(笑聲拍手起ル)併ナガラ是ハ商業會議所ニ對スル信任案ノ一ト斯ウ心得マシテ是ヲ贊成ヲ致シテ、果シテ此商業會議所が改善ノ實ヲ舉ケマスカ何カヲ傍観シヤウト考ヘルノデゴザイマス、是ハ即チ私が大政黨ニ敬意ヲ拂ツテ此案ニ不満足ナガラ贊成ヲ致ス次第デゴザイマス(拍手起ル)ソレカラ例ヘ昨日モ委員會ア種タノ御議論ヲ同ヒマシタガ、甚ダ遺憾ノコトニヘ皆商業會議所會頭トカ若クハ副會頭トカ云フ其資格デ御話ガアッタノデハゴザイマセヌガ、サウ云フ肩書ヲ持テ居ル御方々カラ反對ノ御說ヲ聞キマシタノアリマスカラ、是ニ對シテ私ハ辯駁ヲスル必要ハナカラウト思ヒマスガ、唯今ト部君ノ御話ノ日本ノ國交ノ困難ニ際シテ米國人ヲ呼ンダ、是ヲ商業會議所ノ效能ニ歸シテ居ラッヤルヤウデゴザイマスガ、吾々カラ見レバ此事柄ナドハ商業會議所ノ不信用ヲ益々來シタツニナツテ居ルノデゴザイマス(「ノウ」拍手起ル)諸君、商業會議所ハ如何ナル事ヲシタカト云フト、其商業會議所ニハ唯案内状ヲ發シタダケノコトデゴザイマス(「ヒヤ」)人ノ午勞ア法事ヲシタダケゴザイマス(「ヒヤ」)若シ左様ナコトが效能アルト申ヌラバ、私ハ諸君ニ今晚モ明晚モ幾ラモ御馳走ラスル、案内状サヘ出シテ人ガ金ヲ拂ナテ吳レルナラバ、大變廉イ譯アル(拍手起ル)ソコテ東京ノ吾々同志ノ中テモ商業會議所ガドウモ無謀ナ事ヲヤツタ、併ナガラ是ハ國際ニ關係スルコトアルカラ、ウツチャツテ置クコトハイカナイト云フノデ、富豪初メ一同一生懸命ニナツテ此御客様ヲ待遇致シタノデゴザイマス、大阪ニ於テモ亦然リ、皆不平アリマシタガ是ハ外國ニ關係シマスルコトデゴザイマスカラ、金モ出シ、人モ出シ、十分ニ待遇致シマシタノデゴザイマス、若シ商業會議所ニ一任致シテ置キマシタナラバ國交ハ益々惡ルクナツテ、或ハ軍ニナツテ居ツタカモ知レナインゴザイマス(「ヒヤ」)ソレドウゾ私モト部君ノ御說ヲ聽イテ表ノ方モ見マスガ、ト部君モドウソ裏側ヲ御覽ニナツテ吾ミノ唯今ノ案ニ御賛成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

(討論終結ノ聲起ル)
(簡單ト呼フ者アリ)

○綾部惣兵衛君 私ハ簡單ト云フ御注文ガナクトモ簡単ニスル、自分モ感胃デ音ヲ痛メ居ルシ、殊ニ唯今ト部喜太郎君が少數意見ヲ報告スルトキニ十分演説ナツタカラ相成ルベク簡単ニヤル、私ガ此壇上ニ立ツテ唯今大阪ノ實業家ニシテ最モ商業會議所ノコトニ精通スルト稱スルトコロノ岩下君ノ演説ヲ聽キマシテ、私ハ茲ニ一言岩下君ノ演説ニ對シテ反対ヲ試ミナケレバナラス、岩下君ハ商業會議所ハ無用ノ長物デアル、唯トス様ニ斷言ヲセラレタ、何故ニ商業會議所ハ無用ノ長物デアルか、商業會議所ハ今日ノ日本ニ於テ活動シテ居ルコトハ岩下君モ御承知テナケレバナラヌノデアル、(妄動ナリ活動ニアラズ)ト呼フ者アリ)今日ノ商業會議所ヲ無用ノ長物ト非難スル岩下君ノ理由ハ何ニ依シテ無用ノ長物デアルカ、私ハ岩下君ノ理由ニ於テ少シモ分ラナイノデアル、唯米國實業團體ノ歡迎ノ事ニ付テノミ效能ヲ述ヘ立テルノデナリ、既ニ諸君モ御承知デアリマセウガ、彼ノ倫敦ノ商業會議所ノ如キハ一箇年ニ殆ド一千件ノ通信ガアルト云フ

コトデアリマス、我日本ノ此東京ノ商業會議所ニ於キマシテモ一箇年ニ一千件位ノ通信ハ始終アルト云フコトヲ諸君が就テ御調べニナレバ能ク分ル、而シテ此東京商業會議所ニ對シテハ外國ノ公使館及領事等ヨリ諸種ノ通信報告等モ始終來テ居ツテ、常ニ次第デゴザイマス(拍手起ル)ソレカラ例ヘ昨日モ委員會ア種タノ御議論ヲ同ヒマシタガ、甚ダ遺憾ノコトニヘ皆商業會議所會頭トカ若クハ副會頭トカ云フ其資格デ御話ガアッタノデハゴザイマセヌガ、サウ云フ肩書ヲ持テ居ル御方々カラ反對ノ御說ヲ聞キマシタノアリマスカラ、是ニ對シテ私ハ辯駁ヲスル必要ハナカラウト思ヒマスガ、唯今ト部君ノ御話ノ日本ノ國交ノ困難ニ際シテ米國人ヲ呼ンダ、是ヲ商業會議所ノ效能ニ歸シテ居ラッヤルヤウデゴザイマスガ、吾々カラ見レバ此事柄ナドハ商業會議所ノ不信用ヲ益々來シタツニナツテ居ルノデゴザイマス(「ノウ」拍手起ル)諸君、商業會議所ハ如何ナル事ヲシタカト云フト、其商業會議所ニハ唯案内状ヲ發シタダケノコトデゴザイマス(「ヒヤ」)人ノ午勞ア法事ヲシタダケゴザイマス(「ヒヤ」)若シ左様ナコトが效能アルト申ヌラバ、私ハ諸君ニ今晚モ明晚モ幾ラモ御馳走ラスル、案内状サヘ出シテ人ガ金ヲ拂ナテ吳レルナラバ、大變廉イ譯アル(拍手起ル)ソコテ東京ノ吾々同志ノ中テモ商業會議所ガドウモ無謀ナ事ヲヤツタ、併ナガラ是ハ國際ニ關係スルコトアルカラ、ウツチャツテ置クコトハイカナイト云フノデ、富豪初メ一同一生懸命ニナツテ此御客様ヲ待遇致シタノデゴザイマス、大阪ニ於テモ亦然リ、皆不平アリマシタガ是ハ外國ニ關係シマスルコトデゴザイマスカラ、金モ出シ、人モ出シ、十分ニ待遇致シマシタノデゴザイマス、若シ商業會議所ニ一任致シテ置キマシタナラバ國交ハ益々惡ルクナツテ、或ハ軍ニナツテ居ツタカモ知レナインゴザイマス(「ヒヤ」)ソレドウゾ私モト部君ノ御說ヲ聽イテ表ノ方モ見マスガ、ト部君モドウソ裏側ヲ御覽ニナツテ吾ミノ唯今ノ案ニ御賛成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

(討論終結ノ聲起ル)
(綾部惣兵衛君登壇)

○議長(長谷場純孝君) 荻野芳藏君登壇

(長晴登君) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス(贊成タクノ聲起ル)

○綾部惣兵衛君 私ハ簡單ト云フ御注文ガナクトモ簡単ニスル、自分モ感胃デ音ヲ痛メ居ルシ、殊ニ唯今ト部喜太郎君が少數意見ヲ報告スルトキニ十分演説ナツタカラ相成ルベク簡単ニヤル、私ガ此壇上ニ立ツテ唯今大阪ノ實業家ニシテ最モ商業會議所ノコトニ精通スルト稱スルトコロノ岩下君ノ演説ヲ聽キマシテ、私ハ茲ニ一言岩下君ノ演説ニ對シテ反対ヲ試ミナケレバナラス、岩下君ハ商業會議所ハ無用ノ長物デアル、唯トス様ニ断言ヲセラレタ、何故ニ商業會議所ハ無用ノ長物デアルか、商業會議所ハ今日ノ日本ニ於テ活動シテ居ルコトハ岩下君モ御承知テナケレバナラヌノデアル、(妄動ナリ活動ニアラズ)ト呼フ者アリ)今日ノ商業會議所ヲ無用ノ長物ト非難スル岩下君ノ理由ハ何ニ依シテ無用ノ長物デアルカ、私ハ岩下君ノ理由ニ於テ少シモ分ラナイノデアル、唯米國實業團體ノ歡迎ノ事ニ付テノミ效能ヲ述ヘ立テルノデナリ、既ニ諸君モ御承知デアリマセウガ、彼ノ倫敦ノ商業會議所ノ如キハ一箇年ニ殆ド一千件ノ通信ガアルト云フ

佐々木鐵太郎君
高橋嘉太郎君
河野郁太郎君
原岡永江君
細川義昌君
古野孫太郎君
永江純一君
高田露君
坂元英俊君
肥後幸盛君
遠藤良吉君

左源太君
柏原定吉君
萩野芳藏君
神前修三君
西山彰君
町田旦龍君
寿人君
庄野金十郎君
三浦覺一君
高森新君
高原篤行君
榎本元明君
水間此農夫君
奥田榮之進君
東武君

在原敬君
西澤定吉君
横井時雄君
伊東祐賢君
木下義之君
串本康三君
中田定吉君
西山景山甚右衛門君
町田庄野金十郎君
三浦覺一君
高森新君
榎本元明君
水間此農夫君
奥田榮之進君
東武君

原岡敬君
西澤定吉君
萩野芳藏君
神前修三君
西山忠造君
町田卯太郎君
庄野源治君
松田正久君
松田十衛君
水間此農夫君
奥田榮之進君
東武君

村上先君
駒田小次郎君
上埜安太郎君
坂向弘君
上田讓甫君
中田三土忠造君
井保四郎君
内治郎作君
藏内治郎作君
廣藏君
庄野卯太郎君
源治君
松田松田正久君
十衛君
水間此農夫君
奥田榮之進君
東武君

(萩野芳藏君登壇) 討論ヲ繼續致シマス、萩野芳藏君

○萩野芳藏君 此問題ニ付キマシテハ餘程時間ヲ取リマシタニ依ツテ私ハ極く簡単ニ本案ニ賛成ノ意見ヲ述べ置カウト思フノデアリマス、デ先程カラ之ニ反対スルトコロノ諸君ハ商業會議所ノ經費ヲ強制執行ニ依ツテ取ルコトが出來ナイト云フコトニナルナラ

バ――強制的ノ徵收が出來ヌト云フコトニナルナラ、尙食物ヲ奪フヤウナモノデアルト云フコトヲ、ト部君モ、又該部君モ、同ジヤウナ言葉アリマス、デ此點ニ於キマシテ私ハ食物ヲ奪フト云フコトヲ贊成スルノデハナイノアラテ、其食物ヲ取ル上ニ於テ真イ方ノ性質ノ食物ヲ取ッテ、悪ルイ方ノ食物ヲ取ラナイヤウニシタ方が宜カラウト云フノニ在ルノデゴザイマス、之ニ反対スルトコロノ諸君ハ此「經濟」ト云フコトヲ取ルコトニナルナラ、商業會議所ハ食物ヲ取上ゲラレルノデアルカラ、ソレテ倒レテシマフノデアルト、斯様ニ論斷サレルノデアル、唯今マデノ商業會議所ハ此強制徵收ニ依リマシテ、例ヘテ申シマスナラバ人ノ腕ニ依テ――人ノ食物ヲ先ダ腕ニ強制シテ、貰ツテ、今日マデ生キテ居ツタト謂ウテ宜イノアリマス、此改正ニ依リマスレバ所謂自活ヲ致シマシテ、サウシテ其食物ヲ得ヤウスルノデアル、テ茲ニ腕力デ――人ノ世話ニナシテ食ノ供給ヲ受クル方ガ宜イカ、又自ラ動イテサウシテ食物ヲ求ムルノガ宜イカト云フ點ニ付テ御氣が付タナラバ是デ此議論ハハキリスルコトデアラウト思フノデアリマス、元來此商業會議所ト云フが如キモノハ先程カラ度々言ハレル通り申スマテモナク、商工業ノ機關アル、商工業ノ機關アル、斯様ニ論斷サレルノデアル、然ルニ此經費ヲベキ性質ノモノヲ無理ニヤガル者カラ受ルト云フコトハ是ハ抑商業機關ト云フ根本ノ基礎ノ上カラシテ隠ナラヌコトデアリマス、先程カラト部君ハ英國ノ會議所ノ例ヲ引カレテ、英國商業會議所ノ完全ナル能力ヲ有スルコトヲ御吹聴ニナリマシタガ、英國ノ會議所ハ我邦ノ現在ノ會議所ノ如ク強制的ノ徵收ハシテ居ラヌノアリマス、而シテト部君ノ言ハル、如ク其成績ハ甚ダ善良アルノデアル、又此滯納處分ト云フコトニ付テト部君ハ一言サレマシタガ、三十二條ニ依ア此經費ヲ強制徵收セヌト云フ時ニ

○議長(長谷場純孝君) 多數、二讀會ヲ開クベシ
○議長(長谷場純孝君) 本案ニ一讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ
○高柳覺太郎君 チヨット伺ッテ置キマスガ、先刻ノ討論終結ノ動議ノ提出者ハ何人デゴザイマスカ
○議長(長谷場純孝君) 元田肇君ノ討論終結ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマズ
起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數、討論ハ終結致シマシタ
○議長(長谷場純孝君) 本案ニ一讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ
○議長(長谷場純孝君) 「異議ナシ」異議アリト呼ノ者アリ
○議長(長谷場純孝君) 異議ガアル以上ハ採決ヲ致シマス、本案ノ一讀會ヲ開クベシト云フニ同意ノ諸君ハ起立

○元田肇君 一讀會ヲ開クベシ
○議長(長谷場純孝君) 多數、二讀會ヲ開クベシト云フコトニ御異議アリマセヌカ
○元田肇君 直チニ二讀會ヲ開カレントコト……
○議長(長谷場純孝君) 元田君ノ動議直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

レ言タノアリマスガ、私ハ之ト對シテ二十四條ガアルカラ其制裁が出來ルト言ノタノアル、然ルニ先刻ト部君ハソレハ三十四條ノ場合ハ滯納又ハ除名ノ處分ヲ受ケタ者ニ對

シテノ四箇年間ノ選舉權、及被選舉權ヲ停止スルノデアルカラ、三十二條ノ修正が茲ニ出來ルナラバ此二十四條ト云フモノハ抵觸スルヤウニ言ハレタノアリマス、併シ是ハ違フノデアリマス、三十四條ノ滯納又ハ除名ノ處分ト云フノハ必ズ國稅滯納處分ニ依ラナクテモ宜ノアッテ、會議所自身が滯納處分ヲ此ノ如クスルト云フコトニ極メレバ宜本デアル、其會議所ノ極メタ滯納處分ニ依テ、サウシテ此四箇年ノ選舉權、及被選舉權ヲ停止スルト云フコトニスレバ何等ノ差支ハナインデアル、必ズ國稅滯納處分ニ依ラナケレバナラスト云フコトデハナイノアッテ、斯ノ如クナリマシテ茲ニ商業會議所ノ經費ヲ出ス者ガ四箇年ノ選舉權ヲ停止サレル、又被選舉權ヲ停止サレルト云フコトニナリマスレバ、是ハ商工上ノ所謂信用ヲ重ジマスルトコロノ商工業家ニ於テハエライ痛苦デアルノデアリマス、此痛苦ヲスラ尙顧ミナイ者ニ、尙強制シテ經費ヲ取ラケレバナラスト云フマデ押詰メマシテ、サウシテ此經費ヲバ取上ゲンナラスト云フ必要ハ實際此商業機關デアルトコロノ商業會議所ニ於テハ特ニ無イノアリマス、デ此法案ニ付キマシテハ或ハイロイロノ感情カラ出タノアルトカ、商業會議所苛メアルトカ、或ハ政治ノ問題アルトカ、イロイロノ言ハレマスガ、私ハ此案ハ商業會議所自身が最も歡迎致シマシテ、先づ是ヨリ始メテ、サウシテ今無能呼ハリサレテ居ル商業會議所ハ全廢シタ方ガ宜シト云フコトハ是ハ實際世間ノ輿論デアル、此輿論ニ對シテ商業會議所自ラハ先づ此一條ヲ改正シタル後ニ於テ、段々其ノ自身現在ノ攻撃ニ顧ミテ改良スル方が宜イデアラウト思フノデアリマス、聊爰ニ賛成ノ意思ヲ表明致シマスルタメニ一言速ベテ置キマス(拍手起ル)

○元田肇君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス
(「賛成タク」聲起ル)

○元田肇君 二讀會ヲ省略シテ直チニ委員長報告通り決セラレントコトヲ望ミマス
〔贊成タクト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 元田君ノ動議、二讀會ヲ省略シテ二讀會ニ於テ委員長報告通り決定ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ

○古賀庸藏君 此場合ニ於テ日程ヲ變更シテ、明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ヲ讀題ニ供セラレントコトヲ緊急動議トシテ提出致シマス

〔贊成タクト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御誥リ致シマスガ、即チ古賀庸藏君ヨリ日程變更ノ動議が出マシテ、明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律等ヲ此場合日程ヲ變更シ、而シテ此案ヲ議シタクト云フ緊急動議ニアリマス、御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 多數——議事日程ハ變更サレマシタ、明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案、委員長古賀庸藏君意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數——議事日程ハ變更サレマシタ、明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

〔古賀庸藏君登壇〕
ノハ不穩當思ヒマスカラ反對致シマス」ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 反對が出タ以上ハ採決致シマス、即チ議事日程變更ニ同

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者 第一讀會ノ續(委員長)

〔古賀庸藏君登壇〕
○古賀庸藏君 諸君、唯今日程ヲ變更シ議題ニ上リマシタ法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ簡單ニ申述ヘマス、此案ハ曩ニ日露戰役個人救濟ニ關スル建議案ノ委員會ニ於キマシテ、調査中イロ／＼質問ナリ又取調ベテ要ルコトが多クシテ、委員中ヨリ更ニ五名ノ委員ヲ選ンデ調査ヲ遂ヶ、尙質問ヲ致シ及政府トモ交渉ヲ致シタ末、政府ニ於テハ是ト同様ナル即チ此事ニ關スル法律案ヲ提出致スコトニ相成ルアラウ、又日夜調べ未今兩三日ノ中ニハ提出スル故ニ此建議案ノ討論決定ハ暫ク延期ヲ望ムト云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ委員會ハ延期シテ居ル際ニ、即チ唯今議題ニ上シタトコロノ法律案ガ提出ニナリマシテ、依テ先キノ委員ニ付託サレ、先キノ委員ニ於テ之ヲ審査ヲ致シマシタ、所ガ委員會ニ於キマシテ範圍ガ狭くシテ救恤スルヤウニト云フコトノ修正ヲ致シタ次第ゴザイマス、然ルニ此修正意見

○古賀庸藏君 諸君、唯今日程ヲ變更シ議題ニ上リマシタ法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ簡單ニ申述ヘマス、此案ハ曩ニ日露戰役個人救濟ニ關スル建議案ノ委員會ニ於キマシテ、調査中イロ／＼質問ナリ又取調ベテ要ルコトが多クシテ、委員中ヨリ更ニ五名ノ委員ヲ選ンデ調査ヲ遂ヶ、尙質問ヲ致シ及政府トモ交渉ヲ致シタ末、政府ニ於テハ是ト同様ナル即チ此事ニ關スル法律案ヲ提出致スコトニ相成ルアラウ、又日夜調べ未今兩三日ノ中ニハ提出スル故ニ此建議案ノ討論決定ハ暫ク延期ヲ望ムト云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ委員會ハ延期シテ居ル際ニ、即チ唯今議題ニ上シタトコロノ法律案ガ提出ニナリマシテ、依テ先キノ委員ニ付託サレ、先キノ委員ニ於テ之ヲ審査ヲ致シマシタ、所ガ委員會ニ於キマシテ範圍ガ狭くシテ救恤スルヤウニト云フコトノ修正ヲ致シタ次第ゴザイマス、然ルニ此修正意見

○元田肇君 本員ハ此際修正ニ付テノ政府ノ意見ヲ確メタノアリマス、外務大臣イトヲアヤウナ事柄カラシテ、既ニ諸君ノ御手許ニ配布ニナリマシタ如ク範圍ヲ廣クスルコトニ、又文字ハイロ／＼ゴザイマスガ、文字ヲ讀ムニ及ビマセヌガ、意味ガ即チ範圍ヲ

廣クシテ救恤スルヤウニト云フコトノ修正ヲ致シタ次第ゴザイマス、然ルニ此修正意見

ニ對シテ政府ハ絶對ニ反對アル、即チ此法律案ヲ提出シタ趣旨ハ全ク一般ノ戰争ニ

關係シ、戰爭ノタメニ慘禍ヲ受ケタ者ヲ救濟スルト云ヤウナ意思アハナイ、戰爭前ニ

當テ敵國及敵國ニ相接シテ處ニ居ル者ハ既ニ戰爭開ニ於テ立退ヲ命ジ、立退ヲ致セ

バ損害ハナニモ拘ハラズ、此際外交ノ政策上トシ此祕密ヲ明カスコトガ出來ズシテ、立

退カントスル者ニハ未ダ指圖ヲスルマデハ控テ居ルガ宜イ、指圖シタラ始メテ立退クガ宜イ、斯ウ云フヤウナ指圖ヲ致シテ、現ニ危イ危機一髮ト云フ場合マデモ之ヲ知ラセズシテ、遂ニソレラノモノヲ犠牲ニ供シタト云フヤウナ次第アツテ、ソレカラ此日露家が救恤ヲスルガ至當アル、此戰禍ニ損害ヲ受ケタ者ニ對シテ救恤ヲ致シタコトハ從來列國ニ於テモナニ次第アルカラ此修正意見ニハ反對アル、然ルニ其反對ニ拘ハズ、委員會ニ於テ修正致シテ、滿場多大數ヲ決シタ次第アリマス、ソレカラ此日露

戰役個人救濟ニ關スル建議案ハ既ニ本案が斯ノ如ク提出ニナリ決シマシタ上ハ是ハ議決ヲ要セザル、議決ノ必要ナキモト委員會ハ決シマシタ、左様御承知ヲ請ヒマス

○元田肇君 直チニ二讀會ヲ開カレントヨリマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 本案ノ二讀會ヲ開クア否ヤヲ議題ト致シマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開キ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ其通り決シ、直チニ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

○長島鷲太郎君 私ハ此際ニ於テ修正ノ動議ヲ提出致シタイ考ニアリマス、ソレハ唯今委員長ヨリ報告ニナリマシタコロノ原案ヲ修正致シテ、政府提出ノ原案ノ通りニ直サレンコトヲ——修正サレンコトヲ——復活サレンコトヲ——復活サレタクト云フ修正動議ヲ提出致シマス、其理由ハ——即チ委員長ノ修正意見ニ反對ノ意見ヲ提出スルノアリマス——前ノハ少シ間違ヒマシタ、其理由ハ本院ニ提出サレマシタコロノ建議ノ趣意ハ、日露戰爭際極ノ間近イ時ニ於テ損害ヲ受ケタコロノ者ノ救濟ヲ求メタト云フコトガ本院ニ提出サレタコロノ建議案ノ趣意ゴザイマシタ、政府ニ於テモ其意味ヲ汲マレマシテ、即チ政府提出ノ法律案ガ出タンアリマス、其委員會ニ於テノ修正意見ニ依リマスト、救濟ヲ受クル者ノ範圍ヲ一層廣メタシアリマス、救濟ヲ受クル者ノ範圍ヲ廣メルニ於テハ、敢テ異議ハゴザイマスケレドモ、數額ニ制限ガアルノアリマス、限りアルノ數額ヲ以テ、サウシテ一層救濟ヲ受クベキ者ノ範圍ヲ廣メルト云フコトニ付キマシテハ、其救濟ヲ受クベキ實ヲ失コトニナリマスカラシテ、私ハヤハリ委員長ノ修正意見ニ反對ヲ致シテ、原案ノ復活即チ政府案ニ復活サレンコトヲ希望スルノアリマス、其理由ヲ以チシテ反対ノ意見ヲ提出シタ次第アリマス

○議長(長谷場純孝君) 長島君ニチヨット御尋ヲ致シマスガ、委員會ニ於テハ第一條ニ文字ノ修正ガ澤山アリマスガ、全然長島君ハ原案ニ御贊成ニナルノアリマスカラ

○長島鷲太郎君 修正ヲ加ヘタ部分ノミニ付テ反対ノ意見ヲ述ベタ——全然政府案デス

○元田肇君 本員ハ此際修正ニ付テノ政府ノ意見ヲ確メタノアリマス、外務大臣

ガ出席シテ居リマセカラ仕方ガアリマセヌ、次官ニ於テ責任ヲ以テ御答辯ヲ願ヒタ、

ドウ云フ意見テアリマスカ

○政府委員石井菊次郎君登壇)
○政府委員石井菊次郎君登壇)
○政府委員(石井菊次郎君) 本案ニ付キマシテ政府ノ意向ヲ御尋ニナリマシタカラ申上ゲマスガ、政府ニ於キマシテハ法律案ヲ出シマシタ當初ヨリ未ダ其決心ヲ翻ス理由ヲ發見致シマセヌニアリマス、即チ政府が提出致シマシタノが勿論時宜ニ適シタル處置ト認メマシテ衆議院ノ委員會ニ於ケル修正ト云フモノニハ反對ヲ致シマス

○澤田寧君 私ハ長島君ノ修正意見削除ト云フコトニ反対致シマス、其理由ハ極ク簡單デスカラ是カラ申サウト忠ヒマス、ト云フモノハ既ニ救助ト云フコトヲサレテ政府が此案ヲ出サレタ以上ハ、此範圍ヲ滿韓若クハ義州トカ他ノ方面ノ陸上ニ限リノミ救助スルト云フ理由ヲ吾ミハ見出サナイ、日露戰役ノ爲ニ海上ニ於テ損害ヲ被ツタモノト雖モヤハリ損害ハ陸上トサマデ變ツタコトガナイ、唯修正動議ニ反對スル人ノ意見ヲ聞イテ見マスルト陸上ノ人ハ戰爭ノ豫告ヲ受ケルコトが出来ナイ、或ハ當局者ガ戰爭が近キ將來ニ於テ開ケルコトヲ知シテ居ラテモ、戰略上駆引上サウ云フコトハ明言スルコトが出來カラ見ス（「困難ニ陥ラシメタ頃キガアルカラシテ、ソレ故ニ陸上引揚ゲノ臣民ニ對シテ併ナガラ海上ニ於テモ同シコトデアリマス、戰爭ヲスルカシナイカ軍事當局者ノ意見ヲ知ラナイカラシテ、國交斷絶ノコトガナイダラウト思ツテ航海通商其他ノコトニ從事シテ居ル、然ルニ航海半三ニ於テ戰爭が始マテサウシテ害ヲ被ツタト云フコトハ——陸上ニアル者ニ戰爭ノコトヲ豫告スルコトが出來ズシテ害ヲ被ラシメタルコト、海上ニアツテ戰爭が始マルヤ否ヤトニ云フコトヲ豫知スルコトが出來メテ、害ニ罹ツタト云フコト、トレダケノ區別ガアルカ少シモ區別ガナイト吾ミハ信ズル、ソレ故ニ救助ノ方法ガアレバ海陸ヲ問ハズ此タメニ害ヲ被ツタモノハ一般ニ救助スルコトが穩當ダラウト思ヒマス、本員ハ委員長ノ報告ニ贊成スル者アリマス

○元田肇君 本員ハ廣ク救恤方出來マスルナラバ 修正案ノ通ニ致シタイノデアリマスルガ、政府ニ於キマシテ修正案ニ同意が出來ヌト云フコトデアリマス、空シク案ノ潰レルコトハ甚ダ遺憾ニ存ジマスカラ已ムヲ得ズ原案ヲ贊成シテ少ナクトモ活キルヤウニ致シタメト云フコトヲ希望致シマス

○宮古啓二郎君 チヨット政府ニ御尋致シマス

○議長（長谷場純孝君） 宮古君質問デスカ

○宮古啓二郎君 サウデス、政府ノ御意向ハ原案ノ通りニ即チ露西亞領亞細亞、清國滿洲及韓國義州方面、是ヨリ以外ニ救恤ベキ人ガナイト云フノ意見デアラウカ、政府ノ意見ノアルカ

○ハアルケレドモ其方ニハ救恤セヌデモ宜シトイト云フ 意見デアルカ、政府ノ意見ノアルトコロハ何所デアルカ

（政府委員石井菊次郎君登壇）

○政府委員（石井菊次郎君） 唯今ノ御質問ニ御答致シマスルガ、此日露戰爭ノダメニ損害ヲ被ツタル者ハ露領出細亞、満洲及義州方面ノ外ニモアリマスノデアリマス、此外ニ於テ損害ヲ被ツタル者ニ對シテモ誠ニ同情ヲ表スル次第ゴザイマス、サリナガラ此法律案ノ目的ハ以上三箇所ニ於テ開戦ノ際ニ引揚ゲノタメニ被ツタル損害ニ限リテ救恤ヲ施ス（「異議ナシ」ト云フ趣意デゴザイマシテ、其趣意ハ過日外務大臣が此議場デ申上ケタ通りノ次第デゴザイマス

（採決ト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 採決ヲ致シマス、先づ委員長ノ報告ヲ採決ヲ致シマス、即チ委員長ノ報告ニ賛成諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長（長谷場純孝君） 少數、原案ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ、全部原案ニ決シマス

○元田肇君 直チニ二讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

（異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」）

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關ス
ル法律案
○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

第三讀會

○元田肇君 一二讀會決定ノ通り可決サレント望ミマス
○議長（長谷場純孝君） 元田君ノ發議、即チ二讀會決定通りト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
（「異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」）

○元田肇君 マグ御宣告ハゴザイマセヌガ、茲ニ私ハ願ヒタイ、第七ノ行政裁判再審ニ確定致シマシテ

○元田肇君 マグ御宣告ハゴザイマセヌガ、茲ニ私ハ願ヒタイ、第七ノ行政裁判再審ニ確定致シマシテ

○議長（長谷場純孝君） 日程第七、行政裁判再審ニ關スル法律案、第一讀會ノ續きヲ開キマス

委員長元田肇君

第七 行政裁判再審ニ關スル法律案（元田肇君提出） 第一讀會ノ續（報告）

○元田肇君 略儀ナガラ此所ニ報告致シマスガ、委員會ニ於キマシテハ最終ノ條ヲ削リマシテ其他一、二ノ文字ヲ修正致シタダケデアリマシテ、外ニ何モ變ツタコトガゴザイマセヌノデアリマスカラ、ドウカ御贊成ヲ願ヒタイ、但シ鵜澤君カラ文字上ニ尙一、二ノ修正ガアルト云フコトデアルカラ、ソレニ御贊成下サシテモ本員ハ異存ハ申シマセヌ、別ニ申述ベルコトハアリマセヌ

○議長（長谷場純孝君） 本案ノ第一讀會ヲ開クヤ否ヤヲ採決致シマス
（「異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ハナイト認メマスカラ、一讀會ヲ開クコトニ決シマス

○恵松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

（「贊成々々「ト呼フ者アリ」）

○議長（長谷場純孝君） 直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

○鵜澤總明君 第四條「當事者ノ申請ニ因リ又ハ」ト云フ文字ヲ削リマシテ、ソレカラ裁判ノ執行ヲ停止スルコトヲ得「トアル」「ルコトヲ得「ヲ削ツテ「ヘシ」ト云フ二字ヲ加ヘルト云フ修正ノ動議ヲ提出致シマス

○議長（長谷場純孝君） 唯今ノ鵜澤君ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ
（「異議ナシ「ト呼フ者アリ」）

○議長（長谷場純孝君） 唯今ノ鵜澤君ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ、鵜澤君ノ修正通り決シマス

○議長（長谷場純孝君） 恵松君ノ動議、直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

行政裁判再審ニ關スル法律案

〔一讀會決定通り異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 二讀會ノ決定ノ通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ、一讀會決定ノ通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ

○元田肇君 マダアリマス——議長

○議長（長谷場純孝君） 元田肇君

○元田肇君

此際ニ緊急動議ヲ提出致シマス、議事日程ノ變更ヲ求メマス、ソレハ登錄稅法中改正法律案、新聞紙法案ト云フ其二ツハ委員會ニ於テ精密ナル審查ヲ遂ケラレタ案ニアリマスカラ、本期モ切迫シ貴族院ニ交渉等ノコトガアリマスカラ、成ルベク此場合ニ日程ヲ變更サレテ議ニ附セラレムコトヲ希望致シマス

〔賛成タクト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 議事日程變更即チ登錄稅法中改正法律案、新聞紙法案ヲ此場合ニ議スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ其通り決シマス、而シテ先づ登錄稅法案ヲ議題ト致シマス

登錄稅法中改正法律案 政府提出

第一讀會ノ續（委員長）

第一讀會ノ續（報告員）

○松浦五兵衛君 登錄稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過結果ヲ報告致シマスが、極ク簡單デゴザイマスカラ此席カラ申上タマス、此改正案ハ第一ニハ登錄稅法中ノ財團法人、又ハ營利ヲ目的トセガル社團法人ノ登記ニ付テ從前ヨリモ登記料ヲ非常ニ輕減スルト云フ案デゴザイマス、又次ニハ特許及意匠並ニ商標實用新案、及商標ニ關シテ登錄ヲ經ル場合ニ於ケル從前ヨリノ規定ヨリモセント精密ニ改正シタノデゴザイマス、其要旨ハ從來特許意匠、實用新案、商標ニ付テハ單ニ譲渡、共有、質入ノ此三項目ノミニ付テハ登錄稅ヲ徵收シ、其他ハ手數料ノ形ニ於テ徵收シ來タノデアリマスガ、此改正案ニ於キマシテハ單ニソレ以外ニ區別ヲシマシテ、其權利ノ移轉、其權利——特許權移轉ノ場合ニモ相續以外ノ原因ニ依ル移轉、斯ウ云フ區別ヲ立テマシタ、次ハ實施権設定又ハ保存ノ區別、其次ハ前二號ノ權利ヲ目的トル質權ノ設定斯ウ云フ區別デアリマス、尙其次ニ前二號ノ權利ノ移轉ト云フ、區別モ立テマシタ、次ニ滯納處分以外ノ原因ニ依リ第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限、尙登錄ノ更正變更、又ハ抹消は等ノ細イ點ニ付テハ今迄總テ手數料トシテ農商務省ヲ立テマシタ、次ハ實施権法中ニ移入スルノゴザイマシテ、是等總テノ改正案ニ付テ委員會ハ慎重審查ノ結果、全會一致ヲ以テ全部決定致シマシタ

○議長（長谷場純孝君） 別ニ御發議モナイヤウデゴザイマスカラ、本案ハ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ……

○恵松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ確定セラレントコトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

登錄稅法中改正法律案

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ、其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ、次ニ新聞紙法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告ヲ求メテコトニ御異議アリマセヌカ

〔議題ト致シマス、而シテ二讀會ヲ省略シテ原案――委員長報告通り原案賛成ト云トコトニ御異議アリマセヌカ

新聞紙法案（村松恵一郎君外一名提出）

第一讀會ノ續（委員長）

〔三上忠造君登壇〕 新聞紙法案ノ特別委員會ニ於ケル經過及結果ヲ御報告致シマス、件ハ即チ村松恵一郎君、鈴木力君ニ二君ノ提出ニナリマシタ新聞紙法案ハ條文ニ於テ隨分不十分ナコトガアツタノデゴザイマス、ソレカラ新聞記者ノ編輯ノ方ニ關係スル人ノ便宜ヲ計リ過ギタ案デアッテ、營業ノ方ノコトハ多ク考ヘナイト云フ批難モアリマスシ、政府ニ於テハ大體ニ於テ此案ハ不同意アル、到底同意ハ出來ヌト云フコトデアリマシタ、ソコテ特別ニ五名ノ調査委員ヲ設ケマシテ政府委員ニモ出席ヲ求メ、頭ヲ鳩メテ三日間慎重審議ヲ致シマシタ所ガ、大體ニ於テ政府ノ方デハ成ルベク取締ヲ嚴重ニシャウト云フ精神ヲ持テ居ルシ、委員會ノ方ハ成クベク寛大ニシテ貴ヒタイト云フ希望ヲ持テ居リマシタノデ、ナカノ、議論が纏マリマセヌガ、政府ノ方ニ少シモ懸直ガアリ、吾ノ方モ下カラ直切ツテ往クト云フノデ、綠日ノ植木ヨリ買フヤウニ折合ツテ來マシテトウトウ出來上ツダノガ、諸君ノ御手許ニヨリアリマス修正案アリマス、殆ド換骨脱胎シテ別物見タインコトニナリマシタガ、是ナラバ政府モ不満足ナガラ、先ダ同意ヲシヤウ、吾々モ不満足ナガラ是ナラ宜カラウト云フコトデ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、其要點ハ元來此新聞紙法案ヲ出シマシタ一晝ノ主眼ハ、公判ニ附スル前ニ裁判事件ヲ新聞紙ニ記載スルコトヲ現行法ニ於テハ禁シテ居ルノヲ、ソレヲ廢メテ貴ヒタイト云フノガ一一番ノ眼目デアリマス、所ガ是ハ政府ニ於テ到底同意ハ出來ヌト云フコトデ色ニ相談致シマシタ結果、斯ウ云フ風ニ直リマシタ、眼目デアリマスカラ是ハ申上ダテ置キマスガ第十九條デゴザイマス、新聞紙ハ公判ニ附スル以前ニ於テ、豫審ノ内容其他檢事ノ差止メタル検事ヲ云ナシテ、豫審ノ内容ダケハ書ケナイ檢事ノ差止メタルコトハ書ケナイト云フコトニ制限ヲ致シマシテ提出者ノ幾分ノ希望ヲ充タスコトニ致シマシタ、ソレニ對スル制裁ニ幾分カ緩ク致シマシテソレヲ折合マシタ、要スルニ此修正ノ方針ハ言論ニ關スルコトハ成ルベク緩クスル、ソレカラ皇室ノ尊嚴ヲ傷ガ、或ハ外交軍事ニ關スル祕密ヲ書クト云フヤウナコトニ對スル制裁、及行政權ノ執行ニ反抗スルヤウナ場合ノ制裁、斯ウ云フモノハ依然トシテ現行法ノ如キ致シマシテ、言論自由ニ關スル方ニ幾分カ輕減致シマシタ、現行法ニ於テハ過料ト云フモノハ殆ドアリマセナシダガ、實際經驗上或ル場合ニ於テハ丸ツキリ不注意カラ起ツタコトデ罰金トカ、或ハ禁錮ナドニ逢フト云フコトハ實ニ氣毒ナコトアリマスカラシテ、此修正案ニ於テハ過料ト云フコトヲ餘程渾山設ケマシタ、サウ云フ風ナ次第アリマシテ全會一致ヲ以テ可決致シマシタカラドウカ早速可決セラレ

ントコトヲ望ミマス、尙一言申シテ置カネバナヌノハ第三十一條デゴザイマス、極ク、小サイコトデアリマスが印刷ノ誤リガアリマスカラ、第三十一條ノ第八條第一項ニ違反シタル

時ハ發行人「ト點ガアリマスガ、其點が要ラナイノアリマス、ソレダケハ誤植アリマス
カラ訂正ヲ致シテ置キマス、報告仍テ件ノ如シ」

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御發議モナイヤウニ思ヒマスカラ一讀會ヲ開クヤ否ヤヲ
議題ト致シマス

○恵松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレントコトヲ望ミマス

(「贊成」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開キ讀案全
部ヲ讀題ニ供シマス

新聞紙法案

第二讀會

○長島鷲太郎君 私ハ修正ノ意見ヲ提出致シマス、ソレハ數條ニ跨ヌテ修正ガアリマ
スケレドモ、修正ノ理由ハ極メテ簡單アリマス、一、二ノ必要ナル條項ヲ修正シタノト條

切迫シテ居リマスカラ此席カラ述べマス、修正ハ第四條ノ第一項ノ六號ノ次ニ七號ヲ
加ヘマシテ「持主ノ氏名若シ法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名」ト云フコトヲ加
ヘタインテアリマス、從ツテ七號ガ八號ニ變ハルノアリス、一、七號ノ七ガ八ト云フ字ニ
變ハルノアリマス、ソレカラ次ハ第五條アリ

法定代理人人ノ連署シタルト云フ文字ヲ入レタインデアリマス、ソレカラ次ハ第六號若クハ
第五條ノ十日以前ノ事項又ハ「ト云フ下ニ持主」ト云フ文字ヲ以テシト云フ間ニ持主又ハ其ノ
法定代理人ノ連署ヲ加ヘ但シ持主變更ノ届出云死亡

ニ因ル場合ト外新舊持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署ヲ要ス「斯ウ云フ文字ヲ加ヘルノ
デアリマス、ソレカラ第十二條ノ第一項ノ第一號」人口七万以上ノ市ト及トノ間ニ
ハ「又ハ區」ト云フコトヲ入レルノアリマス、從ツテ其次ノ「其ノ市外」里以内ノ地ニ於テ
ハ「下云フ處ニモ」市ノ下ニ「又ハ區」ト云フ字が這入ルノアリマス、ソレカラ第十四條
保證金ハ發行ヲ廢止シタルトキニ非サレバ其ノ還附ヲ請求スルコトヲ得ス「ト云フ文字ヲ
請求シ又ハト改メルノアリマス、サウシテ「其ノ債權ノ讓渡ハ無效トス」トアルノヲ

其債權ヲ讓渡スコトヲ得ス「ト直シタノアリマス、ソレカラ但書ノ下ヲヤハリ直シマシタ、
但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法律令ノ適用ヲ妨ケス」トアリマスノヲ「之ヲ準用スル法
令ヲ適用シ又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラズ」ト
直スノアリマス、ソレカラ第二十三條障碍ヲ及ボスモノ認ムルトキハ其ノ頒布「ト云
フ所ニ其ノ發賣及ト云フコトニ直スノアリマス、第二十四條モヤハリ同ジャウニ頒
布「ト云フ上ニ「發賣及ト云フコトヲ入レルノアリマス、第二十五條ニ新聞紙ハ内
務大臣ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得」トアルノヲ「新聞紙ハ管轄地方官廳ニ於テ之ヲ差
押フルコトヲ得」ト直ス、第二十六條ノ「其ノ差押ヲ解除セラレサルトキハ内務大臣ハ之
ヲ處分スルコトヲ得」トアルノヲ「差押ヲ解除セラレサルトキハ差押ヲ執行シタル行政官廳ニ
於テ之ヲ處分スルコトヲ得」ト直スノアリマス、第三十條ノ「第四條第一項第一號乃至第六號ニ關シ「ト云フ間ニ「第四號」ト云フ字ヲ入レルノアリマス、ソレ
カラ第三十一條」此處ニ一條が加ヘルノアリマス、第二十條ノ次ニ其第三十一條
ハ「第四條第一項第二號又ハ第三號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シタルト
キハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ料料ニ處ス」斯ウ云フ文字ヲ加ヘルノア

リマス、斯ウ云フ條文ヲ新タニ加ヘルノアリマス、從ツテ第三十一條ガ第三十二
條トナルノアリマス、以下ソレニ準ズルノアリマス、第三十三條即チ委員長ノ報告
書ニアリマスル第二十三條ハ全部ヲ削除スルノアリマス、第三十八條其新聞紙ヲ頒
布シタル者トアルノヲ「新聞紙ヲ發賣又ハ頒布シタル者ト直スノアリマス、修正ノ理由
ハ唯今讀ミマシタコロテ御覽下サイマスルト修正ノ理由ハ分リマス

○元田肇君 本員ハ會期切迫ノ際デアリマスカラ、成ルベク緊急ニ貴族院等ニ送リ込
レルダケアリマスが、讀上ダラレタトコロハ隨分長ミシクナッテ居リマスカラシテ、吾ミノ既
ニ之ヲ審議シタ以外ノ御方モ御出デニナリマスカラ、本員ハ已ムヲ得ズ延期シタ方が穩
當ダラウト思ヒマス、テ今日ハ延期ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○立川雲平君 註文タガアリマス、次ノ日程第一ニ加ヘラレシコトヲ望ミマス
マセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ第二讀會中之ヲ延期スルト云フコトニ御異議アリ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○元田肇君 次ノ讀會日程ニ御出シ下サルコトヲ……

○議長(長谷場純孝君) 次回ノ讀會日程ニ載セマス、併ナガラ第一ト云フ御言葉デ
アリマシタケレドモ、ソレハ政府案ガアルカモ知レマセヌカラ、ソレハコチラアリマサ
計ヒマス

(「併ナガラ印刷ハ早ク願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 是デ今日ハ散會シヤウト思ヒマスケレドモ、報告ガアリマスカ
ラ朗讀致サセマス

○貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ
立木ニ關スル法律案

一貴族院ヨリ回付セラレタル政府提出案左ノ如シ
種痘法案

一貴族院ヨリ回付セラレタル本院提出案左ノ如シ
醫師法中改正法律案

一貴族院ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
政府特別資金融通ニ關スル建議案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
政府特別資金融通ニ關スル建議案

新潟	三〇〇,〇〇〇	一	一
埼玉	一,一八六,〇〇〇	一	一
群馬	一〇,三一〇,〇〇〇	一	一
千葉	一一七,〇〇〇	一	一
茨城	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一	一
栃木	三〇,〇〇〇,〇〇〇	一	一
奈良	一,〇〇〇,〇〇〇	一	一
三重	八,〇〇〇,〇〇〇	一	一
愛知	一〇,一〇〇,〇〇〇	一	一
静岡	一五,一〇〇,〇〇〇	一	一
山梨	一	一	一
岡山	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一	一
廣島	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
山口	一八,〇〇〇,〇〇〇	一	一
愛知	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
静岡	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
山梨	一	一	一
滋賀	一	一	一
岐阜	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
長野	一	一	一
宮城	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
和歌山	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
德島	一	一	一
香川	一	一	一
岐阜	一	一	一
高知	一〇,一,一〇〇,〇〇〇	一	一
愛媛	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
長野	一	一	一
宮城	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
福島	一	一	一
巖手	一	一	一
福島	一	一	一
青森	一	一	一
山形	一	一	一
福井	一	一	一
石川	一	一	一
秋田	一	一	一
大分	一	一	一
熊本	一	一	一
岩手	一	一	一
青森	一	一	一
山形	一	一	一
秋田	一	一	一
福島	一	一	一
宮崎	一	一	一
鹿兒島	一	一	一
計	五八,〇〇〇,〇〇〇	一	一

備考 一符號ナキハ調査、設計、工事監督ニ要スル費用ノ豫算ニシテ△印ハ工事費ニ對スル補助金ノ豫算ナリ

備考 符號ナキハ調査、設計、工事監督ニ要スル府縣ノ費用ニ對シ交付シタル國庫補助額ニシテ△印ハ工事費ノ補助金ニ對シ交付シタル國庫補助額ナリ
前項後段ノ國庫補助金中大阪、茨城、佐賀ノ二府二縣ハ目下註議中ニ關シ要求額ヲ掲ク

府縣別	明治三十一年度	明治四十一年度	府縣別	明治三十一年度	明治四十一年度
東京都	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	新潟	一〇,三一〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
大阪府	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	埼玉	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
神奈川県	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	群馬	五,一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
兵庫	五,九七,〇〇〇	六,〇〇,〇〇〇	千葉	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
長崎	二,七八,〇〇〇	二,七九,〇〇〇			

備考	一符號ナキハ調査、設計、工事監督ニ要スル費用ニ對シ交付シタル國庫補助額ニシテ△印ハ工事費ノ補助金ニ對シ交付シタル國庫補助額ナリ 前項後段ノ國庫補助金中大阪、茨城、佐賀ノ二府二縣ハ目下註議中ニ關シ要求額ヲ掲ク	一	一
福井	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
石川	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
富山	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
鳥取	一	一	一
島根	一	一	一
岡山	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
廣島	一,一〇〇,〇〇〇	一	一
山形	一,〇〇,〇〇〇	一	一
和歌山	一,〇〇,〇〇〇	一	一
德島	一	一	一
香川	一	一	一
高知	一	一	一
愛媛	一	一	一
長野	一	一	一
宮崎	一	一	一
鹿兒島	一	一	一
計	五〇,〇〇〇,〇〇〇	一	一